

被災地5年目の声

仮設・復興住宅訪問支援シートからプライバシー保護を考慮して週末ボランティアでまとめたものです。(担当はお伺いしたボランティア、自筆は被災者の方が直接書かれたものです。)

1月9日

・公営住宅は落選しました。公営の情報もよくわからないし……。健康状態は今のところ、大丈夫です。息子も時々来てくれるので。(82歳女性、一人暮らし、担当：福本、堀、赤西)

・兵庫区に移転予定。一時待機制度で民間住宅(毎月7万と敷金の支援あり、2年の制限)に住んだ場合、敷金など短期間でも50万位取りよる。でも行政は民間に、もっと移れという姿勢だ。この仮設は3月でなくなるという話だが、それまでに出られない者が多いのに変な話や！←3月から2ヶ月間は、引っ越し準備期間として行政は見ています。(45歳男性、5人暮らし、担当：赤西、堀、福本)

・住宅はいまだ当たらず(灘区希望)。空き家があるのになぜか入れてもらえない。そして斡旋する公営は不便な所ばかり。全く知らない土地へ行くのは御免だ。年齢的に中途半端な者が残されている(65歳以下)。いまだに当たらない人は楽観的な態度をしているが、内心は違う。(7歳女性、一人暮らし、担当：矢野、西、祝)

・申し込み5回で、元住んでいた近くの公営が当たりとても嬉しい。40年間そこに住んでいたから、本当に良かった。5月転居予定。〈4年間の仮設生活を振り返るようにお話を下さった〉。(76歳女性、一人暮らし、担当：近藤、清重(智))

・近所に人がいなくなって寂しいが、それより人の足音がするとかえって気味が悪いし不安だ。夫が亡くなってから清掃の仕事(月～土、7:30～11:30)に行きだしたが、体を動かすことで毎日の生活に張りがある。体が続く限りは、仕事を続けていきたい。〈とにかく元気な方で「最近の男はだらしない。もっとシャキッとせなあかん」と男3人で説教をされてしまった。でも帰り際に「今日は楽しかった。おばあさんが愚痴ばかり言ってごめんね」と……。転居先(4月に移転)の場所も教えて下さり「移ったらまたいらしてね」と言って下さった。〉

(70歳女性、一人暮らし、担当：吉崎、谷川、矢萩)

・公営が当たってますが、工事が2ヶ月遅れているとの事。3月末で仮設を取り壊すというので心配でなりません。〈←後日訪問したがお留守の為、5月末まで居住できますと書いた書類をポストに入れた。〉(65歳男性、一人暮らし、本人自筆)

・周辺の草むしりをしてから、体中に湿疹と痒みを感じるようになった。また心臓が弱く低血圧で腸も悪い為、7種類の薬を常用している。病院で付添婦をしていたが、湿疹と体力の衰えで今はしていない。仕事がない分、気が紛れない。5月に転居予定だが、書類をいろいろ提出しなければならず、どうしたらいいのか分からない。〈被災者自立支援金は、転居後の住民票コピーが必要なので移転後に申請して下さいと伝え、申込書類一式をお渡しした〉。(65歳女性、一人暮らし、担当：小林(弘)、延山)

・心臓が悪く、ペースメーカーを入れている。それと糖尿病。体は悪いけど、口は達者やで……。薬は15種類近く飲んでいる。それでも75歳まで働いていた。戦争の時も苦勞したけど、あの頃より今の方がしんどいし、惨めだ。でも高い月謝だけさえ勉強してるわ……。公営(息

子の近く)に当選したが、転居予定がわからない。(80歳女性、一人暮らし、担当：村上、津田、白倉)

・持病の気管支喘息の他に、去年健康診断にて高脂血症と言われ、近所の病院にて投薬を受けております。最近精神安定剤も服用しております。6月頃にはようやく公営へ入居する予定になりました。今まで訪問していただいて心強く思っております。(75歳男性、一人暮らし、本人自筆)

・人気のある西神地区や中央区の住宅を申し込むが、まだ当たっていない。市は高齢者を優先するから、私のような比較的若く働く人には、公営を斡旋してくれない。また老人優先とあらかじめ知らせてくれれば、申し込まないのに。〈…と怒っておられた。今回初めてお会いした方だが「また来てね」と言って下さった。嬉しい〉。(50歳女性、一人暮らし、担当：村上、津田、白倉)

・公営住宅の抽選は何度も外れている。足が弱ってきているので交通の便がいい所を探しているが、近頃では娘がいる西区に決めようかとも考えている。ここでは50戸のうち5軒が、いまだに行き場所が決まっていない。〈何かご不自由な事はありますか?と伺ったのですが、「沢山ありすぎて…」と笑っておられた〉。(?歳、?人暮らし、担当：浦口、柳澤)

・夫は糖尿病と白内障だが、病院が近所にありお医者さんが来てくれるので助かっている。しかしちょっとボケかけているので、困ってる。5月転居予定。(68歳、2人暮らし、担当：矢野、西、猪上)

・7月にかけて住んでいた所に戻れるので、ほっとしている。住民がすっかりいなくなったが、ここは比較的人通りもあり建物に囲まれているから、さほど寂しくはない。〈80歳とは思えない程お元気で、とても嬉しかった。やはり一人暮らしは寂しいのでしょうか、一通り話をし満足された様子で、「ありがとう」と言って下さった〉。(80歳女性、一人暮らし、担当：赤西、堀、福本)

1月16日

・仮設にガタがきて、大地の冷たさが伝わってくる。自分で壁・畳・天井と隙間にガムテープを貼っているが……。一人は淋しい。毎日、気を紛らわす為に新開地・湊川公園へ行き、夕方帰ってくるという繰り返しだ。古くても汚くてもいいから、兵庫区へ戻りたい。でもメドが立たないのに、3月には仮設を出なあかん……。心配や。(59歳男性、一人暮らし、担当：長船、福本、青江)

・大工の夫が借金もせず自分で建てた家は、震災でかぎ一つ壊れなかったのにその後の火災で全焼した。また仮設に籍を置いている息子は、再就職(震災の前年)した会社が倒産し職が見つからないまま、現在は祖父(広島)のみかん畑を手伝いに行っている。昨年10月公営に当選したが、97年の所得が少し超過しているので住宅は自力で探すようにと言われた。しかしそんな収入が無い今の状態では10万もの家賃を払えず、行くところがない。早く精神的に落ち着きたい。(65歳、2人暮らし、担当：瀬戸、今井、遠山)

・貯金で暮らしているが、自立支援金が90万程入る見込みなので、あと1年ぐらいは何とかかなりそうだ。神経痛・腰痛以外は元気です。〈ここの仮設へボランティアグループ・役所・警察も来るが、通常戸口で顔を見ての安否確認や数分の立ち話が多いとの事。私達のようなじっくり腰を据えての訪問は喜んで頂けたようです。全く身寄りのない一人暮らしの為公営に移転

後（5月）の不安を感じつつも、冷静に今から考えておられるようでした。〉（75歳男性、一人暮らし、担当：瀬戸、今井、遠山）

・夫は肝硬変で1月6日に死去。昨年11月27日に入院してから約1ヶ月後の事だった。ずっと「長田に帰りたい」と言っていたので、道一つ隔てた須磨区の公営（6月完成予定）に当たり喜んでいたが……死んでもうた。当たってホッとしたのかも。私は血圧が高いぐらいで割と元気ですよ。（66歳女性、一人暮らし、担当：佐々木、矢萩）

・県営住宅へ来月入居予定だが、地下鉄伊川谷駅からかなり離れており、バスは1時間に1本しかないらしい。〈新聞を見せながら…〉公営入居後の近所付き合いが問題や。移ったらそれで安心というものではない。これから大きな問題になるやろう。自立支援金早めにくれんと困る。仮設出る時にまとまった金がないのは辛いので、仮払いという形でもしてくれんかなあ。

（60歳男性、一人暮らし、担当：原、矢野、赤西）

・コンテナを積み降ろしするクレーンのオペレータをしていたが、肝臓と腎臓を悪くして辞めた。酒飲まんに肝炎や。肝臓が痛い…〈我慢しておられるのか、汗で額が濡れていた〉。元町の病院へ毎日通院しているので地下鉄沿線を希望しているが、とにかく当たらん。市の幹旋は駅から遠い所ばかり。古い家でもええ…体に負担がかからない所やったらどこでもええ。仮設の3月撤去というのは、出て行け言う事や。でも4年待ったんやから…ただ待つしかない。

（52歳男性、一人暮らし、担当：西村、東、小林（弘））

・ヘルパーさんが週2回来てくれる。8月に転居予定〈得意の手芸品をたくさん見せてもらい、手作りの帽子を4人で被り写真を撮ってもらった。60分以上も話し込み、カナダ出身のウッドさんとは話が弾んでいた。帰り際に、別れが辛いと言って下さった〉。（82歳女性、一人暮らし、担当：ウッド、伊藤、小波本）

・母・結露が凍ってサッシは開かなくなるし、蛇口が壊れて水は吹き上がり、とうとう天井から雨漏りがしてきたので市に言うたけど、アルミテープを貼ってお終い。震災で夫を亡くし、97年には進行性のガンで長兄を亡くした。弟は脳性麻痺（一級一種）で子供の頃全然歩けなかったが、自分で歩く練習をして20歳の頃には何とか歩けるようになった。そしたら学校へ行きたい言い出して…。でも「年がいきすぎている」言うて教員委員会・養護学校で断られた。その後障害児の為の教室を紹介してくれる人がいて、小学校レベルから勉強を始め2年後には中卒認定試験に合格した。これから高卒認定試験を受けたいと言っている。大変やけどな。息子・教室へ行き出してから、下手やけど年賀状を書くようになった。教室ニュースも自分で考えて書いている。作業所ではハガキや封筒を作っているけど、今は仕事が少なくて月給は5千円もない。公園の清掃の仕事もする。体が辛いけど、頑張って何でもする。5月転居予定。（79歳、2人暮らし、担当：西村、東、小林（弘））

・胃を切除し、最近2ヶ月程入院していた（以前にも直腸・痔の手術を受けている）。87歳の母と同居していたが弱ってきたのと自分の病気があつて、今は姉に預かってもらっている。公営に当選したが入院などで何も出来なかったの…1月20日に役所に行ってみるつもりだ。〈「今どうやったら死ねるか考えとんねん。ええ死に方、ないやろか」などと、冗談とも本気ともつかぬ事を言っておられたが…冗談である事を願いたい〉。（58歳男性、一人暮らし、担当：佐々木、長島、矢萩）

・仮設での一人暮らしは気楽でよかったが、最近人が減って治安が悪くなった。先日も窓ガラスを開けようとする影に驚き、近所のお兄ちゃんにきてもらって、事なきを得た。娘の通報で

来てくれた警察も「またいつでも連絡下さい」と言ってくれたので心強い。3月転居予定。(83歳女性、一人暮らし、担当：江下、岡坂、小田)

・地震以降辛かった事もいろいろあるが、仮設は長屋みたいで楽しい思い出がたくさん出来た(5月転居予定)。今は家が建っても左官(夫と息子)は不要となり、仕事が激減している。その為日雇いの土方に行っているが、それでも月10日ぐらいしか仕事がなく辛い。(60代、2人暮らし、担当：江下、岡坂、小田)

・3月に転居予定。希望通りの所で嬉しい。〈昨秋他の方が訪問した時は奥さんと2人暮らしだったが、「今一人ですわ」と繰り返す。詳しい事は聞けず……。気になります〉。(49歳男性、一人暮らし、担当：白岩、森下、白倉)

・戻りたくても戻れないままの更地の所は多く、ましてやいまだ色々な事情で手をつけられていない場所もある。テレビや新聞で復興・復興と言うけど、全然そんな事に縁がないという面も知って欲しい。6月公営へ転居予定。(71歳、2人暮らし、担当：竹田、木原)

・夫が昨年7月に亡くなる。私の方が先に逝けると思ったのに。あちこち悪い私のような病人を残して…〈と悲しそうでした。最終的には息子さんの世話になるつもりらしいが、最後の最後までここで頑張りたいそうです〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：白岩、森下、白倉)

1月23日

・以前住んでいた近くに当たりホツとしている(5月転居予定)。ここの仮設で残っているのは2世帯だけで淋しい。夜が不安で物音がすると眠れない…狸が出る。天涯孤独。〈お話ししてる間も涙ぐんでいらした。電話番号をお聞きしたので移転までの間、3~4人で連絡を時々入れようと思う〉。(69歳女性、一人暮らし、担当：赤西、岡部、竹田、白岩)

・体が動けるうちは子供と同居したくないので、姉妹で暮らしている。4月転居予定。明日は地域の老人会(仮設の人達も参加)がある。移転しても遊びに来てと言われてるので、行くつもり。ふれセンでは、毎週ボランティアに手芸を教えてもらっていた。本当に有り難いです。今日は楽しかった。公営に移っても来て欲しいけど…。〈ととても名残惜しそうでした〉。(77歳、2人暮らし、担当：西、長船、矢野、清重)

・年のせいか、立っているのが辛い〈玄関に座り込まれた〉。仮設にいと色々な人が来る。例えば宗教関係の人で、青白い顔に黒づくめの服…まるで吸血鬼みたいだった。後で思い出して笑いしてしまったが。他に茶髪若者がウロウロしたり。今は戦国時代と一緒に…人を見抜く力を持たなあかん。公営は所得オーバー(息子は勤め先が遠いのでたまに帰ってくるが、同居という形になっている)で申し込めない。元住んでいた土地(新開地の下、40坪)を売った金で民間住宅を探したいのだが…。買い手は決まらず…市にも相談したがまだ返事がない。不動産会社は嫌なので、直に買ってくれる人がおらんやろか。これはマジやで!!。(76歳女性、一人暮らし、担当：高見、谷口、矢萩)

・心臓を悪くして入院し、その後息子の家で世話になっていたが嫁の両親等を合わせると9人になり、1年後には娘の所へ…そこも1年2ヶ月程で、末息子が住んでいるこの仮設へ95年に来た。糖尿病で血圧も高い。2・3回ボランティアが米を配ってくれた。又29日にも、近所のボランティアがバラ寿司を作ってくれるらしい。みんなによろ世話になった。3月転居予定。(84歳、2人暮らし、担当：田中、稲垣、小林)

・三田の会社へ通っているが、遅番の日は終電ギリギリだ。だから神戸電鉄沿線でないと通え

ない。市からの斡旋は家賃が高くて入れないか、通えない。以前住んでいた所に帰りたい。不便なのは慣れても、友人がいなくて淋しいのは…。両親も以前住んでいた地区（市営）に戻ったし……。3月末までに行き先を決めると言われている。（26歳男性、一人暮らし、担当：田中、稲垣、小林）

・6月に転居予定だが、市の職員からいきなり「出て行け」と言われた。一時待機制度の事を1ヶ月前ぐらいにでも言ってくれたら、準備出来たかもしれないのに、本当に困ってしまった。また自立支援金や引っ越しの貸付制度について、対応にバラつきがあるのは仕方がないが…わかりにくい説明をされ、腹が立った。（70代女性、一人暮らし、担当：福本、堀内、武内）

・近日中に県営の空き家へ引っ越します。移転すれば昔の知り合いが仕事（特殊塗装）を回してくれるが、遠い所への出張が多くなる…不景気で。自立支援金（引っ越し代分）の申請を出していたが、何も言っていないので問い合わせると、「もっと早く出してくれれば良かったのに」と言われた。行政は人の痛みがわかっていない。もう今年から税金を払わないつもりだ。（52歳男性、一人暮らし、担当：武内、福本、堀内）

・ひどい目まいで、救急車の世話になっている。ケアラインを申し込みたいが、6月頃になると言われた。いつもお隣の方が面倒を見てくれるが…3月には移転する。私は転居先未定。〈97年8月にお会いした時はとてもお元気だったのに、今回とても弱っておられるのを見て大変心配になりました。天涯孤独の為、生活不安になっておられた。フォローしなければならないと思う。〉←継続訪問を依頼済。（76歳女性、一人暮らし、担当：竹田、白岩）

・3月転居予定。最近頭がフラフラ（高血圧）し、外でこけたら困るので余り外出しない。とにかくもうこんな寂しい仮設から出たい。生活保護（月7万程）の中から公共料金を払い、食費を払ったらとても足りない。〈「久しぶりに週ボラの仲間に会えて、こんなに嬉しい事はない。涙が出る。皆さんにもよろしく」と言われ、現在趣味で描かれている絵を一枚ずつ頂いた〉。（70歳女性、一人暮らし、担当：小波本、亀井）

・姉は家族との折り合いが悪くなり、こっちへ来て2年目に震災でアパートの下敷きとなって死んだ。まるで死ににきたようなもんや。避難所で毎日泣き明かしていたら、「泣いたらあかん。ご主人が働きに行くんやろ」と言われ…腹が立った。主人は大工で…仕事はボツボツやっている。息子は仕事がなく、仮設の空き家点検で月5万程もらっている。ぜいたく言うたら宿なしになりそうで怖い…どこでもいいから入らなあかん。（5月転居予定）。（66歳、3人暮らし、担当：長船、矢野、小林）

・5月に転居予定。4月以降はどこかで仮住まいするとか、6月までは居てもいい等…色々な噂があつて何を信じたらいいのか？重い物を持つ事は医者から止められているので、引っ越しの時にどうしようと困っている。〈仮設期限については、5月頃なら大丈夫ですと状況を説明。引っ越しについてはボランティアのチラシを渡し、荷造りからしてくれる事などを伝えた。

「今日はたまたま部屋の片付け中で、本当なら部屋に上がって欲しかった」と言われていた。春頃、今一度訪問したい〉。（74歳女性、一人暮らし、担当：赤西、祝、岡部）

・県営（7月転居予定）に当たったが、その後役所から連絡がない。そのうちまた連絡があるでしょう。〈風邪を引かれておられる様で12月頃にお会いした時より、元気がなかった。行政から「他の所を斡旋する」と言われてるとの事。気になります。〉（77歳女性、一人暮らし、担当：西、清重）

・4月転居予定。体が良くないからどこも行かない。足が悪いし、目も見えへん、耳も聞こえ

へん。どうしようもないわ。親戚も子供もないので、誰も来ない。ここも10軒ぐらいしか住んでへん。寂しい時はじーっとしてるの。よく世話してくれる人に電話しても、聞こえへんしな……。←継続訪問を依頼済。(84歳女性、一人暮らし、担当：矢野、長船)

・一番最初に入って、最後まで残った。それでも次男の近所(市街地、3月転居予定)に行けるようになり、頑張った甲斐がありました。(83歳女性、一人暮らし、担当：矢野、阿部、長船)

・弟しか身寄りがいないが、一人で何とかやっていく。怖いものなんてない。夜だって道を渡って(信号のない所)近所のスーパーへ買い物に行く。“夜の蝶”ならぬ“夜の蛾”やな。もうきれいな年頃とちやうから…アハハ<と笑っておられた>。10年後も元気でやっていたい。4月転居予定。(79歳女性、一人暮らし、担当：谷口、高見、矢萩)

・公営住宅の希望は、絶対以前住んでいた地区。だが当たらない。中学2年と小学5年の子供の為にも戻りたい。ましてや病気がちの母が元の地区(公営)に住んでいるし…。1月24日に市の方へ相談に行くつもり。震災がなかったから普通に暮らしていたのに。(40歳、3人暮らし、担当：西、清重)

1月30日

・私達は長田区御蔵通で被災し、平成7年の市議会で区画整理地域に指定されましたが、私の所有地(47.75㎡)では個別再建が困難で、11名の方達と共同住宅を建てる事になりました。やっと先日起工式をすまし、入居出来るのは年末の予定です。仮設の入居期限が3月末なので、市から民間住宅を借り転居するよう言われていますが、最低でも家賃が5~6万かかり敷金を合わせると多額の費用になります。しかし補助は3万円(1ヶ月)しかありません。多額の借金を覚悟し自宅再建へ頑張っているのに、これ以上の出費は出来ません。新居が出来るまで、この仮設に居させて下さい。お願い致します。私達のような高齢者が頑張っている事を考えて欲しい。(71歳、2人暮らし、本人自筆)

息子は私達の希望で近所に家を買ひ、登記・契約など終えて95年1月20日入居予定だったが、震災で全焼した。そのうえ焼失した新居に当日住んでいなかった為、罹災証明はもらえず何の補助もない。なぜだ!!呼び寄せた為に、二重ローン(その後他の地区で新居を建てた)をさせる結果になり、情けなく辛い。(担当：瀬戸、泉、延山)

・震災時複雑骨折をし、今でも傷がうずいて眠れない事がある(薬を9種類程常用)。5月転居予定。震災は天災だからしょうがないが、この国の制度は悪い。〈戦時・戦後・震災時の事をお一人で話されていた〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：泉、瀬戸、延山)

・去年11月の入居予定(空き家当選)が、今年4月に変更となった。行政に「ちょっと待ってくれ」と言われ…いまだ通知がない。体があちこち悪いので、こんなに寒いと不安になり待つのが長く感じる…もう辛抱でけへん。『世間に長生きさせてもらったから人助けせなあかん』と思ってやってきた事に、嫌がらせをされるのは情けない。たくさん住んでいる時は、お互いカバーし合ってきたのに……。〈うわさ話に困っており、死にたくなる事もあったと話されていた。今は自分の殻にこもりがちになっておられるようで心配だ〉。(71歳男性、一人暮らし、担当：大金、長船、福本)

・4年間長かったです。2回も仮当選したのに一部損壊ではねられ、この度やっと“斡旋”で住宅が決まりました。ほっとしています。仮設で死にたくないと自分に言い聞かせ、またボラ

ンティアの方々に支えられて今日まで頑張ってきました。落選した時は死を考えた事もあります。自然災害ですから仕方ないのですが、自分一人で考えてしまう事も多々あり、今から思うと感無量です。震災当時のどさくさで、一部損壊を半壊として申請した人達が、義援金や支援金をもらっています。私のように、正直すぎて最後まで家も当たらずお金ももらえず馬鹿な物もおります。支援金を頂く為東京の参議院会館まで行ったのに、世の中はうまく行かないものですね。でも今は住宅も決まり、これから何年生きられるか分かりませんが、のんびり生きていきたいと思います。有り難うございました。良い体験もあったし、辛い事もありました。(76歳女性、一人暮らし、本人自筆)

3月転居予定。ある引っ越しボランティアは3万円必要との事だが、他の引っ越しボランティアはいくら位ですか?←再訪問の時、無料ボランティアがある事を説明する予定。(担当:矢野、白倉、祝)

・今日もボランティアの方が来て下さいまして、部屋にていろいろと私達の苦勞をいたわって下さり、涙が出る程嬉しかったです。今後も皆さんの事、忘れないで立派に生きて行きます。(71歳女性、一人暮らし、本人自筆)

借家だったが震災前に400万円掛けて改装したのに、全焼。挙げ句の果て権利金も返してもらえなかった。情けない。また一からやり直しや(5月転居予定)。仮設ではカラオケとかいろいろ企画してもらい、楽しんでます。ボランティアもたくさん来てくれました。いつも聞いてくれる人がいないので、愚痴ばかり言ってごめんね。〈自殺という言葉が頻りに言われましたが、「でもあと10年は生きたい。生きるつもり」と笑顔で話された〉。(担当:福本、大金、長船)

・公営は当選したが、入居時期が未定。今の職場(ビルの清掃)にも近いので、絶対他の公営へは行きたくない。公営へ入居出来るまで、ここに住まわしてくれたりいいのに……。弟から毎日「生きているか?」と電話があり、暇な時は車で来てくれる。弟がいてくれるから心強い。〈何もしてくれないのに…と迷惑そうな感じだったが、話が盛り上がり表情が明るくなられた〉。(65歳女性、一人暮らし、担当:小波本、青谷、石橋)

・3月転居予定。10年前脳内出血で倒れ手術で何とか生き返ったが、右手付随(身体障害3級2種)。実際は手が動かない為2級になると思うが、変更出来るだろうか?。黄疸が出て、今は体にパイプを入れている。ヘルパーさんが週1回来てくれる。全壊であったが、その年の9月に離婚。籍を抜いた前夫が罹災証明を持っている。一方的な夫側からの離婚なので、私の罹災証明は何とかならないだろうか?。←罹災証明は別世帯で取得出来ます。障害2級については、医者診断書が必要となります。以上の件を再訪問の時、詳しく説明する予定です。(65歳女性、一人暮らし、担当:石橋、青谷、小波本)

・公営は来年6月入居予定。市から民間一時待機を勧められたが、広過ぎるしこの次入居する公営から離れていたのを断った。またそのうち何か言うてくるやろう。公営の部屋は13階になる予定。高い所にあり苦手だけど…仕方ないわ。以前住んでいた所の近くだし、市場もたくさんあり便利…〈と心待ちにされているご様子でした〉。ここは隣に音が筒抜けなので、電話で大事な話をする時は公衆電話からかけている。(76歳女性、一人暮らし、担当:浦口、矢萩)

・最近では自分でもビックリするぐらい顔色がいい。親兄弟はもう死んだけど、私はまだまだ元気。来週転居予定。(73歳女性、一人暮らし、担当:祝、矢野、白倉)

・ここは空気がいいので喘息が良くなると思ったが、冬寒いので逆に悪くなってしまった〈ゼーゼー息をされていた〉。公営へ11月入居予定なので民間一時待機制度を勧められたが、引っ越し費用がない。自立支援金の前倒し支給があるのを知り、市に電話したが「あなたは対象外」と言われた。←転宅貸付の資料をお渡しする予定。(自立支援…は公営に移転する場合支給される。民間一時…はアパートに移転後支給される)(69歳男性、一人暮らし、担当：浦口、矢萩)

・5月転居予定。2軒隣の方(77歳女性、一人暮らし)は約1年入院の後、今年の1月14日に亡くなられました。〈仮設に住んでいる人が減った為か、こういう情報もなかなか届かなくなってきた〉。(76歳女性、一人暮らし、担当：赤西、土屋)

・住宅の件で役所などへ、何度も足を運んでいるのに落選続き。おたくらに「何とかして！」と言ってもどうにもならんしね。(67歳、一人暮らし、担当：赤西、立花、土屋)

2月6日

・夫は93年に脳内出血で倒れ、左半身の自由が利かなくなった。身体障害は5級だが、福祉上の恩恵はほとんどない。仮設内は砂利道で歩きにくい、それでも足を引きずりながらハビリの為の散歩をしている。公営は通院を考え駅の近くを申し込むが当たらず、個別斡旋は高齢者優先で主人の障害を全く考慮してくれない。私達は何もぜいたくを言っている訳ではない。行政はもっときめ細かい対応をして欲しい。1日いや半日、1時間でも早くここを出たい。(66歳、2人暮らし、担当：泉、清田、矢萩)

・元住んでいた場所は区画整理の対象となり、土地を売るよう勧められたが拒否した。いまだ土地のローンが残っており、支払いを続けている。長田のあちこちに小規模の受け皿住宅が建ち、空き部屋があるので入居を希望したら拒否された(受け皿住宅は公募されない)。公募の公営で申し込み対象とならない空き部屋があり、聞いてみたら「緊急時の為に空きにします」との答え。入居したい人がいるのに、そんな空き部屋を作るのはおかしい。同じ行き先未定の方と「最後まで残るんだから…あきらめたらいかんよ」と互いに励まし合っている。(40代、4人暮らし、担当：泉、清田、矢萩)

・娘の『骨壺』を持っているが、そろそろ納めんと落ちつかん。どこへ持っていったらええやろか？。3月転居予定。〈「耳は遠いが、口は達者」と言われお元気でした。71歳の息子さんは“ふれあいセンター”でのカラオケがなくなったのが相当残念なように、7曲続けて歌われた。〉(91歳、3人暮らし、担当：中来田、毛利、赤西)

・年取オーバーで「住居は自分で探せ」と市に言われたが、会社も仕事が減っており危ない状態。転居予定のメドが立たない。空き予定の募集は、入居出来るのが1年ぐらい先らしい。(49歳男性、一人暮らし、担当：松本、長船、植木)

・3月公営へ転居予定だが、もう荷物はまとめてある。移転先は4部屋もあってもったいない。誰か学生さんに貸してあげようかな…。〈数字の大きいカレンダーをお渡ししたら「あーっ！ありがとうございます」と大変喜んで下さった〉。(77歳女性、一人暮らし、担当：下山、田中、南口)

・区画整理の為、自分の土地に家を建てる事が出来ないのに、税金だけは取られる。税金を払うのに田舎の土地を売った。こんな状態で、仮換地指定通知書が一方的に送られてきた〈市に対して怒っておられた〉。(？歳、2人暮らし、担当：池内、武内、立花)

・台風が来ても、まさか地震が来るとは思いもしなかった。今ある土地(ガレージとして貸し

ている)に家を建てられないのは、たまたもし地震があったら…と思うから。今回斡旋でポーアイを勧められ、それでいいとうなずいた。まだ返事が来ない。毎日心待ちにポストをのぞいているのだが…。(74歳、2人暮らし、担当：亀井、泉、青谷)

・パーキンソン病で足が悪い。自律神経失調症。医者と相性が悪いらしく、薬も効かない。頼りにしている人が立て続けに亡くなり、淋しく夜眠れない事もある。仕事をしたいが医者に止められており、月8万3千円じゃ暮らせない。3月転居予定。〈将来に対して悲観的で「死にたい」と言われていた。でも訪問をととても喜んで下さった〉。(54歳女性、一人暮らし、担当：武内、池内、立花)

・60歳以下なので「公営は斡旋しませんよ」と言われた。住宅さえ決まればしっかりと働き口を定められるのに。5万円程の家賃で、2DKの広さがあれば良いのですが…。(44歳男性、一人暮らし、担当：西、赤松、福本)

・5月転居予定。腰が悪く家の中でも杖を突いて歩いているが、他は元気。デイサービス(週1回車で迎えに来てくれ、食事・入浴などのサービスがある)を利用している。現在は親しかった人もほとんどいなくなり、近所付き合いは全くない。税金免除の証明書を持っているが、確定申告の書類が届いた。どういう事だろう。〈書類を読むと国民健康保険に加入されているので、参考資料の為提出して欲しいという内容でした。その事をお伝えすると、病院へ行った時役所の出張所で聞いてみるとの事。過去の訪問の事をよく覚えてらして、今回もチラシを見て待っていて下さった。手作りの小物をいろいろ下さり、訪問を喜んで下さった〉。(76歳女性、一人暮らし、担当：小川、土屋、遠山)

・神戸から京都(亀岡)へ引っ越しを予定している。しかし引っ越しのに20万位かかる〈引っ越しボランティアの資料を渡す〉。本当は以前住んでいた地区に戻りたいが適当な物件がない。震災以降、神戸の敷金・礼金が高いと思う(関西は権利金がなく、借家を出る時は自動的に敷金の半分しか戻ってこない)。(30歳、2人暮らし、担当：西、赤松、福本)

・以前住んでいた地区に親戚・友人が多いので、どうしても帰りたい。過去6回落選。昨日役所から2人来て「以前住んでいた地区の県住はどうか」と言い、車で連れて行ってくれた(外観のみ)。そこに行こうと思う。ほんのわずかな年金と貯金で暮らしている。切り詰めて切り詰めて何とかやってきたが、引っ越したら家賃8,000円と共益費6,000円…と大分かかるようなので、市のお世話になろうかと思う。仮設では兄弟のように仲良く生きてきた。今でも転居した人が電話をくれたりする。(79歳女性、一人暮らし、担当：小川、土屋、遠山)

2月13日

・やっとパートの仕事が決まって去年10月頃から行っています。今日は丁度2時から研修で出掛けますので、逢えないのが残念ですがご苦労様。一つお願いがあります。3月初め頃引っ越し予定ですが、足腰を痛めており重い物が持てないので、引っ越しをお願いする事が出来ましたら助かります。日時が決まり次第連絡しますが、引っ越しの事を詳しく教えてもらいたいです。←電話にて説明する予定。(57歳、2人暮らし、本人自筆)

・人間は好きだが、一人でも淋しさを感じない。時には猫との会話も楽しい。この仮設でも、一人暮らしの方がかなり亡くなった。私も日によって血圧が高い時もあるが、体調はそんなに悪くない。今のところ病気(風邪引きは特に注意している)が怖い。公営に当選したが、カギ渡しはまだだ(3月転居予定)。風呂釜を個人で設置しなければならないので、業者を探して

欲しい。←調べて連絡する。(78歳女性、一人暮らし、担当：福本、池田、青田、清水)

・近所に一人暮らしの方がいたので、もう少し早く来て欲しかった。菅原市場の回りは仮換地(区画整理)がまだ終わっていないので、家が建てられない。また家主がいるので勝手に出来ない…。市は「市住に住め」と言っているが、申し込んでない。区画整理が終わるのを待っている。とにかく戻りたい。50代が一番苦しい。支援の隙間(住宅優遇や地域振興券がもらえない)だ。(64歳、2人暮らし、担当：矢野、田中、白倉)

・長田がもっと復興してくれたら…あそこは話がややこしいから遅い。空き地とか利用して、早く復興住宅を作って欲しい。いい設備はいらない。普通でいいのに。ほんと帰りたい…ストレスが溜まる。地下鉄や空港より住宅を！。浜手の町に活気が戻るように。6月須磨区に転居予定。(65歳、2人暮らし、担当：矢野、田中、白倉)

・〈娘さんがおられお話を伺う〉家が潰れ、その下敷きになった。助け出され、その時初めて外の様子を見たが、悪い夢を見ているようで思わず「うそー」と叫んでしまった。足を挟まれたりして脱出出来ず、生きたまま焼かれた人もたくさんいた。「もう逃げろ」と言って…。なくした物は買えるが、人はそうはいかない。命が助かっただけでも良かった。1月17日が近づく辛い。忘れる訳にはいかない。「仮設にいる」と言えないが、もうすぐ元いた地区に戻る(4月)ので嬉しい。(30代、3人暮らし、担当：矢野、田中、白倉)

・足に動脈瘤や血栓が出来るので、歩くのが辛い。腹部にも動脈瘤が出来ている。タバコは止められない(1日1箱)。肉は好きだったが止めた。甘い物が好きで、食事は作る事がない(出来合いを買う)。医者から、このままだと足を太股から切断する羽目になると言われた。〈動脈の音を聞いたが、悪い方はかすかな血流音だった。納豆や青魚を食べる等、食事に気を付けた方がよろしいですよとアドバイスをした。また新居へ移転後お知らせ下されば、週ボラがお訪ねしますよと伝えた。4人で写真を撮る〉。3月市街地へ転居予定。(69歳男性、一人暮らし、担当：田中、村松、白岩)

・市の斡旋により、3月移転予定(2階)。どういう所か、行った事がないので不安。娘が采配しているから、わしは全然分からない。寒さがよう応える。下半身がなかなか言う事きかない。早く変わりたい。ただそれだけや。(89歳男性、一人暮らし、担当：清水、池田、長船)

・新居が決まり、5月転居予定。〈との事で表情がとても生き生きしておられた。仮設での生活はとても良い経験だと言われた事から、とても前向きで強い人だなと思った。ご主人は脳出血の後遺症で血圧・顔面のしびれに悩まされていたようですが、だいぶ元気になられ、現在もりハビリ中との事〉。(68歳、2人暮らし、担当：南口、辻野、渡辺)

・震災で両親を失い、兄と2人暮らし。兄は印刷業で、朝5時には家を出る。私は呼吸器が悪く、体調も悪い。寒い日は特に悪くなるので困っている。住宅は兄に任せているので、よく分からない。たぶん兄の勤務地の都合で申し込んでいると思うが…転居先未定。(44歳、2人暮らし、担当：土屋、小田、矢萩)

・仮設に住んでいるといろんな人がいる。春(3月)になれば暖かくなるので、だいぶ楽になると思う。ぬくもりが、少しは落ち着きを取り戻してくれるだろう。移転先(6月)は街の方だが、今と生活はそんなに変わらないと思う。しかし気分的に明るい。お金があれば何でも出来る。(？歳、2人暮らし、担当：赤西、浮田、小山)

・公営は市街地でなく郊外に決まったが、その方がいい。空気もいい所だろうし、もう以前住んでいた所には戻りたくない。ようここで4年近くも耐えたわ。ボランティアの方々には、い

ろいろとお世話になりました。(60代、2人暮らし、担当：赤西、浮田、小山)

・なかなか見つからなかった仕事が決まり、ホッとしている。アルバイトだが、昨年夏から働き始めた(西神中央)。いろんな免許を持っており、特に重機の仕事があればお金もいいのだが…今はフォークリフトの仕事をしている。震災以来、糖尿病で薬を飲んでいるが、アルバイトなので社会保険もなく国保の3割負担となる。病気の事は勤め先に言っていない…。給料も安いと文句言えない。クビになると困るし…。とにかく仕事があつて良かった。これで引っ越しても家賃が払える。公営は市街地に当たっているが、入居日が未定。今働いている所は車ですぐだが、引っ越したらだいぶ遠くなる。いろいろ心配してくれてありがとう。〈車より電車で通勤した方が楽な事や、出勤日数によって回数券や定期券を利用すると安い事をお伝えした〉。(46歳男性、一人暮らし、担当：長船、堀、小田)

・この年なので仕事がなく、1年程前から生活保護を受けている。仕事(土木)さえあれば…働く気はあるんやけど。今まで病気をした事がない。住宅は県営に決まっていて、2月22日にカギをもらう予定。食事はパックの総菜や弁当を買ってきて食べており、煮炊きは一切していない。ここや長田の知り合いもおるけど、新しい所でも友達を作るつもり。(65歳男性、一人暮らし、担当：長船、堀、小田)

・前回訪問…95年に離婚。罹災証明は前夫が持っている。自分はないので相談に乗って欲しい。

罹災証明の再発行は持っているが自立支援金を申し込んだところ、駄目だったとの事。自立支援金の書類を渡し、申し込みには新住所の住民票コピーが必要で転居後でないと申し込めない事と、戸籍抄本(離婚された為、罹災証明と住民票の名字が異なるので)が必要である事を伝えた。(65歳女性、一人暮らし、担当：西、土屋、矢萩、若菜)

・前回訪問…自立支援金の前貸しをしたいと問い合わせたところ(一時待機制度の民間アパートに引っ越す為)、市から対象外と言われた。

前回訪問の際勧められたように、とりあえず申し込もうと区役所の窓口で聞いてみたら「あなたは生活保護を受けているので、前貸し支給は出来ない」と言われた。転宅費用として72,000円支給されるとの事で、そちらを申請した。でも…72,000円ではとても足りない。〈次善策として、転宅貸付の申請を勧め、窓口をお教えした。2月15日に申請してみますとの事〉。(69歳男性、一人暮らし、担当：西、土屋、矢萩)

2月20日

・今のところ、健康にも恵まれ精神もしっかりしているつもりです。何かありましたら、よろしくお願いします。須磨区へ転居予定。(70歳女性、一人暮らし、本人自筆)

・8月公営へ入居予定。一時待機制度の斡旋に今一番腹が立っている。担当の人が車で来て、兵庫区のマンションを見に行った。交通の便は確かに良かったが、中に入ってみると畳はボロボロ床は腐っていた。そのまま事務所に行くと相談もせず、勝手に書類に名前を書いて手続きを進めていた。どうにも納得できないので翌日断りに行ったら、渋々取り消してくれた。だがその翌日にはまた来て「せっかくここまでやったのに」「行ってくれないのか」と頼み倒しだった。しかし脱腸の手術をして以来階段がしんどいので、1階でないと困る。また一時入居しても2ヶ月間の事なのに敷金20万円出さなければならないし、斡旋を受けた部屋は埃が多いので窓も開けられず絶対エアコンを取り付けなければならない(そんな費用を市は見てくれな

い)。仮設にいた方がまだましだ。だからうちは最後の1軒になるだろう。(70歳、2人暮らし、担当：白岩、亀井)

・公営へ9月転居予定だが…建設中に古墳が発見され、工事が遅れている。一時待機制度で市が斡旋するところへ行くことになるだろう。何回も引っ越すのは嫌だけど、仕方がない。血圧が高く、調子が悪い。(65歳女性、一人暮らし、担当：清重、谷川、矢野)

・まもなく仮設で4年になるが、初めの1年間は夢中であった。2人で話し合っただけで我慢したおかげで、3月には希望の公営へ移転でき幸せである。しかし震災は、人生が変わるくらい苦しい人もいる。11月から無職になったが…転居先で仕事にありつけるかも。(59歳、2人暮らし、担当：小波本、シュミット、赤西)

・リンパ腫の為、神戸医大(神戸大学附属病院のこと)に通院している。1月23日から高熱が出て困っていたら、保健婦さんに“クリニック希望”を紹介してもらった。先生が「何かあれば医大まで運ぶから…」と言って下さり、安心したら病気もすぐに良くなった。気持ちの問題と感じた(他の病院では薬も効かず不安だった)。5月に転居予定。〈訪問を待っていたかのように「寒いから裏で話をしよう」と言われた。訪問に行った私達に暖かい言葉をかけて頂き、元気ももらった訪問でした〉。(62歳女性、一人暮らし、担当：清重、長船、谷川)

・在宅されていたが、訪問を拒絶された。家の外にはビールの空き缶等が散らばっており、生活状況が心配。(26歳男性、一人暮らし、担当：土屋(淳)・(建)、藤村)

・「公営は北区・西区・垂水区以外はない」と市の人に言われたが、選びようがない。こっちは震災後2年目で失業し、どんどん条件が悪くなっているのに…今度は「ここへ入れ」と強制的に言ってくるんやろ。公営が決まっても入居がまだ先の場合、民間へどんどん引っ越しさせとるようだ。強制的にでも仮設をゼロにしたいやな。空港作ったら、ガードマンやとび職の需要が出るから作って欲しい。(40代男性、一人暮らし、担当：長船、大村)

・夫と私は95年1月15日に結婚式を挙げました。17日に婚姻届を役所へ出しに行くつもりが…結局入籍できたのは12月でした。母は癌で付き添い介護が必要な為、結婚後は3人で暮らせるよう、母と私が住んでいた家を建て直しました。費用は夫の名義で銀行から借りましたが、夫は一度も暮らせないまま、全壊となりました(会社の独身寮・大阪にいた)。そのうえ母と私は病気やケガをしていたので、新婚生活にと揃えた家財道具を何一つ持ち出すことができませんでした。私達(旧姓のまま)は罹災証明をもらい5月に当選した仮設住宅に入居しましたが、夫は会社が遠くて通えないのでそのまま会社の寮に残る事になりました。家のローンは月々15万円(定年まで)。災害援護資金(家財道具が何もなかったのも、それで急場をしのいだ)も、母が亡くなり私達が引き継ぐことになりました。その返済が月々5万円。母の多額の治療費で貯金もなくなり、更に主人の会社から借金をしました。そちらの返済が月2万5千円くらいあります。市役所に相談に行っても「家のローンはそちらで何とかして下さい」と言うだけ。市営住宅に申し込みたくても年収オーバーでできません。夫も私も天涯孤独で、民間アパートを借りる際保証人になってくれる身内がいません。特例を認めて欲しいと訴えたところ被災者用公団住宅の申し込みをさせてもらえたが、今だ一向に当たりません。仕方なく4月からテント生活をする決心をしたのですが、それも嫌な顔をされました。毎日のように「仮設から出ろ」と言われ、ストレスが溜まって気が狂いそうです。私達は真面目に働き、質素に生きて参りました。それなのにどうして、こんな目に遭わなければならないのでしょうか。破産宣告もさせてもらえません。仮に公団住宅が当たったところで、敷金の支払いも今の状態では

無理です。支援金ももらえません。せめて空気のローンを抱えている者に市営住宅を申し込む権利を与えて欲しい！。ローンを省いての年取で考えて欲しい！。それが無理なら、せめて仮設住宅に住んでいる人を優先に公団住宅を当てて頂けないものでしょうか。私達には時間がないのですから。(30代、2人暮らし、担当：白岩)

2月27日

・名谷(公営)へ3月転居予定だが、未だ入居について説明がなんにもない。ここは2軒しか残っておらず、昼は人通りがあるから居られるけど、夜は怖くて眠れないので親戚の家に行っている。早よ移転するのが願いです。いつでも行ける準備はしている。(80歳女性、一人暮らし、担当：藤田、土屋、長船)

・公営が決まらないのが苦痛の種。近い将来病に伏せた場合、3人の娘が通いで面倒を見れるよう西神を希望している。しかし区の方はそれを“固執”にとらえ、“空き”の部屋があるらしいのに融通してくれない。又西神方面に入居できるなら、2~3年程遠い所に住んで待ちたいが、「それは保証できない」と言われ困っている。〈今はもうそのやり取りに疲れ、居直っている心境と語ったおられた。「何か良い知恵はないものだろうか」との事〉。(85歳女性、一人暮らし、担当：西、小林(弘)、坂本(佳))

・公営は名谷に当選した(5月転居予定)。便利が良い公営は当たらず、リストラ(震災で失業した)・震災・病気(足の障害・血糖値が高い)でがたがた。薬を6種類飲んでいる。夜も全然眠れない。公営では扉を閉めたまま出てこない人が多いらしく、移転してからの近所付き合いに不安を感じる。(58歳、2人暮らし、担当：土屋、長船、藤田)

・公営へ当選したが、電話で取り消しを一方的に言ってきた。〈市議員や弁護士に相談してみるよう勧めたが、「いや、もうあきあきしている。頼りにしたくない」と言われた〉。(68歳女性、一人暮らし、担当：西、坂本(佳))

・仮設は寒いし、寂しくなったので弟の家へよく行く。震災前まで清掃の仕事をしていたが、社屋が全壊したのを機に解雇された。この年では雇ってくれるところもあらへんし…。収入は年金だけ(月7万円)。かつかつの生活や。公営へ4月転居予定。←再度訪問したが留守の為、生活保護の資料をポストに入れた。(70歳女性、一人暮らし、担当：下谷、脇、矢萩)

・1月の個別斡旋で、夫の勤務地に近い区を希望したが空きがなく、とりあえず一時的に垂水区の公営へ入居することにした(4月転居予定)。2年程置いてもらえると思う。足が悪いので2階にしてもらった(エレベータ付)。夫は震災以降、気が短くなった。私はストレスが溜まると夫の茶碗を壊したりして…うさ晴らしをする。くよくよしても始まらない。前向きに生きてます。(59歳、2人暮らし、担当：祝、脇、矢萩)

・息子(震災後別世帯)が知人から「自立支援金を受給できるのでは？」と言われた。もらえないと思っていたのだが…どうなのか？〈罹災証明があるので、年取(346万)をオーバーしていなければ大丈夫だが、念の為ご本人が自立支援金の担当係に問い合わせようお勧めした〉。今までに背中手術を3回(障害4級)しており、月1回通院中。冬場はインフルエンザが怖い。体内に菌が入ると大変なので…。公営へ6月転居予定。〈息子さんが、色々面倒を見ておられるよう〉。(56歳男性、一人暮らし、担当：脇、矢萩)

・足が悪く座れない。また内臓も悪く通院中。娘の近所の公営(空き家募集・3月転居予定)に当たり良かった。2階だが何とか手すりを使って行けそう。新しい家に、風呂の手すり等

…体の不自由な人向けの対策が欲しい。←次回資料を渡す予定。(70歳女性、一人暮らし、担当：小波本、近藤、井上)

・子供が市街地の公営住宅を見つけてくれたので、そちらに移る予定。この周囲は、とにかく何でも不便。買い物もできない。〈戸を叩くと驚かれていた。強く叩いたら恐怖感を感じ、ボランティアでも追い返す事があるとされた〉。(？歳女性、一人暮らし、担当：福本、小川)

・この仮設は3月末までの契約になっています。私達が新しい住宅(公営)へ入居する予定は5月以降という事ですが、2~3ヶ月間の延長手続きはどうすればよいのでしょうか?。周囲の人達も減ってしまい、ふれあいがなくなりほとんどお話する機会もありません。でも、私共夫婦は健康で居ります。心配する事はありません。老人の方達の安否を気遣ってあげて下さい(一人暮らしの方)。いつもボランティアのご支援に感謝しております。(69歳、2人暮らし、本人自筆)

夫が好きで犬1匹、猫1匹ずつ飼っている。動物を公営に連れて行った人もいるが、やっぱり苦情があったそうだ。置いていかないといけないかもしれない…。(担当：福本、小川)

・6月に名谷へ移転予定。家賃がいくらか分からないので不安です。仕事をしたいが職がない(2人とも)。糖尿病であまり丈夫でないが働きたい。2人なので今のところ何とかやっています。←再訪問をし、生活状況の確認と雇用の資料をお渡しする予定。(67歳、2人暮らし、担当：小波本、近藤)

・昨年12月に市営住宅に当たったが、年収が500万円を超えているという事でハズされてしまい、行く先がなくなってしまった。3月までに民間に移れと言われても…。民間に移れるくらいなら、仮設には来なかった(子供は持病がある)。4年間仮設で過ごして、こんな結果になるなんて。昨年1月までに当たった人は、年収700万まで入れたというのに不公平だ。こんな非人道的な話があるか?。何とか対処できないか?〈後日電話で無料の法律相談をされている方を紹介し、また広くこの事を知ってもらうようアドバイスした〉。(52歳、3人暮らし、担当：近藤、小波本)

3月6日

・6月市街地へ転居予定。高血圧・コレステロールが高い。健康上心配な為、ケアライン119を設置している。回りに誰もいなくなり…一番近くに住んでいる方もまもなく引っ越しをする。子供なし。(70歳女性、一人暮らし、担当：山下、白岩)

・民間借り上げ住宅(以前住んでいたのが優先入居できたが…)へ3月転居予定。元住んでいた所は住みやすかったのが、また戻る事ができ楽しみです。子供なし。〈ご主人がお元気な方なので、視力障害の奥さんがとても明るくなさっており安心した〉。(68歳、2人暮らし、担当：山下、白岩)

・公営に入っても高齢者の一人暮らしの方は、援助や安否確認が必要と思うので、ボランティアの訪問は続けた方がいい。私の所も訪問していいですよ。未だ入居日や部屋番号が決まっていないが、5月20日前後には分かるので、電話して下さい。名谷へ転居予定。(51歳男性、一人暮らし、担当：小波本、赤西、阪井)

・公団借り上げ住宅(市街地)に転居予定。3月の予定が5月に延びた。せっかく荷物をまとめ楽しみにしてたのに…。糖尿病で血圧が高く(上が230)目も悪いので、病院へ行く以外は家にいる事が多い。人が減って寂しい…。毎日テレビを見たりして過ごしている。〈ぼっち

やりした年配の方です。明るくよく笑うけど、血圧が余りにも高いので心配です。(<?歳女性、一人暮らし、担当：西、白倉)

・市街地の公営を申し込んでいるが、3月10日に査定がある。当たると良いが、心配だ(年齢の関係でなかなか当たらない)。現在職を探しているが、60代に近いとなかなか雇ってくれる所がなく、困っている。(57歳男性、一人暮らし、担当：小波本、赤西、阪井)

・名谷へ6月転居予定。先日下見に行ったがすごい坂の上に建っていて、余り嬉しくない。夫は脊柱の病気で背骨を2本取っている(以前は建築の仕事をしていた)。無理して歩けなくなると困るのでシルバー人材センター(簡単な仕事)を応募したが…「空気がない」と断られた。私はもう20年パートを続けているので、社員並に責任ある仕事をしている(2年後定年)。だが厚生年金にパートでも加入できるようになったのは、平成5年から…とても中途半端。夫は国民年金にも入っていない(22年間国民年金に入っていた姉が亡くなった時、葬式代の2千円しか出ず、あほらしいとわかったのだ)。(66歳、2人暮らし、担当：祝、川口、亀井)

・私はここに一人で住んでいたが、昨年4月に結婚し年末には子供も生まれ、今は3人暮らし。夫は被災者ではないので、自立支援金をもらえない。今は貯金もほとんどなく、民間では敷金の支払いも難しいが、私達が入居できるのは公団か民間しかないだろう(収入制限があるので)。今まで何度か役所の人も来てくれたが…でもいつも勧められるのは北区ばかり。自分達は西区を希望している。また13日に役所の人…「早く出て行って欲しい」と来る。出ていかなければならないのはわかっているが…。(?歳、3人暮らし、担当：祝、川口、亀井)

・義父が土壁の家にこだわり、壊れた家を改築中(夫も義父も大工)。市住も考えたけど、働いているから家賃が高くて…。地元に戻る(4月転居予定)とはいえ、震災後ガラッと街の様子が変わり、別の所に行くみたい。(?歳、5人暮らし、担当：西、白倉)

・区画整理が決まらず、家が建てられない。収入制限があつて公営へ入れなかったが、今収入が少なくなってやっと入れた。一歩前へ進んだ気がする。でも休みが多いから、金を使う事が多くなった。この引っ越し(市街地の公営)は余分な出費…また金がある。(51歳男性、一人暮らし、担当：浦口、矢野、長船)

・3月15日引っ越す(民間一時待機・市街地)ので、毎日準備に忙しい。ここで3年7ヶ月、そして2年後やっと安住の地に…。仮決定している公営は空き家待ち。仮設に入るも出るも、そして公営も一番最後。“気”だけで持ってるような感じ。こういう人たくさんいるよ。行政は仮設を解消しようとしか考えてない…。ただ一時待機については、こっちの気持ちを察してくれた。元の所へ戻りたいのは、人間のぬくもり・人情が欲しいから。お金は使っても盗まれてもなくなるけど…。また市場も良心的で安いねん。近くに病院とかもあるし。(50代女性、一人暮らし、担当：浦口、矢野、長船)

・前回訪問…足が悪く座れない。内臓も悪く入院中。転居する公営に風呂の手すり等…体の不自由な人向けの対策が欲しい。

<日常生活用具給付の資料をお渡しした。念の為、設備の有無を確認すると…> 空き家入居なので、ないと思う。2階(エレベーターなし)なので、入居するかどうか迷ったが、静かな所だし娘の家にも近いので決めた。(70歳女性、一人暮らし、担当：砂田、林、矢萩)

・前回訪問…当選したがその後連絡なく、公営の入居時期が分からない。

<市営住宅募集係の電話番号を伝え、問い合わせよう勧めた>。5~6月に入居できると聞いているが…一応問い合わせしてみる。(69歳、2人暮らし、担当：砂田、林、矢萩)

・前回訪問・仕事をしたいが、職がない。2人ともあまり丈夫ではないが働きたい。

〈生活保護・雇用の資料をお渡しした〉。夫は職安に行っているが、職人（左官）なので、こだわりがあって決まらない。昨年5月から左官の仕事が、パツタリ来なくなった。仕事を回してくれた親方も辞めてしまったし…。今は月に1～2日しか仕事がない。雇用の資料（シルバー人材センター等）については、主人と相談し検討してみます。夫は糖尿病で体調が思わしくない（血糖値400）。3月8日病院で検査してもらおう予定。散歩など運動はしているが食べるので…。仕事があり体を動かす事ができればいいのだが…。（67歳、2人暮らし、担当：砂田、林、矢萩）

3月13日

・3月中旬カギ渡し（市街地）。洗濯機と粗ゴミを出して欲しい。〈5～6人でお手伝いをし、ゴミステーションまで運んだ〉。「やるだけやろう」という気力を、自分自身で持って欲しい。成功したら面白いですよ。昔、階段から落下して頭を打ち、手術で脳を半分切って植物人間か良くなっても車椅子と言われていた。記憶を失い一生車椅子なら死のうと思ったが、でも望みを捨てずいろいろな努力をして、ここまで来た。今はやや足が不自由なだけ。神戸は山を削り、海をいじめる…。地球かて生きてるのに。欲の為にムチャしよる。（49歳女性、一人暮らし、担当：岩田、小野、長船）

・公営（市街地）へ6月に引っ越し予定。96年に当選が決まったが、その頃はまだ3年も先の入居という事で敬遠され…21戸に対し11件の応募しかなく、すんなり決まった。先日職場で取引先の人に「そういえば地震ありましたよね」と言われショック。「私まだ仮設に住んでるんですよ」と言うのと「えー、そうなんですか!」と言われた。もう皆すっかり過去の事になっているのだと思った。それなのにまだこうしてボランティアに来てくれ、ご苦労様です。（30代女性、一人暮らし、担当：猪上、辻野、小田）

・前回訪問・3月公営（市街地・2F）へ転居予定。

遅くとも4月初めに転居する。下半身が思うように動かないので、転倒しない事を心掛けている。買い物に行く途中、疲れて道端で立ち止まっていると手を引いてくれるなど助けてくれる人がいてありがたい。下半身が不自由なので往生する。こんな事なら死んだ方がマシだと思うが、子供達に「元気で頑張らなあかん」と励まされている。〈暗い言葉が目立つ中、転居や子供さんの話になると表情も雰囲気も明るくなられた。〉（89歳男性、一人暮らし、担当：小田、猪上、辻野）

・前回訪問・兄と2人暮らし。兄は仕事に行っているが、私は呼吸器が悪く体調も良くない。住宅はまだ決まっていない。

個別斡旋で勧められた公営は、兄の通勤に不便な所ばかりなので断った。民間を借りるか、分譲で買うか思案中。（44歳、2人暮らし、担当：山中、矢萩）

・前回訪問・行き先はまだ決まってない。区画整理の対象となり、土地を売るよう勧められたが拒否した。土地のローンがまだ残っている。

夫が40代後半なので、なかなか当たらない。役所からも「年齢的に若いから、なかなか当選しないでしょう」と言われた。今住宅斡旋を受けているので、そのうちどこかの公営へ当たるでしょう。まあ待ちますわ。住民が少なくなり、犬の糞が目立つようになった。また仮設と関係ない車（アベックやタクシーなど）がよく入ってくる。（40代、4人暮らし、担当：矢

野、高見、赤西)

・ やっと公営（5月転居予定・名谷）へ移れる事になった。今度の住宅は風呂等が最新設備らしいけど、操作方法（スイッチ等）が高齢者に難しくないだろうか？。（76歳女性、一人暮らし、担当：赤西、矢野、高見）

・ 4月頃公営（市街地）へ転居予定。でもはっきりした日程が決まってない（後日、必要書類を提出する事になっている）。一時食事がのどを通らなかったが、今はマシになった…。肝臓ガン。兄弟の誰もなった事がないのでびっくりした。でも宣告をされても何とも思っていない（兄弟の方が心配している）。人間いつか死ぬんやし…。病気に負けたらアカン。（75歳女性、一人暮らし、担当：小野、岩田、長船）

・ 4月公営（市街地）へ転居予定。選挙を棄権するから、だんだん国が悪くなっていくんですよ。政治家に任せたらダメ。（75歳女性、一人暮らし、担当：小野、岩田、長船）

・ 前回訪問…公営が決まってホッとした。6月転居予定（市街地）。

仮設に来て、入口の坂道で転び右膝の皿を痛め…治るまで6ヶ月かかった。3ヶ月後には舗装されたが、あそこで転ばなかった人はおらんやろ。今度移転する公営は便利がよく、足が悪い妹の近くなるので行き来しやすくなる。ボランティアさん、いろいろお世話になりました。若い人がたくさん来て話を聞いてくれ、本当に有難く思っています。（78歳女性、一人暮らし、担当：泉、山中、矢萩）

・ 前回訪問…6月に名谷へ転居予定。元住んでいた所に帰りたい。ストレスが溜まる。

夫は左官業をしているが、不況と本格的な壁を持つ家の減少により、仕事が少ない。名谷に移るものの、家賃が払えるか不安だ。また公営だと商売道具（はしごやセメント等）の置き場がなく、移転後の話をするといつも夫とケンカになる。夫も先行き不安なだけにあまり考えたくないようだ。（65歳、2人暮らし、担当：小田、猪上、辻野）

・ 前回訪問…公営（市街地）へ3月転居予定。毎週火曜に車で、温泉と買い物に連れて行ってもらう。

今度引っ越すのは6階だから、浜風で寒いやろう（3月中旬カギ渡し）。引っ越し業者に値段を聞くと、まちまちなので相見積もりを取るつもり。1万の差は大きい。骨が弱くなっているようで、腰や膝が痛む。（77歳女性、一人暮らし、担当：泉、山中、矢萩）

3月20日

・ 5月名谷へ転居予定。人が少なくなってきたので、話し聞いて頂くだけでも助かります。夜は真っ暗で怖いけど、ここは数件固まっているのでまだ安心できる。夫婦とも年やから病気してるけど、まあ元気にしてます。（78歳、2人暮らし、担当：矢田、西、長船）

・ 前回訪問…9月に公営へ入居予定になっていたが、建設中に古墳が発見され、工期が遅れるとの事。2回引っ越しするのは嫌だが仕方ない。

地震で息子を亡くしたが、誰も本当に辛い気持ちは分からない。でもここは自然が豊かで少しは癒された。昨日もつくしをたくさん取ってきて、つくしの袴を一つ一つ手で取り椎茸と一緒に煮た。〈「食べてみる？」と言われごちそうになりました。少し苦みがあって美味しかったです〉。仮住まいを勧められているが、血圧が高く視力も弱くなってストレスが溜まるのに、何度も人間関係を作り直すのはしんどい。それに8月頃には入居出来るという噂もあるので、それまでバタバタせずによいと思う。（65歳女性、一人暮らし、担当：辻野、小田）

・長田のケミカルシューズ（ゴム製造工場）で働いているが、不況もあって仕事に行く日は少ない。酒を飲む（2日で日本酒を1升空ける）と寝られるので、つつい頼り…甘えてしまう。肝臓に問題はないが、歯茎が化膿して切開した。4月中旬公営（市街地）へ移転予定。（54歳男性、一人暮らし、担当：小田、辻野）

・再訪問…住宅へ当選したが、取り消しを電話で一方向的に言ってきた。

これが最後と言われ申し込んだら当選し…翌日には取り消しの電話。条件を確認してから申し込んだのに…一体どういう事や！。1時間後別の人から電話があり、「そんなに借金があるなら生活保護を受けたらどうですか？」と言われ怒り倍増。受けられるんなら受けさせてくれ！。何とか自分の力でと思い、貯金を取り崩しながら頑張っているのに…。今日はいろいろありがとう。〈経営していた飲食店の家賃収入があるが、借金もあるようなので被災者支援センターの資料をお渡しし、相談するよう勧めた。〉（68歳女性、一人暮らし、担当：辻野、小田）

・26日に公営（市街地）のカギ渡し。元の所に戻りたかったが、なかなか当たらず妥協した。引っ越しは知人の運送屋に頼んではいるが、高い。〈引っ越しボランティアのチラシを渡した〉。（68歳男性、一人暮らし、担当：福本、白倉）

・前回訪問…病に伏した時を考え、3人の娘がいる西区を希望しているが、区はそれを固執ととらえ融通してくれない。

個別斡旋に来た時「西神南はない」と言っていたのに…数日後発行された募集案内に掲載されたのは不思議でならない。ある日、知り合いの人から「井吹台に空きがある」と聞き、すぐ三宮の生活再建本部に行きたずねると「ありません」の一言。「私の事など…忘れていないと違いませんか」とたずねると「忘れていない」との返事。「ではどうして電話一本入れてくれないのか？」と申しました。復興住宅（新築の公営）の入居申し込みは、本人の希望する所を外され、市の勧める家しか移れないのですか？。もし強制的でない場合、私達の事情も聞き入れて欲しいので…見張っています。（85歳女性、一人暮らし、本人自筆）

あれから何も言ってこない。向こうから言うまで、ここにいます。友達もここを離れたらダメやと言っている。あまり突飛な所に行ったら、友達とかいなくなり弱ってしまうかも…。1日も長く生きたい…。そやから先の事は分からないけど、話をちゃんとつけて頑張ります。（担当：矢田、西、長船）

・市街地の公営（3階）に決まり、26日説明会がある。寝ている時大ムカデ（夜行性だから）に数回やられたが、それともようやくオサラバ出来る。早朝に体操をしているので、元気だ。（77歳男性、一人暮らし、担当：白岩）

・大工・左官の仕事を以前していたので仮設でも頼まれ、いろいろと修理した。子供の頃何でも手伝わされたのが、大人になってとても役に立っている。5月に娘の近くの公営（市街地）へ転居予定。仮設住宅の敷地内を掃除している（袋を持ってゴミや缶を拾ってる）。世話になった仮設だから、あと残り僅かな期間きれいにしたい。（?歳男性、一人暮らし、担当：白岩）

・名谷へ転居予定。引っ越しは息子がしてくれる。97年に心筋梗塞の為救急車で運ばれたが、一時間到着が遅ければ死んでいただろう。震災以降病気ばかりしている。1週間前も中耳炎になったが、病院で膿を取ってもらい良くなった。風邪のウイルスが入ったのが原因らしい。もっと話したいが、体の状態が悪い…。（60代男性、一人暮らし、担当：矢萩、矢野）

・慢性骨髄白血病になり7年目。今はまだ状態がいいので、1～2年は持つやろ。けど、いつどうなるかわからん病気や。被爆者以外の人が白血病になぜなるのか、今も原因が分かっていない。インターフェロンを自分で注射しているが副作用で歯が抜け、残り3本しかない。歯が痛むので抜いて欲しいと歯医者に頼むがビビって抜いてくれない（血が止まらなくなるのが怖いらしい）。仮設に来てから近所付き合いはなく、口を利く人もいない。今度の連休、友人から「会おう」と誘われているので出掛けるつもり。体の状態がいい今のうちに行っておかないと…。若い頃無茶苦茶してきたので55歳で死ぬと思っていたが、白血病にかかるなんて…楽に死なさんという意味やろか。最近ネズミが天井を走り回ったり、家具をかじったりするので隙間をテープで塞いでいる〈3月29日粘着シートを郵送した〉。(61歳男性、一人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・前回訪問…夫は脊柱の病気で、背骨を2本取っている。簡単な仕事をしたいが、シルバー人材センターは「空き」がないと断られた。〈雇用の資料をお渡しし、ご主人に被災地しごと開発事業を勧めた〉。私は後2年でパート（勤続20年）が定年になる。その後仕事が見つかるか…生計に不安を感じる。定年後出来たらボランティアをしたいと思う。被災した時世話になったので、お返ししたい。(66歳、2人暮らし、担当：寺野、矢萩、矢野、白岩)

3月27日

・2月14日に夫(91歳)が亡くなった。夜中に夫がトイレに起きた後、うたた寝していたので起こそうとしたら亡くなっていた。苦しまずに逝けてよかったと思う。ただ仮設を嫌がっていたので、それが心残りだ。ここで淋しいお葬式を出した。血圧が高く(フラフラする)、去年転んで折った肋骨もまだ痛む。夫が死んでからは足も痛み出し、ほとんど出歩かない。息子は半壊だった鉄工所(自営)を続けているが、ほとんど仕事がない。去年、個別斡旋で民間の借り上げ住宅を申し込んだが…未だに返事がない(市と借り上げ住宅側の話し合いがうまくいってないらしい)。全て息子に任せている。でも一人取り残されるようで淋しいし、不用心やし、早く仮設から出たい。(86歳女性、一人暮らし、担当：大久保、三矢、大和田、小田)

・息子と2人で4月11日に一時待機の民間マンション(市街地)へ転居予定。2年後に須磨の公営へ入居することになっている。娘が同居すると収入オーバーになるので、近くにワンルームマンションを借りて住む事になった。48年ほど前夫がいなくなってから、昼夜なしに働いて3人の子供を育ててきた。今では子供がよくしてくれる。(76歳、3人暮らし、担当：大久保、三矢、大和田、小田)

・公営は以前住んでいた近くを希望していたが当たらず、西区(5月転居予定)で我慢する事にした。今日は西城陽中学校(京都府)の生徒さんも来てくれてありがとう。(62歳、3人暮らし、担当：川勝、住、谷口、小波本)

・息子の勤務先(大阪市内)の事情で、市街地の駅近辺を希望していたが、落選ばかり。早く出たいので、市の住宅斡旋で4月3日に一時待機の公営へ移転する。その後公営(市街地)に空きが出たら転居するという約束だ。パートで働きたい。いずれ息子からも離れて自活しなければならないし…。でも時代が時代なので…。猫を2匹飼っているが公営に連れて行く事が出来ないで、このまま置いて行くつもり(親猫も近くにいるので大丈夫と思うが…)。(50歳、2人暮らし、担当：笠沙、福井、亀井)

・ようやく公営(市街地)が当たった。娘(次女)の近くに、どうしても行きたかった。とり

あえず一時待機のマンションへ、明日引っ越し。今同居している孫も、今年の春から東京の職能大学へ入学が決まった。また1年生からやり直し(アルバイトと遠距離通学の両立は難しく、大阪の大学も休みがちだった)。震災の時、ほんの4~5秒の間だったらしいが、すごく長く感じた。あんなに怖い事はない。近所のある人はガス栓を止めないまま、揺れの後安心してたばこに火を点けてしまい、火事になったらしい(その人は亡くなった)。<去年は「毎日が不安」とご本人が書いておられ心配でしたが、今回は「この春は良い事ばかりです」と嬉しそうに話して下さり、安心した>。(70歳、2人暮らし、担当：笠沙、福井、亀井)

・足が悪いから階段は困るのに、エレベーターのない所を斡旋する。また遠い所や古い所ばかりで、いつ空くのかも分からないし…。2年間待ち、また引っ越しなんてたまらない。2年間タダや言うたら飛びつくと思っているのか。3年~4年放つたらかしにしていって、こっちの言う事も聞いてくれへん。『当たらん』と言って役所の前で自殺した人の気持ちが分かるわ。自殺するだけの勇気はないけど。(77歳、2人暮らし、担当：靱山、川勝、長船)

・「ある程度の広さがあればどこでも…」と言ったところ、個別斡旋で市街地の空き家(公営・3DK)に決まった。2年以内には入居出来るという話だ。一時待機の居場所を探しているが、なかなかいい所が見つからない…また民間も一時入居では嫌がるらしい。人も少なくなり、物騒なので早く出たい。仕事もなくアルバイト(1日4時間)では、震災前のようにはいかない。(50歳、2人暮らし、担当：川勝、靱山、長船)

・市街地の公営へ5月頃転居予定だが、息子3人と遠くなるので心配だ。また知らない所へ行って一からやり直すのも…。震災後、4度の引っ越しをした。引っ越しが一番疲れる。(81歳女性、一人暮らし、担当：笠沙、福井、亀井)

・転んで、腰が不自由になり入院した(約3ヶ月)。以前もヘルパーさんを頼んでいたが、退院後は都合がつかないようで…まだ来ず困っている。ヘルパーさんに掃除などしてもらえたら助かるのだが、何とかならないか?。<カイロを差し上げた。あんしんすこやか窓口へ上記の件を依頼するFAXを入れ、後日確認すると4月1日訪問しているとの事>。(80歳女性、一人暮らし、担当：谷口、川勝、住、小波本)

・公営は名谷へ5月転居予定。被災時腰と尾てい骨を打ち、今も痛みが続き重い物が持てない。仮設にいと気分が滅入る時があるので、努めて外に出て気分転換をしている。市街地で化粧品の仕事をしている。辞めたいが学校へ行っている子供がおり、年金だけでは厳しい。私のような年で果たして他に仕事があるのか?。どこへ申し込んだらいいのですか? <と聞かれ、神戸市シルバー人材センターをお知らせした>。(?歳女性、一人暮らし、担当：岡、七種、奥村)

・名谷の公営へ5月転居予定。早く入居出来たらいいけど…。心臓が少し悪く血圧が高いので、季節の変わり目は辛い。住んでいる人が少なくなり、夜が不安でいつも戸締まりをしている。空き巣が入ったりした家もあったようだ。(60代女性、一人暮らし、担当：靱山、川勝、長船)

・昨年腰をひねり1ヶ月くらい部屋の中を這い回っていた(自炊も出来ず、しばらく弁当だった)。今も後遺症で右足が痛み、掃除が辛いので週1回ヘルパーに来てもらっている。もともと体は弱い方で、戦争末期の徴兵検査にも合格しなかった。今回当選した名谷(5月転居予定)は坂の上であり、市は道路整備やエスカレーター設置等するらしいが、どうも進んでないようだ。本当にやる気があるのか!。私らのように年取って足の悪い者にはしんどい。最近は大

オキシシンやら地球温暖化等訳の分からない事が多すぎる。私らのような年寄りはいえけど、あんたら若い者はこれから大変やで。〈寒い日で、足が悪いのに長時間の立ち話になり…もう少しお話をしたかったようですが引き上げました〉。(70代男性、一人暮らし、担当：築山、神田、矢萩)

・公営は名谷へ5月移転予定。4月18日には交流会があり、バスで明石大橋等へ連れて行ってくれるらしいので楽しみ。私は97年末に片肺を取る手術をした。今も肺や心臓の薬をいっぱい飲んでいいる。妻は震災前に両膝へ人工関節を入れる手術をした(障害3級)。歩くのは何とかできるが、膝が曲がらない為段差で苦労する。公営は駅からバスに乗って4つ目らしいので心配だ。(72歳、2人暮らし、担当：大久保、三矢、大和田、小田)

・公営へ5月転居予定(障害1級の娘と)。引っ越しでまたお金がかかる。どこに頼もうか? 〈と言われたので、引っ越しボランティアの資料をお渡しする〉。以前から比べると、だんだん役所が冷たくなってきた。(68歳、2人暮らし、担当：七種、奥村、岡)

・公営(市街地)へ5月転居予定。この仮設はみんな良い人でとても良かった。絵の作品展を開いたりなどもした。仮設に住み辛い事もあったが、反面きれいな自然も楽しめた。霜柱が朝日に光るなんて、今まで知らなかった。(55歳、2人暮らし、担当：林、湯山、芳松、白岩)

4月3日

・明日、市街地の公営(HAT神戸・15階建て)へ転居予定。便利な所だけど、近くに高速道路が走っており、すごい音がする。(77歳女性、一人暮らし、担当：芳本、原、猪上)

・来月公営(市街地・4月予定)へ転居出来ればよいのだが。最近…妻の体調が良くない。(80歳、2人暮らし、担当：芳本、原、猪上)

・震災で家は全焼し、夫はその5日後食道ガンで亡くなった。二重の苦しみを味わう。でも6月には以前いた地区(公営)へ移転できる…待って良かった。〈引っ越しボランティアの資料をお渡しすると、大変喜ばれた〉。(63歳女性、一人暮らし、担当：角田(四・瑞・圭)、小波本)

・4月下旬に公営(市街地)へ移転予定。足・腰が弱ってきたが…正座が出来ない程度です。ボランティアさん、元気出してもっと続けて下さい。また東京からご家族で来られ、「ありがとう」。〈お菓子をたくさん頂いたので、お礼に圭奈ちゃん(10歳)は『母さんの心』を歌い、とても喜ばれた〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：角田(四・瑞・圭)、小波本)

・現在は付近に誰もおらず夜は心細い限りですけれど、あと2ヶ月余りですので頑張ります。ボランティアの方々にはいつもお世話になるばかりで、本当に有り難うございます。(75歳女性、一人暮らし、本人自筆)

・名谷へ5月転居予定。引っ越しは友達に頼む予定だが、まだ先の事なのでよく分からない。足が悪い。〈足は棒のように細く、健康状態は余り良くなさそうでした。引っ越しボランティアの資料をお渡しする〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：亀井、豊住、矢萩)

・今残っているのは、ほとんど年寄りばかり。夜は怖いのでドアを叩かれても出ていかず、電気もテレビもつけっぱなしで寝ている。最近夜8時頃消防車が来た。聞いてみると火災報知器の電池取り替えに来たが、昼は留守が多い為夜来たとの事(室谷で火事があり1人亡くなったので、点検に来たのだろう)。仮設に来てから高血圧(上が200)になり、心臓・循環器も悪い。公営(市街地・3月下旬予定)は、周辺の道路整備等が遅れており、入居は5月中旬に

なりそうだ。建物が出来ているのに入れないとは…。最近、ふれあいセンターで仮設の同窓会があり、たくさんの方が出席した。(80歳女性、一人暮らし、担当：亀井、豊住、矢萩)

・パートで病院の掃除に行っているが、この年だから体をだましだまし続けている。私らより、60代の人の方が元気なさそうだ。議員は選挙の時ばかりいい事言うけど、当選したら何もしない。〈「行政の世話にならないようやっていきたい」と言われ、気丈な方です。通勤の服装もお洒落でした〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：亀井、豊住、矢萩)

・公営(市街地)へ5月転居予定…もう少しなので嬉しい。目が見えにくく…耳も遠いので、週1回ヘルパーさんが来てくれ買い物や掃除等をしてくれる。しかし自分で電動三輪車に乗り買い物に行ったり、健康の為に天気良ければ仮設の周囲を歩いている。〈何周も歩いておられ、電動三輪車で颯爽と出掛ける姿を見て安心した〉。(84歳女性、一人暮らし、担当：角田(四・瑞・圭)、小波本、若菜)

・公営(市街地・14階建て)へ5月転居予定。息子の近くなので嬉しい。白内障で目が少し不自由。年金だけでやりくりしており、米2合を3日持つようにしている。戦争を経験しているので、苦労には馴れている。(84歳女性、一人暮らし、担当：角田(四・瑞・圭)、小波本)

・4月18日に公営(名谷)の見学会に行きます。まずはホッとした。引っ越しの手がないので、今あちこちに頼んでいる〈引っ越しボランティアの資料をお渡しした〉。もうすぐ選挙だが…もう誰も信じられんわ。今の日本は国民の生活を第一に考えとらん！。先行きが不安や。我々の世代はずっとだまされてきたんや。戦時中は軍国主義に振り回され、戦後は民主主義とは名ばかりの…ええ加減な政治に振り回されてきた。(70代男性、一人暮らし、担当：赤西、高見)

・市街地の公営へ6月転居予定。行政の人は「今は何もないけど、これからいい街になりますよ」と言うが、年寄りでも暮らしやすい…道は平坦で自分の事は自分で出来るような所へ行きたい。寒いと右足の関節が痛むので、サポーターをつけたり軽い運動や散歩をし、足を鍛えている。回りの仮設も一棟ずつ撤去されているが、前の道を車がしょっちゅう走るので、淋しさは感じない。ベルBOXから電話も入るし、娘も来てくれるので心強い。地震の時の事は、思い出したくもない。でも…近所で亡くなった人、10人はいるよ。裏も隣も…。助けてあげられへんねん、埋まっている所へ火事が来たから…。今でも一步裏へ入ったら更地ばかりや。(79歳女性、一人暮らし、担当：丸笹、柴原、長船)

・目が悪いので、来ていた郵便物を見て欲しいとの事。確認したが特に急いで返事する物はなかった。夜中にチャイムを押す人がおり、困っている。(83歳女性、一人暮らし、担当：脇山、祝)

・早いもので仮設に入居し4年が過ぎました。初めの頃は気心も分からず心が痛みましたが、馴れていくうちに気持ちも分かり、淋しさも少しずつ落ち着きに変わりました。ボランティアの皆さんにも足を運んで頂きました。しかし今は2軒になり、夜が来ると淋しさに涙が出ます。名谷の公営(5月)へ入居するまではと思い、姉と2人励まし合い生きています。2軒では訪れる人もありません。今は早く5月が来るのを待つのみです。(75歳、2人暮らし、本人自筆)

空き家の窓ガラスを割られた。また夜若者が自動販売機の所に集まってくるので、撤去して欲しい。公営へ転居時、「引っ越しボランティア」はダンボール箱も用意してくれるのか？テレビ等の接続もしてくれるのか？←ダンボール箱は用意します。テレビ等の接続は出来ません。

(担当：脇山、祝)

・5月転居予定の公営(市街地)は、古墳が出た為1ヶ月入居が遅れるらしい。最近若い人が、空き家のガラスを割って侵入し…部屋にたむろしている。(82歳、2人暮らし、担当：高見、赤西)

・公営住宅は当たったが、息子の収入オーバーで無効になってしまった。結局大阪の借家(5月)へ引っ越す事になったが、引っ越しの手がない。大阪近辺で月1回位食事会を催してくれたり…「花見」などを企画してくれる、ボランティアやグループがあれば教えて欲しい。但し酒とカラオケは苦手です。〈引っ越しボランティアの資料をお渡ししたところ、大変喜んでおられた。なおグループなどは大阪のボランティア情報などで探し、後日連絡します〉。(76歳、2人暮らし、担当：高見、赤西)

・5月転居予定の公営(名谷)で、4月18日に室内見学と明石大橋等を見て回るバスツアーが予定されているが、夫がいるので諦めております。〈車で移送する事をお約束した。今回初めてご主人にお会いしましたが、気難しい方ではなく、ボケも軽く…寝たきりなので、訪ねてくれる人を楽しみにしています〉。(70歳、2人暮らし、担当：大滝、藤沢)

4月10日

・公営(市街地・4月下旬)へ行ったら知り合いがいるので楽しみ。でも最寄りの駅から歩いて10分…バスが通るのはいつのことやろう。非常電話なども付いているが、全部ボタンで操作方法がわかりにくい。電話も枕元から遠い所にあるので、延長コード(股関節を手術しており起き上がるのが大変)がまた必要になる。移転しても、また来てくれるのか?〈と公営訪問を希望されていた〉。(69歳男性、一人暮らし、担当：縣、川満、長船)

・心臓が悪く、発作が不安。腰を痛めたが、月6万の年金では入院も出来ない。食事を作るのも一苦勞(妻は入院中)。痛み止めも効かない。公営(市街地)へ5月末転居予定だが、その時は荷造りとか頼みたい。近所の人みんな出ていってしまい、子供も自分達の生活があるだろうから頼めない。こんなになって、情けなくて泣くに泣けん…。(75歳男性、一人暮らし、担当：縣、川満、長船)

・この仮設から名谷の公営へ7世帯転居するが、出来れば同じ棟へ入居させて欲しい(でも行政はそんな要望を聞いてくれない)。一人暮らしの人や人付き合いの下手な人の事を考えて欲しい。せっかく仮設で出来た人間関係もバラバラになってしまう。入居5年後には家賃が上がるのに、生活保護の申請の仕方もわからない人が多い。(78歳、2人暮らし、担当：福井、小林)

・あつという間の4年間だった。ここは建て付けがしっかりしていて、雨が降っても音がしない。夜は静かすぎて怖いくらい。ネコがいるからいいけど、一人暮らしで心細い。公営もこんな風やろか?。入居した人の話だと「穴蔵に入ったみたいや」と言うてた。公営(市街地・5月)へ引っ越す時、荷物の整理を手伝いに来てくれないか?。(78歳女性、一人暮らし、担当：小林、福井)

・妹は心臓が悪く、いつ発作が起こるか分からない。私も高血圧・心臓肥大で…来月には白内障の手術を受ける。2人とも体に不安があるので、転居予定(5月)の名谷の坂は大丈夫だろうか?。年金は2人合わせて8万円弱。生活費で足りない分は貯えを取り崩している。生活保護を受けたいが、行政から「貯金が10万位になったら来て下さい」と言われた。現在貯金が

100万位あるので困っている。今までは近所の人に助けてもらっていたけど、みんないなくなつて淋しい。(81歳、2人暮らし、担当：福井、小林)

・公営(市街地)へ当選したが、行政に「今月15日までに出てくれ」と言われ、引っ越しの準備を焦っている。でも体がついてこずしんどくなる。せめて25日頃まで居させてもらえるなら、自分で出来るのに…。決していつまでも仮設に居座ろうとしている訳ではない。(68歳女性、一人暮らし、担当：高山、矢野、亀井)

・義援金の第3次配分15万円(3月31日締切)だが、第1次を貰った人は申請なしで、98年度に振り込みされているとの話だ。しかし私には振り込みがなかった(95年度の総所得額が690万円以下が貰える)。総所得は820万円だったが仕事柄(自営の水道配管)車をよく使いガソリン代などを考えると、95年の収入はかなり下回るのに…。最近仕事も少なく、3月半ばから働いてない。昨日やっと1日仕事があったくらい。このご時世、義援金の15万円といっても…かなり大きい。(60歳男性、一人暮らし、担当：高山、矢野、亀井)

・仮設入居1年くらいで心臓が悪くなり、生活保護を受けている。公営(市街地・5月)へ5月転居予定。被災した借家は住める状態ではなく全員退居したが、1軒だけ仕事場に使用している業者が残っている為、解体されずにいる。私達は『解体証明』がないので支援金が貰えない(県庁前で座り込みをした事がある)。(57歳男性、一人暮らし、担当：濱岸、赤西)

・B型肝炎で血圧も高く、体調が悪い。最近特に気温差が激しいので辛い。名谷へ5月転居予定だが、入居日が決まるまでは気分が落ち着かず、眠れない日がある。(57歳女性、一人暮らし、担当：濱岸、赤西)

・神戸の西の外れ…伸びた雑草ばかりが目立つゴーストタウンのような仮設群(625戸)の中で、24世帯がひっそりと点在し暮らしている。昨今、10人ぐらいのグループで車を盗んだり、空き家のエアコンを盗む泥棒が出るとの事。また空き家の入口を金具で塞いでいるのに、それを外し中に荷物を入れたりしているところもある。今回私達の訪問を歓迎し、閉まっているはずのふれあいセンターを開けてくれた。電気の灯がつき、寒いからと石油ストーブに火をつけてくれた…身も心も暖かくなるとはこの事だ。だが未だ行き先の決まっていない人もいる…。無料で引っ越しのお手伝いをしていたボランティアグループは、助成金が途切れ『有料』になる。最後になればなるほど、新しい生活スタートは困難になっていく…。(鹿島)

・足の骨折により3月まで入院していた。ヘルパーさんは4月11日より来てくれる。名谷へ5月転居予定だが、足がまだ良くないので引っ越しを手伝って欲しい。〈電話で話が中断した為、引っ越しボランティアの資料をポストに入れた〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：上地、久保井、辻野)

4月17日

・震災の時、腰と首を痛め肋骨を折った。今も長く正座が出来なかつたり頭痛がするので、リハビリを続けている。アパートは半壊だったので、家賃を払って住んでいたが、ガス・水道の修理がされないの仮設へ引っ越してきた(アパートは未だ解体されていない)。公営(市街地)へ5月転居予定でとても嬉しい。(53歳女性、一人暮らし、担当：橘、小林)

・夜になると廃車や古くなった電化製品を捨てに来たり、空き家のクーラーを盗みに来る者がいて、女の方は怖くてたまらないだろう。ここにおつたらアル中になる。裏の池に飛び込んだり、肝硬変で血を吐いたりして死んだ人が一杯いる。公営は、つい最近エレベーターのない所

を斡旋してきたので断った。年取ったら階段の昇り降りが出来んようになる。風呂も古い住宅は仮設より狭い。ぜいたく言うたらあかんのやけど、私らにとって終の住家や。新築の公営に何ぼでも空き家があるやないか…。(68歳男性、一人暮らし、担当：橘、小林)

・私はいつも働きに出ているが、それでもボランティアの存在は心強く、精神的に助けられた。ここはまるで孤島みたいな所だしいろいろ不安もあったけど、公営(市街地・5月)へ転居できるのでホッとしている。引っ越したら全国から来るボランティアに宿として提供したい。いくらかでもお返しをしたい。(63歳、2人暮らし、担当：橘、小林)

・人が減り、最初は静かでもいいなと思ったけど、今はそれを通り越して怖い。治安が悪いので、人が来てもドアを開けない。特に夜が怖い。公営(名谷・5月)へ転居するまで、あと少しなので頑張ります。(70代女性、一人暮らし、担当：矢野、長船)

・公営(名谷)へ5月転居予定。この頃、少し体がだるい。心臓が悪い上に喉にポリープが出来、食事を飲み込めない(コーンフレークを食べている)。不摂生やし、しゃあないわ。いつも一人ぼっちやから、たまに人が来てくれると嬉しい。公営では「誰も来てくれない」と泣いてる人も多いよ…。(49歳男性、一人暮らし、担当：矢野、猪上、東條、長船)

・以前交通事故に遭い、腰に後遺症が残った為、今でもリハビリを続けている。西神南の公営へ仮当選したが、その後何の連絡もない。問い合わせたいが、どこに聞いたらいいのか?。←神戸市営住宅募集係(392-2381)、通じない場合は神戸市役所へ電話をかけ、先の係を呼びだしてもらおう。(59歳、3人暮らし、担当：猪上、東條)

・公営(市街地)の転居予定が早まり焦っているが、荷ほどきの事を考えると自分でした方が分かりやすいし気を遣わなくてすむので…誰にも頼むつもりはない。私が行く所は、元住んでいた所にも近いし、トイレや風呂にも緊急用ブザーがついているので安心だ。骨粗鬆症で背中がどんどん曲がりだし、お腹を圧迫するので苦しい。病院からは「このままか、悪くなるだけ」と言われている。転んで寝込まないよう気をつけている。(73歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井)

・夫は狭心症、私は不整脈。夫の仕事(大工)も不況の影響で仕事が減り、水道工事の仕事も受けるようになった。収入が全くないよりまだましだ。公営(名谷・5月転居予定)は個別斡旋で決まったが、仕事用の車を置く所がなく困っている(本当はガレージ付きの所を希望していたが…)。市には言いたい事が山ほどあるが、今さら何言っても仕方ない。(65歳、2人暮らし、担当：福本、矢萩)

・震災以降血圧が高くなり、未だ下がらない。現在入居する公営(市街地)の、6月完成を待っている。周囲も空き家が増え淋しくなったので、音楽をかけてリラックスするようにしている。以前はボランティアも良く来てくれたが、今はほとんど見掛けない。(68歳、一人暮らし、担当：脇山、赤西)

・震災当日は、仕事で家におらず助かった。自宅マンションは倒壊し、ペシャンコになっていた。5月には公営(市街地)へ転居するので、その準備中です。とにかく仮設での4年間、もう疲れたわ。〈私達がかつて訪問した時は、仕事の為家におられなかったとの事。でも今回は引っ越す前にボランティアに会おうと思い、待っていて下さったそうです〉。(50代女性、一人暮らし、担当：脇山、赤西)

・公営は5月転居予定。母(95歳)が8ヶ月前から、また動脈瘤で入院中。意識はしっかりしているが、年が年だし…。私は生まれつき右足が悪く、歩くとどうしても右に重心がかかる

のですぐ靴が破れる。また湿気が多いので足がしんどい。入れ歯も噛み合わせが悪くなり、うまく話せない。今まで生きてきていい事なかった。でも音楽を聴くのが楽しみで、苦しい事・母の事を忘れられる。今日は来てくれて有り難う。本当に楽しかった。また来て下さい…〈と涙ぐんでおられた。別れるのが本当に辛い訪問でした〉。(56歳男性、一人暮らし、担当：福本、矢萩)

・震災当時、肉親を亡くされた何人かの方と話を致しました。涙を流され、低い声で「胸が苦しく…吐く息ばかりで、全身を締め付ける絶望感に耐えられず、一切の物を見たくも聞きたくもない。この大きな苦しみを、どこにぶち当てればいいのか…。金も不要、物も不要、命もいらぬ…生きる希望など全くない。けれど腹も空くし、寒さもこたえる」と泣き笑いの物語でした。私は「無事生きている事が何よりの幸であり、一日も早く気力を取り戻して下さい」と月並みの言葉を掛けました。しかしこの言葉は、苦しんでいる方達にとって…『勝者が敗者に言う言葉』に感じられたと思います。今この方達は元気で生活をしておられるだろうか？。私はいつも祈りを送っています。現代の世相は他人の事に構って居れず、自分達の事で精一杯の世の中です。なのに最後まで声を掛け、世話を下さるボランティアの皆様方に、只感謝あるのみです。最後に亡き6400人の魂と共に叫ぶ、『天よ、再びこのような災害を起こさないで』(72歳男性、？人暮らし、本人自筆)

4月24日

・腸の手術を2回しており、立って動くのがしんどい。ポーアイの中央市民病院へ、やつとの思いで通っている。以前はヘルパーやボランティアの付き添いを頼んでいたが、お金がかかるし手続きも煩わしいので依頼するのを止めた。(付き添いや移送を気軽に頼める所はないだろうか？)。この仮設は6月末で撤去するらしいが、私の公営入居(市街地)予定は8月。市に一時待機の間所を聞いてもはっきりしない。夜ぐっすり眠れる方なのに、最近朝3~4時には目が覚めてしまう。早く決めて欲しい。今は両隣がおらず、音がしなくて寂しいので視る番組はないが、ずっとテレビをつけている。〈5月1日再度訪問すると「連休明けに一時待機の件で行政が来てくれる事になった」とのお話にほっとした〉。(82歳女性、一人暮らし、担当：福島、矢萩)

・足が悪く杖を突いているが、元気です。公営(市街地)へ5月転居予定。身寄りはないが、福祉の人が引っ越しも全てしてくれるから…。知り合いもたくさんいる。今度引っ越すとみんなの家に近くなり、前みたいに行き来できるので助かる。(74歳女性、一人暮らし、担当：岩田、長船)

・高齢者の共同出資による事業(公園の草刈り・樹木剪定の仕事・機械は自前)へ、月14日程(4~5万円)行っている。しかし、既存の造園業者やシルバー人材センターとの競争もあり厳しい。震災後3年間、半壊のアパートに住んでいたが、漏電によるボヤがあり仮設に入居した。女性は強い。それに比べ、男は妻が亡くなるとすぐ弱くなる。身近でも3人位そういう人を知っている。公園の公衆トイレで50代の男性が首を吊っていたのを見た事があるが、男なんて弱いもんや。でも…人間絶望したらアカンで。公営(市街地)へ5月転居予定。(72歳、2人暮らし、担当：福島、矢萩)

・再訪問・母(96歳)は8ヶ月前から、また動脈瘤で入院中。私は生まれつき右足が悪く、歩くと右に重心がかかる。生きていて、いい事なかった。

母は4月26日に転院する。今まで寝たきりで天井を向いたままの毎日だったが、今度の所は色々な施設や行事があるので…母も喜んでいて。名谷の見学会に行ってきたが、思った程坂がきつくなかった。買い物は駅まで出なくてはいけませんが、バスで7～8分の所だし、そのうちスーパーが近くに出来るのではという話もある。ただ入居してからの人間関係が心配。公営に移ったら、またいらして下さい<と部屋番号を教えて頂いた>。(56歳男性、一人暮らし、担当：福島、矢萩)

・息子(重度の障害者)は歩く際前屈みになるので、最近矯正する為コルセットをしたが体に合わず胸が擦れるので、1ヶ月程外に出ていない。息子が作業所に通うのも公営(市街地・5月)へ移転後、考えようと思う(本当は迎えに来てくれたらいいのだけど)。何人かボランティアの人も来てくれる。公営に引っ越した人が「お隣と話が出来ず寂しい。入居して半年になるのに同じ階の人と会った事がない」と言うていた。(80歳、2人暮らし、担当：矢野、小林)

・年金があるから食うのに困らんけど、人付き合いが悪くて…。趣味はパチンコ…何も考えんでいいから(実は心臓に持病があって、パチンコで興奮して倒れた事もある)。本当は一人暮らしがしたいんだけど、公営が当たらん。申し込みの時いつも入院しているか、当たっても坂が多いので断った。それ以来行政から何も言うてこん。息子が来い言うからしゃあない。もうすぐ同居(公営)するけど、気を使うもんな。地震で人生終わった。もうやりたい事やったし…。(76歳男性、一人暮らし、担当：矢野、小林)

・妻は早朝5時半に家を出、3時間程清掃の仕事をする。私(肝硬変等で仕事が出来ない)は毎週市街地へ行き将棋を指すが、お互いそれがリフレッシュの場となっている。若い時は兵隊に取られ、今回は震災に遭い何の為に生まれてきたのかわからん。災難に遭う為か…。[妻]緑内障で手術も出来ず、いつ目が見えなくなるか分からない。でも今回見えるうちに公営(名谷・5月)へ転居できそうなので、安心した。(75歳、2人暮らし、担当：橘、赤西)

・12年程前交通事故で8ヶ月入院したが、その後遺症で未だに腰が不自由(時々通院している)。職はないが、移転先が決まったので何とかやっていけそう。家財道具は少ないが名谷(公営・5月転居)まで遠く、引っ越し費用が心配だ<引っ越しボランティアの資料をお渡ししたところ、喜ばれた>。(55歳男性、一人暮らし、担当：福本、小波本)

・勤めていた鉄工所の機械を譲ってもらい工場を借りて…独立準備をしていた時、地震で焼けてしまった。退職金で資金を作ったので、全てパーになった。この4年は母(82歳)の年金と今までの貯えでやってきた。公営(市街地・5月)へ移ったら、仕事の事考えるつもり。公営は初めてなので、隣になる人が気になる。(53歳、2人暮らし、担当：矢野、小林)

・住んでいた文化住宅の1階が潰れ、2～3人が死んだ。火事と渋滞の中9時間かかって舞鶴(娘が迎えに来てくれた)へ、その後近隣にいる娘の家へ行き、仮設へとなったが…仮設も2回目(依然居た仮設は去年6月に閉鎖)。公営(市街地・5月)で5回目の引っ越しとなる。心臓・肝臓・糖尿病でこの4年間に3～4回入院した。この前も病院へ行ったら「入院して下さい」と言われたが、引っ越しがあるので断った。今も息苦しく、胸に貼り薬を貼っている。(79歳、2人暮らし、担当：矢野、小林)

・夫は2年前の正月に肺炎を患い、その後体調が良くない。神戸医大に通院しているが、往診してくれるお医者さんがいれば、夫も楽なのだが…。1ヶ月程前主治医の先生にも相談してみたが…。公営(市街地)は、5月中旬にカギ渡しがある<引っ越しボランティアの資料を渡し、

詳しく説明をした〉。(72歳、2人暮らし、担当：小波本、福本)

・震災で家は全焼し、何も持たずの避難所暮らしでした。その後仮設を2回経験し…やっと落ち着けます！。公営(名谷)のカギ渡ししが5月12日にある〈と言われ、希望に満ちた表情が印象的でした〉。(79歳女性、一人暮らし、担当：泉、猪上)

5月1日

・一時立てなくなり、病院でも原因不明と言われた。友人の勧めで漢方の“靈芝”を飲んだら良くなったが、値段が高いので考えながら使用している。公営は希望の所(5月転居予定)が当たり、喜んでいきます。民謡の友達や良い人に囲まれて幸せだ。(84歳女性、一人暮らし、担当：川口、小川(智)、山本(由))

・父は月1回市街地の病院まで、定期検診(障害1級)に行っている。公営(市街地・5月転居予定)では、共益費やケーブルテレビが設置されているので、金銭負担が増える…。(72歳、2人暮らし、担当：小田、石田、大坂)

・以前住んでいた近くの公営(市街地・5月下旬転居予定)に当たり、ほっとしている。しかしカギ渡ししがまだなので、引っ越しのメドが立っていない。心臓が悪く、薬を飲んでいる。目の前にある仮設(真ん中2棟)を撤去され、玄関先に座ることもできなくなった。以前は仮設が目隠しになっていたのに、今は路上の人に丸見えになっている。(76歳女性、一人暮らし、担当：小田、東條、橘)

・公営(名谷)は、5月に転居予定。転宅にお金がかかるので、どんな制度があるか教えて欲しい。←転宅資金貸付制度・自立支援金前貸し制度(申込日が転居予定日に近いと貸して貰えない場合がある)がある。後日、ご本人の希望で転宅資金貸付制度の資料をお渡しした。(66歳、3人暮らし、担当：鈴木、辻野、縣)

・2年前に甲状腺を取り、声が出にくくなった。ここは環境も良くいい所でしたが、今は淋しい。夜なんか気持ちが悪く、音がする度に目が覚める。でもあと少しの辛抱…。公営(名谷・5月転居予定)の近くに“ゆやの里”があるので嬉しい。それに居住者が皆仮設経験者なので心強い。空き家入居の人は、前から住んでいる人となじめず大変らしい。公営に移転しても、また訪問して下さい。(74歳男性、一人暮らし、担当：福本、山松、長船)

・〈明日引っ越しとの事で、ご夫婦で片付けをしておられた。公営への訪問希望をお伺いすると…〉入居する公営(市街地)はシルバー住宅で、生活援助員(LSA)もおり大丈夫でしょう。公営に移れてほっとしていますが、駅やかかりつけの病院が遠くなり…買い物等も不便な所なので気になります。(78歳、2人暮らし、担当：泉、今市、矢萩)

・公営(市街地)へ、6月転居予定。失業中←生活保護の資料を渡した。〈この方の家の前に粗大ゴミが山のようにあった。隣に住んでいた人がリサイクル業をされており、移転する際放置していったとの事〉。(56歳男性、一人暮らし、担当：福本、山松、長船)

・周囲の仮設がどんどん取り壊されていくので不安だったが、放火や若い人達の溜まり場になるのが心配なので、かえって良かったと思う。年金10万円で生活しているので、公営(市街地・5月転居予定)の敷金10万を払い込んだところに、転居費は辛い。でも引っ越しボランティアに頼む事になり、本当に良かった。〈入居届けの書き方がよく分からないという事なので、お手伝いしたら「助かったわ」と喜んでおられた〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：泉、今市、大滝、矢萩)

・間もなく96歳になるが、1km程度のランニングをしたり、週に一度バスに乗り明石まで散歩に行く。元気だが閉塞性動脈硬化症の手術（97年）もした事があるし、無理すると腰が痛むので気を付けている。公営（名谷）へ、5月転居予定。娘達もいるので安心だが…世話にはなりたくない。（89歳男性、一人暮らし、担当：鈴木、辻野、縣）

・耳が遠い。昼間は商店やマンションがあり賑やかだが、夜は淋しい…。公営は以前住んでいた区に当選したが、工事が延び転居予定が8月になった。6月の仮設解消が不安。生活アドバイザーが来てくれるので、その人にも相談している。〈「仮設から最後の1軒が出るまで、訪問します」と伝えたら喜んで下さった〉。（80歳、一人暮らし、担当：縣、鈴木、辻野）

・先日あった公営（名谷・5月転居予定）の交流会は、雨降りの中大勢の人が来ていた。行く所が決まりやれやれだ。入居前に色々揃えなくてはならない物（電気ガサ・カーテン等）もあり分からない事が多いので、ご近所の方に付き合ってもらってます（お世話になってます）。（77歳女性、一人暮らし、担当：泉、今市、矢萩）

・名谷の公営（5月転居予定）は緑も多く、散歩するのに大変良い環境なので楽しみにしている。坂があつて大変だと思っていたが、3基のエレベーターがあり坂を登る必要もないので、体の不自由な方・お年寄りの方も心配ない。家賃を振り込む際、役所の手違いで以前聞いていた倍の金額が表示されていた。役所に直接行き問題は解決したが、このような基本的な事にミスが生じるようでは、住民が不安になる。（74歳、2人暮らし、担当：橘）

・震災の時アパートは全壊（1階に住んでいた）だったが、運良く友達の家におり無事だった。「あの時死んだ方がマシやった」と言う人もいるけど、私は生きていられ嬉しい。仮設の横にあるベンチで、子供がたむろして煙草を吸ったりしている…治安が悪い。名谷の公営へ5月転居予定。（72歳女性、一人暮らし、担当：白岩、佐沢、白倉）

・公営が決まっておらず、生きた心地がしない（ここでは私一人だけ）。市に任せておくしかないが、一時待機で何回も引っ越しするのは嫌だ、それにいつ入居出来るかはっきり分からない。今「5月一杯で出て行け」と追い立てられている。私は一体どうなるのでしょうか。←継続訪問を藤沢さんに依頼した。（66歳女性、一人暮らし、担当：山根、福本、長船）

5月8日

・入居に際して兵庫県内に保証人がいない。県外なら弟が居りますが…。（70歳、一人暮らし、本人自筆）

保証人の範囲が狭すぎるし、収入証明を出させるなんて…プライバシーの事もあり、誰もなり手がいないと思う。私は年金で家賃が払えるから、大丈夫でしょう。公営（名谷）へ5月中旬移転予定だが、鉄筋の5階なんて嫌や。ここだったら散歩もできるし、ずっと居りたかった…。（担当：大西、長船）

・ここにいたら退屈しない。今日も裏山でタケノコ掘ってたけど、腰が痛くなり帰ってきた。先日もセンブリを取りに行ってきた〈冷たいセンブリ茶を頂く〉。以前住んでいた土地に息子が家を再建し「来い」と言ってくれるが、気を使うので公営（市街地・5月中旬転居）に入る。（64歳女性、一人暮らし、担当：平田、小林）

・5月1日に公営（市街地）へ転居した。今日は後片付けに来ている。畑のタマネギも収穫せなあかんし…。公営は全体の半分程しか入居しておらず、この1週間で会ったのは1人か2人や。戸を閉めたら外の事はわからへん。でもシルバーハウスなのでベルを押したら、L S A（生

活援助員)が来てくれる事になっている。最寄り駅はホーム幅が狭く、特急が通過する時巻き込まれそうになるので、階段に逃げ込む。(65歳、2人暮らし、担当：平田、小林)

・肝臓など何ヶ所か悪く、病院を2～3軒掛け持ちしている(去年も肝臓で2ヶ月程入院した)。公営(市街地・市民病院のそば)へ6月転居予定だが、正確な入居日が決まっていない。5月中には仮設からほとんどの人が出ていくので寂しくなる…。(72歳、2人暮らし、担当：清重、橘)

・灘区の公営に転居予定だが、工事中に古墳が出た為入居日が決まらない。8～9月に入居できるらしいが、市から「一時待機」の場所を決めるよう言われている。家の前で花や野菜をたくさん作っているが転居時に全部を持って行けないので、希望者があればお分けしたい…。(65歳女性、一人暮らし、担当：赤西、今市)

・入口や裏でゴソゴソ物音がし…夜が怖い。洗濯物が盗まれた事もあり、警察に通報したが…「何かあったら連絡下さい」と言うだけ。何かあってからでは遅い!。西神南の高層住宅で盗難が相次いだ為警備がそちらに集中し、仮設の方はおろそかになっている…。公営(市街地・築20年)へ5月中旬転居予定です。(61歳女性、一人暮らし、担当：赤西、今市)

・〈耳がかなり遠い方です〉。生まれつき片足が不自由な為と腰を痛め、通院している(一人では外出できない)。4人の子供は本当によく面倒をしてくれます。夫は生まれつき全盲で、震災の時も人一倍怖かったに違いない。そして震災の疲れがあったのか…仮設へ来た4月に急性肺炎で亡くなった。公営(名谷)へ5月中旬、娘と転居予定。(80歳、2人暮らし、担当：脇山、矢野、亀井)

・公営(名谷)へ5月17日に引っ越すので、一人で荷造りに奮闘し少々大変。いつもなら週ボラの予告チラシが入ると、果物や菓子を用意し2時間くらいお話しするが、今回は慌ただしくて…すっかり忘れた。仮設に来た頃は腰骨を圧迫骨折し大変だったが、環境が良いので歩くようになり丈夫になった。この環境を気に入っているのに、西神南へ当選できなかった。公営住宅に移っても、訪問して頂けると嬉しい。〈住所をお聞きする〉。(72歳女性、一人暮らし、担当：脇山、鹿島、亀井)

・西神南の公営へ住みたい状況(老後の看護を考え娘の近くに…)を役所から『固執』ととられ、「空き家はありません」と言われていた。向こうに住んでいる人が一軒一軒調べたら、40軒も空き家があり、その事を伝えると「カギがかかったままで…」という返事。そして名谷の公営を「最高の所です」と斡旋してきた。でもある日突然…「西神南に決定しました」との連絡があり、夢でも見ているのかと思った。ただ書類関係がややこしい。息子は仮設に来た当初同居していたが、今は県外で商売を始めた為世帯も分離している。だが罹災証明の世帯主なので、公営住宅の入居権利放棄などの書類を書いてもらい、今は市からの返事を待っている。そんな事教えてくれないから、なぜ今まで自分だけ高齢者であるにも関わらず当たらないのか不思議でならなかった。(85歳女性、一人暮らし、担当：脇山、矢野、亀井)

・市街地の内科・皮膚科に通院している。若い時に結核にかかりそれが原因で腰痛がひどく、夏でもコルセットをつけている。かかりつけの医者から「緊急の時は近くの病院を利用するように」と勧められているが、新しい所は行きにくい。公営(名谷)へご近所の方2軒と5月中旬転居予定だが、公営に入居した人の話だと「棟が違くと付き合いも少なくなる」との事だ。(66歳女性、一人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・公営(市街地)の入居予定が8月になった。1ヶ月延びるとガッカリする。ここの生活は良

かったけど、人が減るにつれ寂しくなった。端から見たら気楽に見えるやろうけど、仮設住民にしたら大変です（生活が大変なのは、皆一緒ですけど…）。（66歳女性、一人暮らし、担当：平田、小林）

・この前、入居が8月になるという通知が来た。詳しい事は6月に葉書が来るらしい。友達が「早よ帰って来い」言うてくれるが、どうなるんやろう。ここはあと2軒だけになるので心細い。私は耳が遠いし…足が悪いので、人と出歩くのが苦手。夫は病気で寝ている（毎週市街地の病院まで通院）。（82歳、2人暮らし、担当：平田、小林）

・公営へ入ったら、体悪うするてよう聞いわ。何とも言えん孤独感なんやて…。またハウスシックで目がチクチクし・吐き気がする・食欲がなくなり、8割位の人が体調崩すらしい。今は窓が開けられる気候になってきたから、まだいいらしいが…。〈「転居しても来て下さい」と電話番号をお聞きする〉。（66歳男性、一人暮らし、担当：平田、小林）

・被災後喘息発作になり、避難所から救急車で運ばれた。その後須磨荘（国民宿舎）へ行き、食べ放題だった事で助かった。公営（名谷・5月下旬）でも、この方がたくさん入居しているので積極的に話をしたい。〈「最近話し相手がいなくなった」と私達の訪問を喜び、震災の話など色々話された〉。（76歳男性、一人暮らし、担当：杉谷、辻野）

・身体の調子が悪い。転居はまた一から始めなければならないので金もかかる。カギ渡しは済んでいるが、転宅貸付が下りてから引っ越すつもり。年金20年掛けても、ギリギリ食うだけ。〈生活保護のチラシをお渡しする〉。一度連絡してみるわ…生活保護受けた方がいいかも知れんな。一人で悩んでても仕方ない。こうやってまだ来てくれて有難う。（70代男性、一人暮らし、担当：大西、長船）

5月15日

・震災時腰を強打し、レントゲンで見たら骨がボロボロ。死ぬまで痛いと言いつけるのやろな。1年前に転居したがバスは1時間に2～3本あり、スーパーも向かいにある。年とったら便利なのが一番。食事会や催し物がある時は集会場へ顔を出すけれど、それ以外はこの仮設へ遊びに来る。（76歳女性、一人暮らし、担当：芦高（母）、土屋、小林）

・公営（名谷）へもうすぐ転居する。パンフレットを見ると平らに見えるけど、実際は7棟の10階が他の棟の1階になっている。山の斜面に建てられてるから…。避難所で一緒に苦労した茶飲み友達が2～3人おり、電話で話すだけでも何や気が軽くなる。（75歳男性、一人暮らし、担当：土屋、芦高（母）、小林）

・身寄りはいない。肝臓・心臓・糖尿と病気のデパートみたいなもんだ。医者から酒を止めるよう言われたが、我慢する位なら飲んで死ぬ方がいい。（52歳男性、一人暮らし、担当：芦高（母）、土屋、小林）

・市街地の公営へ転居予定。仮設にただで住まわしてもらったが、1ヶ月の交通費が「家賃くらいの金額」になり、決して楽やなかった。日本海のナホトカ号重油流出事故の時は、現場でボランティアの指揮をしていた。自分も余裕があれば、もっとボランティアをしてみたいが…。（57歳、2人暮らし、担当：岩尾、芦高（娘）、赤西）

・ここは空気がきれいなので、生活していても苦にならなかった。転宅貸付を皆さんどうやって借りているのかな？〈転宅貸付の資料を渡し、申し込みの手続きは必ず引っ越される前にと伝える〉。3月末で期限切れになったと…諦めていた。隣の人にも早速伝えないと。でも公営

(名谷)への転居は20日…もう手遅れや。役所は何も教えてくれない。後になるほど不親切や。6月まで居てもよいと言うが、仮設の取り壊しで…追い立てられているように感じる。(62歳、2人暮らし、担当：矢野、福井、長船)

・公営(名谷)への転居予定が、離婚の為取り消しとなる。職場が市街地なので、公営もそちらを再希望したが、なかなか当たらない(空き家募集は単身者でも3DKを申し込める)。糖尿病の為、体重が20kg減った。(56歳男性、一人暮らし、担当：今市、脇山、辻野)

・勤務時間が不規則で、通勤が難しく体力的にきつくなっていた為、1年前にホテルの仕事を辞職した。公営(名谷)で一段落ついたら、仕事を探す予定。仮設での生活は確かに辛い事もあったが、いい友達(財産)とも巡り会えた。しかし、この4年間の生活で、市や行政の冷たさも感じた。余りにも事務的で…事が起こってから行動する。このような思い・状況を新聞記者などに伝えていく力・存在としてボランティアに期待したい。(49歳女性、一人暮らし、担当：福本、貝沼、橘)

・今日、引っ越し準備が終わった。入居人数が減ってから、毎晩怖く…少しの物音でビクビクしていた。それもこれで解放される。公営(名谷)にも訪問して欲しい。やはり人と話をするのとストレス解消にもなり、気分がスッキリする。住所と電話番号をお聞きした。(67歳女性、一人暮らし、担当：岩尾、芦高(娘)、赤西)

・耳が遠く、足が悪いので歩くのが辛い(買い物は知人が車で連れて行ってくれる)。物騒なので早く公営(名谷)へ移転したいが、カーテン等の生活道具の用意ができていない。収入は年金だけで、転居費用や家賃を考えると不安。また移転後、知人の車を止める場所がなく…困っている。〈転居後経済的に困られた場合、区役所や民生委員に相談する事を勧めた。駐車場については、移転後公営の管理者等と相談するよう勧める〉。(62歳女性、一人暮らし、担当：仁井田、矢萩)

・住民が減り不用心なので、昼間(夫や息子がいない)でもカギを掛けているが、公営入居まで後1ヶ月ぐらいはかかるだろう。収入の関係で市営が当たらず県営になったが、今後の家賃の事を考えると心配。公営では、うまく人の交流が出来ず…仮設の方が良かったという方もいる。一人暮らしの方は本当に寂しいだろうと思う。(49歳、3人暮らし、担当：福本、貝沼、橘)

・夫は喘息の発作があり、半年に一度程入院する。公営(名谷)への転居が決まっていたが、家賃75,000円のはずが、夫と息子の収入が多く…家賃90,000円となる。公営を断ると「自力で探してくれ」と言われた。今、文化住宅の空き家を探している(何とか目途がつきそう)。解体工事が目の前で始まっており、辛い。(58歳、3人暮らし、担当：今市、脇山、辻野)

・糖尿病・肺結核で右肺を切除している。仕事が出来ず療養中。今年2月に公営(市街地)へ入居出来るはずだったが、何の連絡もなく…問い合わせると6月予定に変更されていた。しかも書類を持っていくと、退職証明書が不備のうえ、「保証人がいないと入居出来ない」と言われた。今頃になって色々言うなんて。(58歳、一人暮らし、担当：井上、小川、白岩)

・震災後、2人とも体調が良くない。私は腎不全で尿が出にくく、下腹が張る。肥えているので、表面は元気そうに見られるが…。やっと転居出来ます。仮設に来て4年…もう懲りました。公営(名谷)は同じような建物・部屋が並んでいるので、間違えんようにしないと。息子からは「キョロキョロしてたらあかんで、変なバアさんがうろついていると思われるから」と言わ

れています。(78歳、2人暮らし、担当：仁井田、縣、矢萩)

・〈妻〉仮設の方が便利で、公営に移るのが不安(買い物・散歩が出来る所がなくなる)。脳梗塞で足が不自由な上に、去年は肺炎で4ヶ月入院していた。なのに19階になり辛い。障害者の事を考慮して欲しい〈と涙を浮かべられる〉。健康状態は今のところ安定しているが、いつ死んでもいいと思う事もあり…気が滅入りがちだ。(55歳、2人暮らし、担当：福本、橘、大坂)

5月22日

・公営(市街地・6月中旬)は以前住んでいた地区へ転居予定。体調を崩し、現在も通院中。息子(独身・無職)の扶養家族になっているので、生活資金が少なく、これからの事を考えるととても不安です。〈生活保護の資料を渡すと…とても安心され、「第三者の他人だから、いろんな事も話が出る」と言われた〉。(63歳女性、一人暮らし、担当：清重、藤枝)

・引っ越しの準備中。「自分は行き先(市街地の公営)も決まり、問題はないのでボランティアさんも安心して…有り難う」と言われた。1月下旬にお伺いした時と違い、今日は明るいお顔を拝見でき嬉しく…週ボラをしていて良かったと思う。(65歳女性、一人暮らし、担当：小波本、猪上)

・脳梗塞の為、通院中。公営は元いた場所に戻れる訳だが、いろんな人が入居するので、人間関係を一からやり直しや。仮設での人間関係(微妙なバランス)はやはり難しく、神経を使った。また畳に段差が生じたり、油虫に悩まされたりと色々あったが、草むしり・ゴミ捨て場の整理等で辛さを紛らわせた。(61歳、2人暮らし、担当：長船、橘)

・県営(市街地)へ6月転居予定。今は仮設に住み着いた猫の事が心配。住民が餌をやっていたので居着いてしまい、子供も増えた。みんな引き取るならいいけど…。(30代女性、一人暮らし、担当：前門、矢萩)

・夫は左半身の自由が利かない。公営は通院を考慮し、駅の近くを希望するが当たらない。5月募集に申し込みをしている。また市も「なるべく希望に近い所を探します」と言って、空き家を探してくれているので安心している。〈と笑顔で話され、「遠くから来て下さってありがとう」と言われた〉。(60代、2人暮らし、担当：前門、矢萩)

・以前住んでいた所は区画整理の対象となり、土地を売るよう勧められたがローンも残っているので拒否した。公営は住んでいた地区にこだわっていたが、5月募集は須磨の県住に申し込んだ。夫は会社が2ヶ月前に倒産し失業中。月曜日に職安へ行く予定だが、不況だし見つけるのは難しそう(今同じく失業した友人と相談している)。仮設も人が少なくなり、知らない人や車が出入りするようになり不用心。近くの住宅から離れており、何かあっても聞こえないので、子供を置いて外出も出来ない。早く移りたい…住む所が落ち着けば、仕事を探す励みにもなる。(40代、4人暮らし、担当：前門、矢萩)

・糖尿病の為、血糖値が高く通院中。今月中に公営(名谷)へ転居します。本当に良い所と聞いているので、入居出来る事を嬉しく思う。母親(今は従兄弟の家にいる)と住む事になっており、仲良く暮らしていきたいと思う。(41歳男性、一人暮らし、担当：久田、小田、縣)

・以前住んでいた地区の公営のみ応募している為、落選続行中。仕事は今も続けて行っています。(56歳男性、一人暮らし、担当：久田、小田、縣)

・〈「人と話すのが好き」と言われ、室内は手作りの人形・折り鶴等を飾っておられた。2月

上旬訪問時も、年金の件で問い合わせがあり、説明をした。今回訪問するとご本人はすでに亡くなられており、ご家族からお話を伺う。糖尿病を患っていたが、先日会った時は元気そうだった。12日に公営（名谷）へ入居が決まっており、引っ越しボランティアにも本人が頼んだばかりで、とても楽しみにしていた。色々なボランティアが来てくれたのですが、亡くなる前日も「ボランティアが来るからええで」と言われ…。亡くなって3日間も気付かなかったのは、家族として…すごくショックで、こんな事初めて話すけれどボランティアが家族のやるべき事まで失ってしまうのは、どうかと思った。（故人77歳女性、一人暮らし、担当：小波本、猪上）

・娘2人と暮らしている。公営（市街地）に当選したが、当初の家賃8万余りが、いつの間にか13万に…娘の収入が多かった。6月末まで部屋を保留し、現在他の公営にも応募している。解体工事が音がうるさくほこりもすごいので、窓も開けられない。野良犬・野良猫が多くなったので、市が保護箱を置いた。（78歳、3人暮らし、担当：矢野、辻野）

・今年父が亡くなる。去年12月に公営（民間借り上げ住宅）へ当選したが、家主から何の連絡もなく、どこにも言う所がない。2月にはカギがもらえると思っていた。いずれ鉄工場の2階と一緒に住むつもりだが、まだ水道・電気などを引いていない…。毎日母に電話しており、姉も来ている〈息子さんが話して下さった〉。（86歳女性、一人暮らし、担当：藤沢）

・私は耳が遠く…足が悪い。夫は病気で寝ている（毎週市街地の病院まで通院）。入居が8月に変更という通知が来たが、とりあえずそれまで住む為のアパートの手続きをしてきた。残ってるもう1軒と親戚同士で、アパートも公営も一緒に行く事になっており心強い。〈引っ越しが2回あるので、引っ越しボランティアの資料を渡した〉。（82歳、2人暮らし、担当：藤沢）

5月29日

・2月に換地が正式に決まったが、前の道路は7m→18mに拡がる事になり、家の土地をかなり削られる。年内に自宅再建を目指しているが、まだ見通しは立たない。猫を13匹、この前から捨て犬を1匹飼っているの、公営には入れない。仮設にいつまで居れるか分からないが、そのうち行政が言ってくるだろう。（66歳女性、一人暮らし、担当：福井、矢野、辻野）

・転居した方が、後で取りに来るよう置いといた台車（運搬用）を盗まれた。また「住人が住んでいます」と貼り紙をしているのに、草木を勝手に取っていく者が来るようになり気味が悪い。転居予定が8月に延びたが、「それまでここに住んで良い」と言われ、ホッとしている。もう一人同じ所へ入居される方がここにいるので、心強い。生活に余裕が無くなった今では、デパート等に通うこともない。（78歳女性、一人暮らし、担当：小田、泉、脇山）

・〈息子〉母は、公営へ3月に転居予定だったが、中止となった。自分は結婚する予定がありその頃家を出たが、入居者2名扱いとなっていた為だ。巡回に来た役所の人へ伝えていたのに…。自分も役所に勤めているが、その時に「書類を出して下さい」とアドバイスをくれなかったのが腹立たしい。しかし母もようやく公営（市街地）へ入居出来そう。母は元気だが年なので、週末にはいつも仮設に戻って様子を見ている。（64歳女性、一人暮らし、担当：福井、辻野）

・公営はまだ入居予定が決まらない。近くの人から、「仮設から早く出て欲しい」と言われており、悩んでいる。夜も眠れない。夫も亡くなり淋しい。このまま最後の一人になってしまう

ようで心苦しい。〈娘〉空き家募集の公営へ8～9月頃転居予定だが、仮設退居が迫っているので、家族で何とかします。〈歌が好きだとお聞きしたので歌集をお渡ししたところ、大変喜んでおられた〉。(86歳女性、一人暮らし、担当：仁井田、柴原、小波本、橘、中野)

・公営(市街地)へ7月転居予定。もう少し早く転居出来るはずだったが、工事が遅れているようだ。市からふれあいセンターへ金が出なくなってから、催し物もなくなり誰とも顔を合わせる事がない。まだ仮設に残っている人もいるのだから、市も考えて…茶話会などの催し物をして欲しい。(64歳、2人暮らし、担当：中野、橘)

・今まで医者(市街地)へ通うのに遠くて大変だった。1日仕事で帰ってくると疲れてしまい、何しに行ったか分からん。また仮設の砂利道で歩くのも疲れ、腰が悪くなった。でも明日公営(名谷)へ引っ越します。頑張ったおかげで新築に入らしてもらえた。やっと人間らしい生活をさせてもらえます。(80歳女性、一人暮らし、担当：小波本、仁井田、柴原)

・4月15日に裏の物干し場で転び、頭を6針縫うケガをした。これまでに3回転んでいるが、頭を切ったのはこれが初めて。白内障で目がよく見えない。息子は朝6時に家を出て、晩遅くまで働いてクタクタや。それでも経済的にはしんどい。公営は5月末に市から連絡があると聞いているが、まだ何の連絡もない。息子は帰ってくる度に「まだ連絡ないか?」と聞く…。うちだけ決まってないから、夢も希望もないわくと何度も言われていた。公営は連絡がなければ問い合わせようお勧めしたが、念の為市住宅募集係(392-2381)のメモをお渡しした。(77歳、2人暮らし、担当：亀井、矢萩)

・5月の住宅募集で市街地の3LDKを申し込んだが、住宅区分が4人以上の世帯という事ですぐに書類が戻ってきた。その後市からは、何の音沙汰もない。たぶん住宅が決まる6月下旬以降には、何か連絡があると思うが…。夫の勤務先が以前住んでいた地区なので、どうしてもそこにと思い…申し込むが当たらない。住宅が決まらないのは、気分的に落ち着かない。年金もないので、死ぬまで働かないと。(62歳、2人暮らし、担当：亀井、矢萩)

・耳が遠い。買い物は自分でされてるとの事だが、会話を成立させる事が難しく痴呆のように見受けられた。転居の予定について問いかけても、電気代納入の事を話されたり、自分の若い頃の話や近所の人に何度か家に入られた等と言われていた。部屋の中も汚れている。震災前に住んでいた場所の区役所から人が来られているらしい。老人ホームなんて入る所ではないと言っていたので、勧められているのかも知れない。継続的な行政の援助が必要と感じる。〈西区あんしんすこやか係に連絡し、訪問して確認してもらった〉。(88歳女性、一人暮らし、担当：中野、橘)

・公営(市街地)へ6月1日に引っ越す。ここは夜が怖いので隣の方(名谷の公営)と一緒に仮設を出ることにした。夫が病気で荷造りも無理出来ないが、ぼちぼちしている。(72歳、2人暮らし、担当：中野、橘)

・最果てのこの地へは、無料パスを持っている友達さえ訪問を嫌がる位だ。ただでさえ高い地下鉄運賃を8月に値上げするというが、その一方で神戸空港を作ろうとするのはおかしい。ここは今では50歳代以下の者が多く、日中働いているので留守が多い。その為ボランティアの訪問を受けた事は全くなく、相談会等の支援情報も入らない。以前住んでいた地区を希望し続けており、公営は未定。市から住宅を一緒に探していくという話があったが、その後音沙汰がない。(60代、一人暮らし、担当：中澤、芦高(娘)、白岩、脇山)

6月5日

・板宿のゴム工場へバイトに行っているが、不況で仕事がない。公営の入居が9月へと延期になったが、市から斡旋（一時入居）された部屋は余りにお粗末で…自分で入居するアパートを見つけた。ただ入口にある郵便受けが壊れており、公営入居の通知が手元に無事届くか不安。家主に修理をお願いしたが断られた。〈市役所に、郵便物の受け渡し方法を相談するよう勧めた〉。（66歳女性、一人暮らし、担当：川口、辻野）

・一時入居のアパートを借りる事になったが、古い為エレベーターがなく、3階への昇り降りが辛い。年も年だし、足が痛い。夫も病気で横になってる事が多いので、毎週の通院が大変になる。9月公営へ入居予定。（82歳、2人暮らし、担当：川口、辻野）

・来年公営へ入居予定の為、とりあえず一時入居する事となった。役所はいつもたらい回しにする。結局フェニックスプラザへ行き、自分で探した。〈引っ越しボランティアの資料をお渡しする〉。（58歳男性、一人暮らし、担当：川口、辻野）

・わし以外、この辺にだれもおらんようになった。2年前に会社を辞めてからは、生活保護を受けている。糖尿病。腎臓・膵臓も悪い為通院中。早く公営に移りたいが、家賃（27,800円）が払えるだろうか？。もし訪問してくれるなら、土産持ってきてな〜〈と笑って転居先を教えて下さった〉。（58歳男性、一人暮らし、担当：近藤、白倉）

・人がほとんどいないので、淋しい時は妹の所に泊まりに行く。とりあえず住み慣れた所へ戻れるので良かった。公営（市街地）へ4月転居予定だったが、6月に延びた。とにかく出たい。70代女性、一人暮らし、担当：芦高（母）、長船）

・いつ公営へ転居出来るんや？。市から何も知らせてくれへん…。字読まれへんし…。一人で淋しいわー。〈市営住宅募集係へ電話で確認したところ、本人が来て入金も済んでおり、カギを渡してあるのでいつでも入居出来るとの事。西区あんしんすこやか係へ確認すると、移転先の保健所で福祉サービス等の調整が必要な為、時間がかかっているとの返事でした。本人の不安な様子を伝え、ケースワーカーから転居時期を伝える旨依頼をした〉。（75歳女性、一人暮らし、担当：芦高、矢萩、長船）

6月12日

・最近ようやく公営に当選した。以前住んでいた地区ではないが、市街地だ（9月入居予定）。弟は原因が分からない病気で通院しており、現在2人とも仕事をしていない。転居後、仕事を探すつもり。経済的にしんどいが、何とかやっています。（40代、2人暮らし、担当：武内、藤井、矢萩）

・息子は26年間勤めた会社を病気で退職してから4～5年経つがいまだ職がない。私の年金と夫の遺族年金、計12万円/月で暮らしているので、今は死なれへんし、体のあちこちが悪くても医者へ行けない。それでも年金の請求が来るので、3ヶ月分（7,000円）を先日持っていった。仮設へ来ても家を再建するつもりで地代（6,800円/月）を払い続けてきたが、先月で諦めた。当選した公営（市街地）へ息子が荷物をボチボチ運んでいるが、これから毎月12,000円払うのは大変だ。息子も年やから働くところない。でも福祉の世話になりたくない。〈被災者連絡会へ後日訪問してもらいたいと依頼済み〉。昨日、前に止めていたバイクを盗られた。長いこと生きてるもんやない。（88歳、2人暮らし、担当：小野、木村、小林（弘））

・糖尿病と白内障で通院中。1日に缶ビール（500ml）2本・焼酎1合を飲むが、時間をかけているし…医者も承知しているから。ただ遠出をすると、疲れやすくなってきた。県住（市街地）は1DK8,000円。市から一時待機を勧められたが断った。この年で不動産屋を回っても、数ヶ月住む所など見つかる訳がない。結局公営入居（8月）まで居てもいい事になった。〈仮設の周囲に野菜や草花を植えておられた〉。最近人は住んでいないと思って、バラやアジサイを持っていく人がいる。まあ花泥棒には、それほど罪はないと思っているけど…。

（71歳男性、一人暮らし、担当：武内、藤井、矢萩）

・公営住宅申し込み中。今年初め頃までは、辺鄙な所や狭い所へ行けと言われてたり、7人家族なのに3Kにとりあえず入らないと市住に当選させないとまで言われた。何回も落選し、今回に賭けてる。人がいなくて怖い。またふれセンがなくなってから広報が入らず、いろいろな情報がわからない。夫は肝臓が悪く仕事が出来ないので、実家へバイトに行っている。でも実家も赤字で大変。去年生活保護の申請に行ったが無理と断られた。役所は、3ヶ月の赤ちゃんがいる私に働けと言う…。学校行っている子が4人いるので、給食費だけでも大変。子供の就学援助は申請を出した。中学の制服も先生の厚意で借りている。夫は入院しなければならないのに、「こんなんでは入院出来ない」と困っている。（35歳、7人暮らし、担当：芦高（娘）、加藤、長船）

・ここも私一人だけになってしまった。「仮設は6月まで」と市から言われたが、公営（市街地）は8月入居で、引っ越しの準備も一人では大変だから居させてくれと頼んだ。〈荷物の整理をされており、ゴミを家の中に置かれているので聞いてみると〉この辺も不用心になってきた。ゴミを外に放っておいたら、いつ火をつけられるか分からない。心配で家の中に入れていく。（80歳女性、一人暮らし、担当：辻野、芦高（母）、猪上）

・公営へ毎回申し込んでいるのに当たらない。病院通いをしているのに、市の勧める所は…。病院から遠かったり、坂があつたりする。ここも私一人になってしまった。（58歳女性、一人暮らし、担当：芦高（母）、辻野、猪上）

・福祉の人がよう来てくれる。でも、今まで親切にしてくれた裏の人が今日引っ越して行き、涙が出た。私の引っ越しは6月21日らしいが、もっと早くなるよう福祉の人に頼んでみよう。戸がガタガタ鳴ると怖い。一人になるとは知らなんだ。〈軽度の痴呆あり。あんしんすこやか係へ確認する。ご本人が転居後の不安を抱えている事と、移転先で安心できるサービスを受けられる為に時間が掛かっている事を聞く。今後の訪問では不安を和らげる会話を心掛けていく予定〉。（74歳女性、一人暮らし、担当：小野、木村、小林（弘）、若菜）

・震災で家屋の下敷きになったので、天気が悪いと体がしびれる。息子（当時19歳）を亡くした。公営は9月入居予定。〈花を育てられており、前向きに生きようとされていた〉。（65歳女性、一人暮らし、担当：久田、杉本、都築、矢野（佐））

・娘のいる西神南の公営に決まり、喜んでいる。娘も毎週来てくれるので淋しくない。もう少しだから待ちます。ボランティアも愛知県から来てくれ、有り難う。（85歳女性、一人暮らし、担当：桐生、塩谷、小波本）

・市街地の公団を申し込んでいるが、まだ結果が出ていない。収入と年齢の制限に引っかかり、市住には入れない。公団の、家賃が高いのが悩み。中央区の病院へ会社帰りに通っている。（?歳男性、一人暮らし、担当：小林（伸）、矢野（信）、原田）

・糖尿病。公営は未定。靴の縫製（自営）をしている。去年の収入が80万程で、今も月々7

万程度しか仕事がないのに国保を月に15,000円払っている。医者へは月2回しか行かないのに…その上診察代や薬代を取られる。役所前で腹でも切るわ！〈被災者連絡会へ後日訪問してもらいたいと依頼済〉。ここに猫が20匹はおる。仮設なくなったら痩せて死ぬだけやわ…かわいそうに。(56歳男性、一人暮らし、担当：芦高(娘)、加藤、長船)

・明日、市街地の公営へ転居。5月に引っ越し出来たのだが、お金がなくて…結局借金した。転宅貸付は締切に間に合わず、借りられなかった。夫の給料は遅配になっており、金額もまともにももらえていない。家賃を払っていけるか不安だ。自立支援金は、結局いくらもらえるのだろうか(所得がほとんどない状態で)?。上の子は働きながら定時制高校に通っている。学費は安いけど、でも奨学金を考えたい。子供の収入は多くないし、私達も学校の為に回せる金がない。下の中学生は就学援助を受けている。私は甲状腺が悪く、国保の減免を受けていても今は滞納中で、病院にも行けない。〈被災者連絡会へ後日訪問してもらいたいと依頼済〉(44歳、4人暮らし、担当：芦高(娘)、加藤、長船)

6月19日

・息子は仮設に入居後体調を崩し、心不全で亡くなった。もうすぐ、一周忌を迎える。ここはとても不用心になった。深夜になると不審な車が入ってくるし、この前は洗濯機を持っていかれた。防犯の為に、下の敷地だけでなく上の敷地にも車が入って来れないようにして欲しい。それに仮設を撤去すると、住んでいる所が分かり危ない。回りに民家がなく、助けを呼ぶ事も出来ない。公営は申し込みの結果待ちだ。(52歳、3人暮らし、担当：赤西、矢野)

・夫は脳梗塞で左半身が不自由。夫の事もあり、交通の便の良い所を希望しているがなかなか…。市から「何とかする」と言われているので、お任せしている。でもここに住むのも、寂しさを乗り越えて怖い…。(60歳、2人暮らし、担当：北川、白倉)

・妥協し、応募した公営に当選した。やっと出れると思うと本当に嬉しい。ただ…最後までずっと支え合ってきた方達が、入居が決まらず心配だ。早く決まるといいけど…。7~8月くらいには、たぶん引っ越し事になりそう。また遊びに来て。(40代、4人暮らし、担当：北川、白倉)

・何やかやといろいろ来るけど、よく分からない。もと住んでいた所に住民票があるので、そこへ戻るつもりだが…。耳は遠くなるし、医者は遠いし…。年いったら大変。自分ながらおかしくなる…。足は丈夫なので、昼は買い物が出てよく出掛ける。2~3日前昼頃だったが、ガラスが割られガムテープで補強した。警察が『何かあったら知らせてくれ』と言うが。不安だ…はよ出たい。〈生活上の不安から心が疲れているようだ〉。(88歳女性、一人暮らし、担当：小野、長船)

・すでに移転されていたが、裏のサッシ窓にカギがかかっていなかった。不審者が部屋に出入りすると困るので、竹や小石をストッパーにしてサッシが開かないようにし、外から見えないよう網戸をかぶせてきた。〈仮設の管理担当者に連絡をし、戸締まりをお願いした〉。(担当：林(勝)、小田、矢萩)

6月26日

[復興住宅]

・耳が遠く、近寄って大声で話さないと意志の疎通がしにくい。足が悪く、トイレなどは這っ

ていく。しかし近所の方達2～3人がいつも車椅子で外に連れ出してくれるし、デイサービス（火曜日）にも行っている。〈初めは警戒されていたが、部屋に上げて下さった。グッドライフ（訪問美容室）のチラシをお渡しした〉。（87歳女性、一人暮らし、担当：川口、福井）

・息子夫婦が夜9時頃まで仕事に行ってるので、昼はずっと一人。前の公園で子供達がサッカー等をしており、それを見ていると気が休まる…。足が悪く市街地の病院へ通院しているが、タクシーを利用するので、お金がかかり負担になっている。90歳の私がいるので、この市営へ当たったのでは…と思うが、私としては不便で暮らしにくい（但し息子夫婦は喜んでいる）。

（90歳、3人暮らし、担当：川口、福井）

・震災で肩・背中・足を負傷、頭も8針縫うケガをした。今も膝は完全に曲がらない。ここでは集会場行事に参加する事もなく…近所の人と会えば立ち話くらいするが、部屋を行き来するような付き合いはない。お隣は数週間前に人がバタバタ出入りしていたが、まさか救急車で運ばれ入院していたとは気付かなかった。非常ボタンがトイレ・風呂・台所にあり、昼はLSA（生活援助員・3名）、夜間・休日は西神医療センターにつながる。また部屋の中にはセンサーがあり、12時間人の動きを感知しないと、異状を知らせる仕組みになっている。ここはいい所やで。買い物は近いし、ドアを開けると目の前には広々とした芝生の公園があって、日曜になると家族連れで賑わう。もう被災地へは帰りたくない。娘夫婦も西区にいたので、よく来てくれる。（71歳男性、一人暮らし、担当：近藤、矢萩）

・仮設と公営では気分的に違うけど、以前より不便です。スーパーがもう1軒あれば…。それに近所付き合いがあれへん。防音設備があるようだけど、やっぱり人の歩く音や人の声が聞こえる。防音が完全だと思っていたので、余計敏感になり、気を使ってしまう。（?歳女性、一人暮らし、担当：川口、福井）

・4日前に近所の方（一人暮らし）が、亡くなられた。仮設もそうやけど、孤独死は復興住宅にも多い。酒で淋しさを紛らわしたり…。ここは6割くらいが高齢者や。設備はええけど、倒れた所によっては…もうあかんやろ。それに外へ出んから、人と会わんし…なじみにくいんやろ。まだ自治会も出来てない（去年11月入居）。でもここは結構空き部屋があるし便利がええから、仮設の追い出しにあってる人に言うたって…。妻は脳梗塞で通院中。ほんまは、この近所にローソンがあつたらもっと便利ええねん。夜中の買い物が困るから。（60代、2人暮らし、担当：今市、長船）

・お陰様で元気しております。ここは住み心地が良いので気に入っています。もう被災地へ戻りたいとは思わない。公営に入ってから、淋しいという人（特に男性）がいるが、要は気の持ちようだと思う。同じ仮設から来た人が近くの棟に住んでいるので、よく会っている。（83歳女性、一人暮らし、担当：芦高、赤西）

7月3日

・名刺もらえますか？。毛布や羽布団等、見本と違うもん売りつけに来る人がいるので、市からもらうように言われてるんです。〈レクチャー資料の1頁目を渡す。初めは警戒されていたが、週ボラの事を説明すると中に招き入れて下さいました。〉借地の家は全壊。再建したいけど…2,000万かかる事と地代が3倍になったので、諦めた。妻は入居直後に亡くなりました。疲れたんやろな…。引っ越してから亡くなる人、多いで。私も週2回通院している。でも生活はもう慣れた。週2回食事会があり、友達もできました。（74歳男性、一人暮らし、担

当：小林、福井)

・血圧が時折高くなるけど特に悪い所はなく、近くに希望クリニックもあるので便利。私が具合悪くなった時、息子達が来てくれても寝る所がない。2間を申し込めばよかった…。ここは仮設の事を思えば気楽だけど、今は仮設も懐かしい。いろんな人が物売りに来るので…レンジフードのカバー(フィルター30枚付)を13,000円、食器棚を16,000円で買った。造り付けの食器棚は高すぎて手が届かないので…。〈物事をプラス思考に考えておられ、とてもお元気でした〉。(89歳女性、一人暮らし、担当：小林、福井)

・〈娘さんより〉自治会がないから、行事・催しもなく寂しい。それに情報も入ってこない。せつかく立派な集会場もあるのに、何が行われているのか分からない。ふれあい喫茶・手芸教室・カラオケとかやって欲しい。盆踊りもして欲しい。(70代、2人暮らし、担当：福本、赤西)

・ここに来てから、なぜかひどい“喘息”になった。ここにおつたら誰も訪ねてこんし、隣近所とも話しがしにくい。ホンマに『鉄格子』の中における様や。通院の為被災地に行くが、その市場で買い物するのが楽しみ。それに『100円均一の店』も多いから便利。この辺は物価が高い。(70歳男性、一人暮らし、担当：福本、赤西)

・抗生物質の投与で目が見えにくくなっており、月1~2回は目の検査を受けている。入居した時は寒い時期で住人も余り外に出なかったが、掃除当番やラジオ体操での際話すようになり、段々分かってきた。集会場で火・金に食事会(1回400円)があり、時間がある時は出来るだけ行くようにしている。40代後半から書道・俳画を習い始め、定年後は教室を開いた。震災後も、知人の紹介で場所を借りる事が出来、毎週木曜に教えに行っている。これが生き甲斐で、出来なくなったらボケるしかないわ。日曜は娘の家で、食事をし風呂に入るのが楽しみ。先日近くの小学校で子供達との交流会があり、竹とんぼの飛ばし方を教えてきた(作り方から教えると思っていたら、完成品が用意されていた)。子供達と遊ぶのは気持ちいい。〈「いろいろやる事があって、ボケる暇がないわ」と充実された生活をされているご様子でした〉。(83歳男性、一人暮らし、担当：藤沢、矢萩)

・入居して20日くらいはしんどくて外出もしなかったが、今は3日に1回くらいは近所の人と話をするようになり、大分しゃんとしてきた。集会所である健康体操や茶話会などの催しにも出掛けており、ボランティアも毎週水曜に訪問してくれる。足腰が悪い私からすると、ここは駅からちょっと遠く…買い物や通院にも不便。(70代女性、一人暮らし、担当：藤沢、矢萩)

・転居の予定はない(自宅再建の見通しも立たない)。ネコ12匹+犬1匹を飼っているので、仮設内で一人ぼっちでも別に寂しくはない。餌代にお金はかかるけど、年金や退職金があるから大丈夫。〈震災で亡くした8匹の猫の事を書いた文章が、雑誌に掲載されたと見せて下さった。本当に動物が大好きな方でした〉。(66歳女性、一人暮らし、担当：大滝、白倉)

・〈たくさんのお花や野菜を大切に育てておられ、楽しそうにあれこれ教えて下さった。しかし花泥棒には激怒されていた〉。2ヶ月後には、近所の方と同じ所へ引っ越すので心強い。でも花や野菜を育てたり出来るから、この仮設が大好き。ずーっといたい。空気もいいし。(78歳女性、一人暮らし、担当：大滝、白倉)

・入居人数を変更した為、入居取り消しになった。名谷の空き家募集に申し込んでいるが、いまだ未定。娘と退居した息子が、時々週末に来てくれる。(64歳女性、一人暮らし、担当：

大滝、白倉)

・公営の入居は、工事の関係で延びている。移転は9月になるかもしれないが、市は詳しい事を言ってくれない。外観は出来ているが、内装やガレージ等の整備はまだのようだ。大分前から決まっていたのに…。私達より後から決まった人がどんどん出ていく。(64歳、2人暮らし、担当：東條、長船)

・公営は以前住んでいた所に戻りたかったが、新築がないからあきらめた。古い空き家は狭いのに家賃が高い。それに娘が来ても泊まる所がないのは困る。今回は息子の勤務先に近い所を探してもらったので、日曜に下見をし、月曜に決める。今度は永住やし、きっちり決めな。しかし運のいい人は、ええとこ入って安い家賃で住んでるのに…。〈と、今までここに残された事を怒られていた〉。(77歳、2人暮らし、担当：東條、長船)

7月10日

・民間住宅で被災した。家主から退居するよう再々言われたが、移転したくなかったのですと住んでいた。しかし、取り壊しをするというので、やむなくここへ転居してきた。(30代、5人暮らし、担当：北野、矢萩)

・地域振興券について、これまで自治省・各政党・振興券係へ何回となく電話し訴えたが、「あなたは息子さんの扶養家族になってますので支給されません」との返事。では、私と同じ条件の方で支給されている人は…どうして？。また親が高給取りあるいは資産家でも、15歳以下の子供へ一律に支給されたのは…どういう事？。こんな不公平な振興券に…納得のいく説明を願いたい。(77歳、2人暮らし、本人自筆)

・ここは子供のいる家が3世帯の為、子供会がなく廃品回収がない。リサイクルしないともらいたくない…。〈お世話役の方にお聞きし、近場にある区の廃品収集所を紹介した〉。(30代、5人暮らし、担当：白倉、立花)

・被災後、息子夫婦と同居していた。去年4月こちらへ転居してきたが、妻はその3日後に倒れ…6月に亡くなった。週2回スーパーで買いだめをしているが、医者からは「栄養が偏らない食事と歩行を心掛けるように」と言われている。今は健康でも4～5年後どうなっているか不安…。妻が亡くなった事も…震災も『運命』だ。人間が生きるには、楽しい事を持たねば。今日は若い人と会ったことで活力をもらった！。〈とてもさみしがりやの方で、話をずっとされていた〉。(76歳男性、一人暮らし、担当：中沢、大森、延東、清重)

・昨年3月に転居してきたが、今年3月夫は腰を骨折し、その後体調を崩し…亡くなった。一人になったが子供3人が神戸に住んでおり、電話や訪問をしてくれ買い物も手伝ってくれるので、生活は安定している。住居は安全で空調の必要もあまりなく、快適である。周囲の方々にもいろいろな面で協力して頂き、感謝しています。(78歳女性、一人暮らし、担当：矢野(俊)、川口)

・去年8月に転居してきた。耳が遠いが、テレビで時代劇を見るのが楽しみである。今年5月11日に息子がクモ膜下出血で突然亡くなり、一人になってしまった。同じ階の方が定期的に訪問してくれ、常に心配りをしてくれるので、感謝している。〈きれい好きで、部屋もよく片付いていた。家族に恵まれず、92歳という年齢の為生活は大変と思われる。しかし腰が低い方なので、周囲の協力を得ながら地道に生活されることを願います〉。(92歳男性、一人暮らし、担当：矢野(俊)、川口)

・失業してから、貯金を崩してやってきたが底を尽きかけている。不定期のアルバイトでは生活していけず、今は息子の収入で暮らしており、申し訳ない。〈被災地仕事開発事業の資料を渡し、説明をする〉。足が悪いので、大丈夫だろうか？。それに交通費は支給されるのかな？。検討してみます。ありがとう。（58歳、4人暮らし、担当：白倉、立花、長船）

・夫は最近血圧が高いが、診察待ちが嫌いで医者に行かない…。クーラーの操作方法が分からず、除湿の時だけ使用しています。新聞・宗教の勧誘やセールス等がよく来る。〈活動の趣旨を説明し、「小さな事でもいいので、お話をお聞かせ下さい」と言うと、部屋の中に招き入れて下さった。クーラーの操作方法を、分かりやすく書いてきた〉。（60代、2人暮らし、担当：赤西、福井）

・公的支援の国会要望の際、東京へ何度も行った。成立した時は嬉しかった。また空港建設をめぐる署名集めもした。でも空港は出来てしまうやろうな。腹立つわ。孫の幼稚園への送り迎えは自分の仕事なので、毎日長田に通っている。また小学生の孫はリトルリーグで野球をしており、よく一緒にキャッチボールをする。孫がいるからこんなに元気でいられるん tochやうか。ここは快適だが、それでも下に住むお婆さんは元気だったのに急に亡くなった。ここでは仮設にいたような繋がりがなく、いろいろなイベントなんか出来へんからな…。皆さみしいと思うわ。（67歳男性、一人暮らし、担当：鹿島、白倉）

・娘は仕事に行ってます。復興住宅の人と、2ヶ月近く会わない事もある。みんなで掃除する事もないし、ただ小さな掃除当番が月1回あるかないか位。一生のうち阪神大水害・空襲・震災と3回も災難に遭った。特にひどかったのは戦災で、何しろ日本中食べ物がなかったのだから…。あの時は幼稚園児と小学生の娘を抱え、食べ物がなく困った。テレビでコソボ難民を見ていると、同じやったなあ…と思う。（82歳、2人暮らし、担当：芦高、白岩）

・息子が会社に行った後はひとりぼっち。まだ自治会らしい活動もないし、コミュニケーションが全くない。健康相談が集会場で月1～2回あるが、皆さんに会えない。仮設では「ふれあいセンター」に行けば、誰かに会えたのに…。また「どおしてるのお…？」と声も掛け合ったが、ここではそういう事が滅多にない。（55歳、2人暮らし、担当：芦高、白岩）

・息子が一人で暮らしてる半壊した、鉄工所兼自宅へ戻る予定。ガス・水道などの設備を準備中で、住めるまでには8月中旬までかかりそう。（86歳女性、一人暮らし、担当：藤沢、矢野（信）、白岩）

・8月中旬に公営の鍵渡しの予定だが、まだ未確認。また自分が何階に住むのかも分からない。引っ越し業者を検討中。2トントラックで大丈夫かな？。〈引っ越しプロジェクトを紹介する予定〉。（80歳女性、一人暮らし、担当：藤沢、矢野（信）、白岩）

・公営は未定。膠原病で、どうしても今通院している病院の近くへ行きたい。また将来歩行困難になりそうなので、バリアフリーの住まいを定め、電動車椅子を購入したい。手芸等が好きで、電動ミシンが欲しい。どなたか要らなくなった方、お願いします。（58歳女性、一人暮らし、担当：藤沢、矢野（信）、白岩）

・留守でしたが、ここはどんどん解体工事が進められており、大型トラックで廃材を搬出中だった。隣の棟はガラス戸が外れ、しかもガラスの多くが割られ散乱している。人を…一人で住まわせるにはあまりにも寂しすぎる状況と思います。再度近況フォローを望みます。←来週も訪問する予定です。（88歳女性、一人暮らし、担当：藤沢、矢野（信）、白岩）

7月17日

[復興住宅]

・ここはバス停から遠く、不便。入居時…雨が降ると1階の床下換気口に雨水が流れ込むことが分かり、市に側溝を作る工事をしてもらった。当時は自治会も出来ておらず、あちこち走り回って大変だった。その後も地域住民や市民の苦情を聞き、行政に改善申し入れを行っており、その数は100件以上になる（メモや写真も残してある）。教育の荒廃は、学校へ上がる前に家庭で躓が出来てないからだ。教育問題はもっと家庭の領域に踏み込まなければならない。また日本人はよく“終戦”というが、本当は“敗戦”だ。戦争に敗れたという痛みを感じていない。政界も教育界も誤魔化している。〈気持ちが若々しく、世の不正は黙っていられずどんな相手にでも意見をぶつけていくパワーを感じました〉。（77歳、2人暮らし、担当：南、矢萩）

・骨粗鬆症で足腰が悪く、外出の際は手押し車を使う。歩くと身体の調子がいいので、週3回は買い物に行くが、この近所は坂が多くて…。また花に水をやる際、ベランダに水道がなく家の真ん中にある台所から運ぶのは、とても不便。集会場でお茶を飲んだりカラオケをするが、1日中家の中にいて誰とも口を利かない時もある。盆踊りなどもなく寂しい。仮設や被災場所と違い、不便で淋しい。〈花をご自分で2鉢選んで持ち帰られた〉。（79歳女性、一人暮らし、担当：長船、瀬戸）

・震災時右足をはさまれ、その後遺症で正座が出来ない。普通に歩く事も出来ず…立っていると体がふらつくので、病院へはわずかな年金からタクシー代を出し、通っている。リハビリと思い、一人で歩く練習をしているが痛む。夫婦で体のあちこちが悪く、どちらが先に倒れるかと…心配。鉄筋の建物は初めて住んだが、暑い。台所までクーラーの風は届かず、調理熱も自然に排出されない。またドアを閉めたらお話がしにくい…近所の人達と、料理の話し等をしたいです。（76歳、2人暮らし、担当：瀬戸、長船）

・この階は年寄りが多く活気はないけど、なごやかに付き合っている。でも近所の人と会っても挨拶する程度で、大した話しはしない。去年は妻を亡くし、軽いうつ状態で人と話す事もおっくうだった。でも今は体も良くなり、こうして話していて楽しい。また来て下さい。（76歳男性、一人暮らし、担当：金本、林、白倉）

・仮設にいた時は不愉快な事があったが、今はここでとても幸せに暮らしている。隣の92歳の方が毎日掃除しているのを見て、自分も触発され毎日散歩に通っている。〈互いによい意味で影響しあえる環境は、特に高齢者の多い復興住宅ではとても大切な事だと感じた〉。（78歳女性、一人暮らし、担当：小田、橘）

・震災当日は娘の家に泊まっていた。自宅は完全に潰れていたのも、もし在室だったら助からなかったと思う。近所の方にお世話いただいております、ここは住み心地がよい。〈お花を差し上げたところ、喜んで下さった〉。（76歳、2人暮らし、担当：浦口、矢野、白岩）

・来客中との事。お花のみを届けると大変喜ばれた。「今度また来てね。いつ来る？」と言って頂けたので、機会があれば訪問したいと思っております。（38歳女性、一人暮らし、担当：小田、橘）

7月24日

・脳梗塞で左半身が不自由。ようやく希望する場所（通院に便利な場所）へ入居が決まった。元住んでいた場所にも近く…良かった。仮設の生活は大変だったが、違った土地で生活を経験できたり…今となっては良い思い出です。（67歳、2人暮らし、担当：石川、小林、辻野）

・周りが空いており子供も大きく手狭なので、転居までもう一部屋使わせてと希望したが、「それなら今空いている県営に行け」との返事。夫は震災後職場に通えず転職したが、その会社は今年倒産し求職中。長男も就職浪人だが、先日試験を受け、結果待ち。（47歳、4人暮らし、担当：石川、辻野、小林）

・松葉杖がないと歩けない（障害6級）。また多発性筋炎（筋肉が硬直する）の持病があり、朝・晩の薬は欠かせない。でも一人でこんな所に居たらノイローゼになるので、毎日リュックを背負って出掛けている。空き家待ちになるが、通院（被災地）している病院の近所で…6ヶ所ほど行きたい所がある。〈被災者連絡会も市へ交渉中との事〉。一時待機を勧められているが、とても2回は引っ越せないし、斡旋された所は坂がきつく住めない。足の事を訴えても、「あんたより体の悪い人はいっぱいいる」と言われた。とうとう一人になってしまった。ふと目が覚め…このままどうなるんやろと思う。夜が怖く、寝不足で血圧が上がった。今日は週ボラが来るというので待っていた。（67歳女性、一人暮らし、担当：石川、辻野、小林、若菜）

・今月末に転居します。娘の近くなので安心。仮設撤去の為、私の住んでいる棟を工事用防護柵（黄色と黒）で囲まれた。通路の真ん中に建てられ歩きにくいし、不用心だ。引っ越しの際、本当に取り外してくれるのだろうか？。これではトラックも入って来れないし、荷物も持ち出せない。（85歳女性、一人暮らし、担当：土屋、浦口、小波本）

・収入オーバーと年齢で公営に入居できず、公団の斡旋を受けている。家賃7万円（＋共益費5,000円）は痛い、書類が揃ったら申請するつもり。今回の入居は3年間の暫定措置で、その後は市住に移ることも可能と言われた。震災後、糖尿病や肝臓を悪くし3～4回入院した。会社帰りに市街地の病院へ通院しているが、今のところ体調は良好。（50代、2人暮らし、担当：祝、中澤、矢萩）

・震災後、大腸ガンの手術をし、今も通院中。腰も痛むので、3日と空けず近くの外科へ行く。通院を考え西神南の市住を希望したが、収入の関係から県住を勧められている。でも書類を送ると言われ、2週間経つが…まだ届かない。公営の件であちこち相談したが、聞いてくれるだけで根本的な解決にはつながらなかった。やはり自分で動かないと…。今は…役所と腰を据えて話し合うという気持ちになっている。仮設の撤去も来週くらいから本格的になるようだ。工事が始まってから外灯がつかず、真っ暗で怖く…苦情を言ったら、2～3日前からつくようになった。〈お店を経営されていた頃の事を楽しそうに話された。たくさんの本やレコードを持っておられ、婦人大学やいきいき仕事塾に通われてる…向学心旺盛な方でした〉。（69歳女性、一人暮らし、担当：祝、中澤、矢萩）

・収入オーバーで市住に入居出来ず、ありとあらゆる所へ申し込んだ。でもようやく…転居が決まった。娘2人は大阪まで通勤しており、帰りは10時頃になる。表通りまで迎えに行くが…暗くて怖い。目の前の仮設が撤去され、日がまともに当たる。雨が降ると跡地に水たまりができ、カエル・ナメクジ・虫等が大量発生する。また夜になると犬が出てきて怖い。わざわざネコに餌をあげに戻ってくる人もいるが…。（78歳、3人暮らし、担当：石川、小林、辻野）

・公営はつい先日決定したが、入居時期は未定。先月一人息子（27歳）が亡くなった。半年

ほど糖尿病で入院していたが、突然悪化した。(52歳、2人暮らし、担当：石川、小林、辻野)

・8月中旬に転居予定だが、引っ越しの段取りはまだ。〈引っ越しボランティアの資料を渡す。お酒をかなり飲まれるが、病院はきちんと通院しており、糖尿病も悪化していないとの事。但し、他に住んでいる家が1軒しかなく、以前に比べ元気がない。ここでは全棟の内装・外装を外す工事から始めており、見渡せば鉄骨と…板間の上にユニットバスが残された風景が広がっていて、無情です〉。(71歳男性、一人暮らし、担当：武内、白倉、藤沢、橘)

・公営が決まった。しかし、8～9月に入居との事だ。小・中学生の子供がいるので、2学期が始まる前に転居したいと思う。時々来る市の幹旋係に言うが、「そちらの担当ではないので…」と逃げる。(31歳、7人暮らし、担当：矢萩、祝、中澤)

・今月末に転居します。大きな犬を飼っていたので、転居先がなかなか決まらなかった。今回移転する所も、結局飼えない。〈仮設住宅で被災者を慰めていた犬や猫は、復興住宅に入れない者もあり、保健所に連れて行かれるか・野良になるか・捕まるか…いずれかの道をたどる。理不尽だと思う。何とか生かす方法はないものだろうか?〉。(74歳、2人暮らし、担当：武内、白倉、橘)

・一時、足の裏が腫れたが、最近は薬で少しましになった。仮設に来た当初は、体調が悪かった。部屋中の物がキラキラ光って見える等の幻覚が続き、医者に診てもらった事もある。4年と4ヶ月、よう倒れんと居ったもんや。転居予定が8月に延びたが、2週間に1回通院(眼科)がてら、建設現場へ足を運ぶ。いい感じで進んでいる。5月にここで一人きりになった際、どうなる事かと思っただが、隣のマンションの方や新聞屋さんが声を掛けてくれる。またよその仮設と違い、環境にも恵まれている。週ボラにはずっと気に掛けてもらい、お世話になります。今日は楽しみにしていました。(80歳女性、一人暮らし、担当：祝、中澤、矢萩)

・膠原病で脚が痛み、微熱がある為歩くのがしんどい。この病気の症状は多種多様で、検査を受ける際もあちこちの科に行かなければならず、一苦労だ。住宅は未定。今も幹旋で名谷駅から近い公営を勧められているが、病院(市街地)の事を考えると…。希望する所は来年6月に出来るらしいが、空きが出るまで1～2年どこかで待ってもいい。趣味で俳句や短歌を作ったりしている。でも最近は書いてること自体に嫌悪感を感じてしまう。独りぼっちで寂しいし、肩身が狭い。(58歳女性、一人暮らし、担当：大滝、白倉)

・電動車椅子やバッテリー交換は値がはるけど、これなかったら外出できないしな…。頼みあるんやけど…植えてあるメロンの枝を針金でくくりつけてくれへんか?〈作業を行う。必要があったらまた呼んで下さいと伝える〉。仮設にいる時からメロン栽培をしていたが、ここではプランターに植えている。今は限られてる土やからな…花も植木もそうそう作れない。花を手入れする事が生き甲斐や。毎日花に水をかける時、話しかけたらちゃんと伸びてくれる。(66歳男性、一人暮らし、担当：南、福本、長船)

7月31日

[復興住宅]

・最初は私も…自分の家がどこかと迷ったが、いまだに迷う高齢者もいる。こんな高い所に、公営をよう建てたもんやと思う。近く棟に友達が入居しているが、行かない。いろいろなセールの人がよく来るので警戒してるけど、ボランティアは気持ちに通じるし…くだらん話でも聞

いてくれるから、来てくれて嬉しい。時々来て下さい。(67歳女性、一人暮らし、担当：矢野、長船)

・私は緑内障で…いつ失明するかわからない為、夫には家の中の物がどこにあるか紙に書くなどして教えている。この棟は入居戸数が少なく、私達は端部屋で横窓が開くので…良かった。野菜は仮設を回っていた八百屋さんが来てくれ、他の買い物はコープに配達してもらおう。何かあれば下のローソンで用は足りる。仮設より電気・ガス・水道(風呂は水量調節が出来る)も安い。今は快適や。夫は将棋が趣味。私は踊りをしていたので、自治会が出来てまた踊る機会があれば…と楽しみにしている。人間趣味があれば、年とってもやっていける。またいらして下さいね。〈堅い信念を持ちながら、色々な事にトライされるエネルギッシュな方で、その姿勢や発言には学ぶ所が多かった〉。(76歳、2人暮らし、担当：向井、矢萩)

・買い物をする際不便。下の“お好み焼き屋”が“生協”やったら良かったのに。週2回近くの風呂屋に行ったり、姉の家に行くなど頻繁に外出している。その時ついでに買い物をしてくる。(75歳女性、一人暮らし、担当：藤沢、中澤)

・当初は障害者に不向き(急斜面に建っているので生活しにくい)だと思い、ここに住みたくなかった。しかし「タクシーが来るよ。それにここを逃すと、いつ公営へ入居出来るか分からない」と言われ…住む事に決めた。ここに来てからセールスが後を絶たず、時には中まで入り込んできて浄水器を取り付けられた事もある。足と心臓が悪い(障害2級)ので、最近電動車椅子を購入したが、まだ慣れず移動がしんどい。また集会所にも行けないので、コミュニケーションがない。通院等外出する時はタクシーを使用するが、往復4,000円ぐらいかかってしまう…。8月初めに検査(心臓)を受ける。その結果によっては、入院するかもしれない。(69歳男性、一人暮らし、担当：小波本、青木)

・寝たきりの母と2人暮らしです。ここは買い物が不便。お年寄りの方が重い買い物袋を下げ…一息つきながら、坂を登っているのを見るとかわいそうです。離れて建つ1棟・2棟(シルバーハウジング←高齢者向けの公営)は、バス停に一番近い7棟のエレベータ口よりなお…坂を登らねばならず、特に不便で辛いと思う。仮設では6月に入ったらすぐクーラーをつけていたが、ここは風が入ってくるので今も使用していない。〈寝たきりのお母さんの床ずれの事を考えると、自然の風が入ってくるのは大変有り難いことだと思います〉(88歳、2人暮らし、担当：大滝、福井、橘)

・地震の後遺症で、腎臓と肝臓の働きが悪い。入居する前も、2カ月入院していたので…体重が38kgになってしまった。それに背の低い人に合わせているのか…調理台が低く、腰が痛い。ここでも会合はあるけど、なかなか会長等になる人がおらず、自治会もできない。ゴミ当番も決まらない。朝から晩まで話す相手がおらず、ノイローゼになりそう。こんなに辛い事はない。近くの棟にたくさん知ってる人がいるけど、部屋番号を知らないし、戸を閉めたら誰も話さないからね…。〈お話相手の訪問をとっても必要とされていた〉。(76歳女性、一人暮らし、担当：大滝、橘、福井)

・転居先・日程ははっきりしないが、「決まったら即入居出来る」と言われたので、引っ越しの準備を始めている。近くのダイエーでダンボール箱をもらっているが、余分に欲しいので、手に入る所はないだろうか？。梱包作業の事を考えるとしんどい。どなたか作業に来てくれませんか？。出来れば女性の方、お願いします。(67歳女性、一人暮らし、担当：福本、赤西)

・今日公営のカギをもらってきた。色々説明を聞いたけど、一方的に話すし…カタカナ用語が多く、よく分からなかった。ところで部屋のカギは『オートロック』らしいけど、それって何？。
〈使用説明書を見ながら説明したが、再度入居前に電話をし確認する事を勧めた〉。公営に入っても言いたい事は色々あるやろうから、又訪問に来てくれ。(71歳男性、一人暮らし、担当：福本、赤西)

・この仮設(公園)で残っているのは私一人だ。だから敷地内に人が入ってきたり、特にベンチで長い時間座っている人がいると、気になってしょうがない。警察が時々来るので、少しは安心しているが…。〈あんしんすこやか係から返事があった。7月31日、幹旋担当の方と保健婦さん付き添いで、公営を下見に行く予定との事。場所は本人希望の地区。問題は1階入居を望んでいるが、空いている所は2階しかない。本人が納得してくれればいいのだが…と言われていた。引き続き見守る形で訪問を行う予定〉。(88歳女性、一人暮らし、担当：福本、赤西、若菜)

8月7日

・仮設から7～8名一緒に来ており、現在も付き合いがある。近所の方も、とても良くして下さい。足が不自由(人工関節を両膝に入れている為、足が曲がらない)だが、仮設を回った八百屋さんがここへも来てくれ、とても助かっている。また週2～3回は夫と名谷駅まで買い物に行く。またいつでも来て下さい。(72歳、2人暮らし、担当：小川、佐保、川口)

・母(明石の病院へ入院中)は、最近ようやくベッドから車椅子に移れるようになった。病院内にあるデイケア・ショートケアの施設では色々行事もあり、楽しくやっているようだ。でも来月ごろには、今より遠く不便な別の老人ホームに移らなければならない。私は生まれつき右足が悪く、この公営からでは…月1回しか会いに行けなくなるだろう。仮設は湿気が高かったが、ここは快適で足の痛みもなくなり…よく寝れます。訪問看護(毎週火曜)は兵庫区の病院より来てもらい、1年半の付き合いで気心も知れている。ヘルパー(毎週木曜)は、今は垂水区から来てくれ、69歳の方がテキパキと動いてくれます。公営の交流会もあったが、ヘルパーが来る日だったので参加できなかった。近所と、交流は特にない。人と話すと気が紛れるわ。またいらして下さい。〈夕方6時頃になると、部屋のほとんども西日が当たり、暑い〉。(57歳男性、一人暮らし、担当：平戸、福井、矢萩)

・ここは快適です。聴力障害があり、昔…足を手術したので歩くのがしんどい。1ヶ月の医療費が最低8,000円もかかるので、少ない国民年金から支払うのは大変。(63歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、平戸、福井)

・妻は脚が不自由な為…電動車椅子を使用しているが、バスを利用する際の為に、折りたたみ車椅子も購入した。近くにあるゆやの里(温泉)へ週2回通い、足を温める等もしている。〈爪楊枝・竹ひごの等を使った細工物、酒・牛乳パックを利用した小枕・鶴の置物・くす玉を作られたりと、手作業に励んでおられた。作り方を教えて頂き、作品も戴いた〉。(76歳、2人暮らし、担当：赤西、福井、中野)

・去年12月25日に足の付け根を骨折。3月まで入院していた。また72歳の時に動脈瘤の手術をしたが、その痛みが現在もある為に、偏った姿勢で寝てしまい…筋肉痛になる(湿布を貼っている)。月2回通院する際買い物をしてくるが、重い買い物袋を下げ、坂を上がるのは…体が痛む。また八百屋さんが来ても、エレベーター口より遠くに車を停めていると、坂がき

ついでに行けない事もある。ヘルパーさんが来て、掃除などをしてくれる。(80歳女性、一人暮らし、担当：川口、佐保、小川)

・クーラーは自費設置なので、置いていない。心臓が悪い為、2ヶ月に1回診察に行くが、今のところ順調。薬さえ飲んでいけば大丈夫だと思うが、いつ倒れるかと思うと…不安。隣近所とも話すようになり、近所付き合いが出来てきたように思う。(52歳男性、一人暮らし、担当：川口、佐保、小川)

・高血圧と不眠症なので、血圧の薬と安定剤を飲んでいる。長男はトラックの運転手で、週に一度しか帰ってこれない。次男が住んでいる近所へと思い、ここへ引っ越してきた。特に困る事はないが、親しい友人が出来ない…。犬を1匹飼っているが、一人やったら気が狂いそうになるわ。空き家入居で入ってきた人は、回りの人とのコミュニケーションが難しい。(73歳、2人暮らし、担当：白岩、橘)

・狭心症。通院と買い物の手助けに娘が週2回来てくれる。ここは2軒だけで、廊下を共用する建て方になっており、近所との交流が難しい。一日中テレビの番をするしかない…。それに空き家入居の場合、家賃などの面も含め、何かとやりにくい。西神(復興住宅)の方へ引っ越したい。同じ仮設だった方と連絡を取り合っている。〈私たちも同じ仮設だった方の住所をお2人知っているので、『仮設の同窓会』を開いてみたらどうでしょうか?と提案したところ、「やってみようか」と言っておられた〉。(83歳男性、一人暮らし、担当：白岩、橘)

・昼過ぎになると、前の公園で子供がガンガン何かを叩くので、うるさくて昼寝も出来ない。以前は上の男性が夜中にドンドン物音を立てて寝られなかった。足を手術し、杖を使わないと歩けない。また頭の骨が徐々に開く病気で…これ以上進行すると手術をしなければならない。この隣近所は冷たい。知り合いが隣の棟にいたので、電話で話したり…よく部屋を行き来するから心強い。でも地震の時、死んだ方がましやった…1日が長い。また来て下さい。(67歳女性、一人暮らし、担当：長船、辻野)

・母(90歳)と私は市街地まで通院しているが、比較的元気。風通しが良いので、クーラーもほとんどつけない。仮設にいた頃は近所と付き合いがあったが、今はない。でも家族3人(妹…60歳)で居るので、寂しくない。ただエレベーターがないので、4階まで休み休み昇るのは辛い。(70歳、3人暮らし、担当：長船、辻野)

・体の弱い息子と2人暮らし。生活が苦しい…。左足が悪く(骨の変形)、バスで病院へ通うのも辛く、介護の車で走っている。足が悪く辛い、自殺する勇気もないし…。(76歳、2人暮らし、担当：長船、辻野)

・この仮設も人がいなくなり、寂しいというより怖い。女一人では危ないからと息子が泊まりに来る。娘も子供を連れて、よく遊びに来てくれる。90年に勤めていた工場が倒産し、93年には夫が亡くなり、そして震災。苦労は多かったが、今は楽しく暮らしている。今月中に転居(名谷の公営・空き家募集)する事が決まった。3LDKの広い部屋でゆったりと暮らせそうだが、月12,500円の家賃はキツイ。働きに出ようかな。(64歳女性、一人暮らし、担当：大滝、矢野、白倉)

・足が悪い(障害4級)。市街地の公営へ転居が決まった。12日にカギ渡しで、15日に引っ越し予定。〈引っ越しのお手伝いをするよう指示されていたが、他の訪問時間が長引き、出来なかった。ダンボール箱10枚程を手に入れお渡しする。来週14日は手伝いますと約束した〉。(67歳女性、一人暮らし、担当：大滝、矢野、白倉)

・ 8月12日に自宅へ戻る。まだ修理中で住めるような状態ではないが、いつまでも居られないので…。息子が板を敷くなど工夫をして、とりあえず寝る場所だけは確保してくれる。今までお世話になり、ありがとうございます。(86歳女性、一人暮らし、担当：辻野)

・ 公営入居については色々トラブルがあったが、ようやく市街地の県営に当たった。8月12日がカギ渡しです。ボランティアがよくしてくれたので、自分にも出来る事はないかと探し、最近…古切手の収集と子供のおもちゃ関係のボランティアを始めた。8月14日は忙しくて、いるか分からない。でも転居後には電話を入れます。(ボランティアの存在を喜んで下さった)。(69歳女性、一人暮らし、担当：辻野)

8月14日

・ 糖尿・その他の病気で2週間に一度通院しており、血糖値が高いので食事療法(1日3回の自炊)も行っている。仕事はまだ就いていない。家の事をしているうちに…1日が過ぎてしまう。今のところ保健員に相談しながらやっています。母と同居する予定だが、親戚宅(市街地)よりこちらにまだ移ってこない。(買い物などで坂を上がり下がりされているお年寄りの事を気遣われていた)。(42歳男性、一人暮らし、担当：平郡、谷口、矢萩)

・ 〈息子〉被災地しごと開発事業(月5万円)で、この1年は仮設点検をしていたが、9月中旬からは被災地の生垣マップ調査業務(生垣の分布状況や植物の種類を調べる)を行う予定。しかし被災地しごと開発事業も平成13年で終わる。それまでに定職を見つけたい。職安に通っているが、希望する仕事(製造業)は年齢制限もあり、なかなか見つからない。(母)震災時から体調を崩している。夫は大工だが事務所(市街地)を構えてから、一度もこちらに帰ってこない。不況でなかなか仕事もなく、大変なようだ。ベランダで飼っている犬は、普段大人しいが…人が来ると吠える。犬を手放せない理由があるので、今度…市に相談するつもり。(67歳、2人暮らし、担当：平郡、谷口、矢萩)

・ 公営内を移動する時、普通の車椅子では不便なので、電動車椅子を購入した。食料品は移動販売を利用できるが、銀行や郵便局等の用事は名谷まで行かねばならず、タクシー代がやたらかかる。(69歳男性、一人暮らし、担当：草野、赤西)

・ 行事の案内などは回覧版で届くが、行っても…仮設住宅ごとに集まってしまう。“少数派”の者は仲間に入りにくい。65歳以上を対象に月2回『ふれあいレストラン』(ゆいまーる神戸主催)も開かれているが、行く気になれない。ここにいると、人と話す事がなくなってしま…買い物は不便やね。日用品の“まとめ買い”をするには、バスに乗って名谷まで行くしかない。→コープでは65歳以上・身体障害者・妊婦に限り、午前中買った物は、無料で当日配達があります。ダイエーでは専用ケース(トイレトペーパーが36ロール入る大きさ)に入り重さ10kg以下であれば、午後2時まで買った物は、300円で当日配達があります。但し、コープ・ダイエーとも生もの・割れ物は受け付けておりません。詳しくは各店のサービスカウンターで説明しています。(76歳女性、一人暮らし、担当：草野、赤西)

・ 卵巣ガンになり、近くの国立病院へ入院する事になった。自分の事は自分でする主義。例えば自分が死んだ時に備え、納骨先もすでに紙に書いて指定している。ここに来て付き合いがなく寂しい。5年間過ごした仮設の方がよかった!。(戦争の事やご自分の事をたくさん話されていた)。(68歳女性、一人暮らし、担当：南、福本、矢野)

・ 夫も義父も亡くなり…今は一人暮らしだが、荷物はとにかく多い。4年は長かった。この仮設

では大変過ぎて、おしゃれなんてしてる暇がなかった。また遊びに来て下さい。〈「荷造りの手伝いに、女性をお願いします」と言われていたが…予想に反し、ふとん等を縛る力仕事が多く疲れました〉。(67歳女性、一人暮らし、担当：東條、林、白倉)

・残暑お見舞い申し上げます。この度長期にわたりご心配をおかけしましたが、おかげさまでやっと転居地のカギ(8月12日)を頂きました。引越しは8月中にしたいと思っております。ご支援心強く、感謝の毎日でございました。本当にありがとうございました。取り急ぎご報告まで。末筆ながら皆様によろしくお伝え頂きとう存じます。(69歳女性、一人暮らし、本人自筆)

・宅地整地が終わる9月下旬頃から、自宅再建に着工予定。12月下旬～1月初めには転居可能になると思う。換地がようやく今年2月に決まったので、建築申請を出しても長い事かかるだろうと思っていたが、予想外に…すぐ許可が下りた。転居後の心配は犬1匹と猫12匹。どうやって連れて行こうか?。それに建坪が狭い(45.5㎡)ので、室内飼いに変えないと…。家は古く、大正末期・昭和初期の新聞(ポツダム宣言の文章が載っていた)や写真がいっぱいあったが、すべて焼けてしまった…。12月ぐらいまで仮設に居れそう。また来てください。

(66歳女性、一人暮らし、担当：下井、永田、辻野)

・転居先は決まっているのだが、まだカギ渡しも引越しのめども立たない。昨日の午後、帰宅後部屋の風通しを良くする為…窓を開けていたら、変な男性(76歳位)がいきなりカーテンを開けて部屋をのぞきこんだ。翌朝外に出てみると、きれいに植えておいたネギが根こそぎ抜かれていた。仮設の周りには人通りも多いが、私以外に住人がいないので怖い。早く出て行けたらいいのだが…。〈一緒に最寄の交番に行き、見回りを強化してもらいたいと依頼する〉。(80歳女性、一人暮らし、担当：立花、橘)

・手芸がお好きで、ミシンがあればと以前言っておられた。2ヶ月過ぎたが、今のところ提供者がいない事を伝える。引越しの際ミシンを置いていく人がいればと思い、またテレビで避難民の人たちに物資援助をしているのを見て、ボランティアだったら持っているかなと…たずねてみたとの事。引き続き、他のボランティアにもたずねてみますと伝える。(58歳女性、一人暮らし、担当：立花、橘)

・8/9, 戻る予定の自宅は工場地域にあり、話し相手がいらないと思う。こうやって話し相手がいる事は、とても嬉しい。引越し後にも来て欲しい。(86歳女性、一人暮らし、担当：藤沢)

8/14, 仮設に来て色んな人と出会え、よい勉強になった。息子がいる鉄工場兼自宅は風呂・トイレなし。とりあえず、何とか寝る場所を無理矢理作る。荷物を少しずつ運んでいるが、息子に「こんなガラクタ持ってくるな」と怒られる。〈8月20日、西区保健課へ状況確認すると「息子さんを通し、公営の話をしたが…まとまらなかった」との事〉。(担当：下井、永田、辻野)

・自分はタクシーの運転手だが、色んな人と話が出来るのでこの仕事を選んだ。でも今は不況で辛い。ストレスがたまり昨年1月に胃の手術をした。震災時、私は家具の隙間にいて助かった。妻も偶然助かった。知識人や専門家はいろいろ避難方法を言うが、現実離れしている。やっぱり運。震災後、何があっても運の善し悪しで物事を考えるようになった。カギ渡しの通知待ちです。(62歳、2人暮らし、担当：下井、永田、辻野)

8月21日

(記録なし)

8月28日

・〈調査員や訪問販売ではないかと警戒されていたが、週ボラの名札を見て、「来るのを待っていた」と言われた〉。近くにコープしかなく、市場に比べると値段が高いので困る。ボランティアによる、住民と行くハイキングなどを…企画して欲しい。(74歳男性、一人暮らし、担当：福本、川北、辻野)

・ゴミ当番は多くの人と知り合えるように、階ごとや同じ部屋番号同士の組み合わせがある。駅に近く、坂もないし、静かだし、この住宅が一番良いだろう。ただ余り親しくないご近所の方と話す事には、ちょっと警戒している。〈お茶をご馳走になり、お菓子もお土産に頂いた〉。

(82歳、2人暮らし、担当：福本、川北、辻野)

・ヘルパーが週2回来てくれ、掃除・洗濯その他をしてくれるので助かる。娘も毎週日曜に来てくれるので嬉しい。足(車椅子使用)と耳が悪いので、お隣とも余り話をした事がない。テレビも余り見ない。しかし体調は良いので、何とか一人でも生活できている。(87歳女性、一人暮らし、担当：福井、高橋、小波本)

・去年3月、敷居につまずいて膝を痛めた。腫れは治ったが、正座がいまだできず、通院中。帰りにカラオケに行くのが楽しみ。いい所に当ててもらって嬉しいわ。家のドアを開けたら、きれいな芝生と夕日が見えるのがいい。(78歳女性、一人暮らし、担当：丸笹、中澤、長船)

・牛乳・新聞・浄水器のセールスが、毎日のように来る。夜8時頃来る事もある。仮設では…洗濯の時長話が出来たが、今は鉄の扉に覆われ出来ない。集会場で茶話会があるが、最近人手が少なくなってしまった。菅原市場(焼け跡に27軒が再建した)は、今年いっぱい閉鎖になるそうだ。その後は5軒がスーパー形式で再開するという。自分も商売をしていたので、本当に大変だと思う。(71歳男性、一人暮らし、担当：矢野、赤西、竹本)

・トルコの大地震をテレビで見ると蘇るんですよ、怖い記憶が…。子供2人(中学生)は、今でも揺れると眠れなくなる。生き埋めになった事は、どない言うたって忘れへん。ここでは催しとかがない。仮設の方がええわ。薄っぺらでも親しみ持てて…人が声をかけてくれる。ストレス解消に話をしたかった。ボランティアは、私らのような若い人の所には来てくれないと思っていた。ありがとう。たまには笑いたいし、また寄って下さいね。(36歳、3人暮らし、担当：丸笹、中澤、長船)

・〈鉢植えのお花を渡すと〉お花大好きなんです。ありがとうございます。次も芽を出して咲くといいんですけどね…。(?歳、?人暮らし、担当：福井、小波本、橋本)

・私の場合、ホームヘルパーは無理やと思います。体が悪いわけではないし、年齢から言っても…。だけど精神的に参ってしまい…体が動かないんです。一度来て欲しい。←“くらしの助け合いの会”へ確認すると、対応出来るケースと思います。詳しくはご本人と相談したいとの事。料金・家事(2時間・1,400円)。後日ご本人から電話して頂く予定。(55歳女性、一人暮らし、担当：小波本、高橋、福井)

・公営で犬を飼ってはいけない事はわかっている。でも一人暮らしの身では、犬がいなければ…やっていけない。ここはドアを閉めたら、鉄格子の中にいるようなもの。一人で死んでいてもわからないだろう。集会場のふれあい喫茶では、お互いに「何棟の何階にいます」などと話

すが、実際どこに住んでいるかわからないし、行き来もしない。外で会えば一応挨拶くらいするが…。隣のご夫婦は良い方達で、よく食事に招いてくれる。人と一緒にする食事は、やっぱりおいしい。(70歳男性、一人暮らし、担当：柴原、井手上、矢萩)

・以前膝に水が溜まり…4回抜いたが、5回目に注射をしてもらおうとたちまち治った。今では朝6時半にラジオ体操(公園にて)をし、その後20分ほど公営住宅の周囲を歩いている。自炊はほとんどせず、宅配の食事かスーパーで惣菜を買っている。でも毎週日曜には娘の所へ遊びに行っている。(83歳男性、一人暮らし、担当：金本、猪上、小林(好))

・通院(骨粗鬆症)が大変なので、先月より市街地から西神医療センターへ病院を変えた。血圧は普通106~60だが、この前の夜中…急に首のあたりがかぁ一つとなり、寝ていられなくなった。自分でもビックリしてしまい、水を飲んだりし…夜を明かした。妹は脳梗塞の為に入院中で、余計不安になる。今は精神安定剤を飲んでいる。公園の前の道路や公営の敷地内へ、色々食べ物を売りに来るが、最近は警察の取り締まりが厳しい。利用者にとってみれば、この辺に店がないので助かるのだが…。(80歳女性、一人暮らし、担当：金本、猪上、小林(好))

・〈国立病院(名谷駅隣り)に入院すると聞いていたので、病院への訪問を行う。訪問を大いに喜んでいた〉。病院では同世代の…話の合う人がいない。元気になったら、また週ボラにも参加したい。皆に手紙を書きたい。(67歳女性、一人暮らし、担当：白岩、西馬、永田)

・〈留守シートを入れたところ、夕方電話が入り…〉仕事から今帰ってきました。訪問ありがとうございます。私は出張が多く、今まで公営に当選しても、カギ渡しの日に行く事が出来ませんでした。電話を入れても、その日に来るようにとの事です。今回も行けず困っています。また私の仕事は月によって収入の落差が激しく、このままでは高い家賃を払う事になり、入居後が不安です。(？歳男性、一人暮らし、担当：鹿島)

・仮設の取り壊し作業で、ケーブル線を切られてしまいテレビが映らない。早く直せと言っているのだが…。作業する人達は住んでる人間の事を何も考えていない。酒を飲まないと言われられない。行政から「あっちも1人、こっちも1人」と言われ…まるで仮設から追い出されているみたいだ。9月中旬には、斡旋された市街地の公営へ入居できるだろう。(？歳男性、一人暮らし、担当：白岩、西馬、永田)

・公営は決まっているが、2人とも働いているので引っ越し準備が出来ず、明日退出する予定が延びてしまった。荷造りの手伝いをしてくれる方が2~3人欲しい(車は不要)。出来れば梱包用の箱も欲しい。(50代、2人暮らし、担当：矢野、赤西、竹本)

・猫12匹と犬1匹は、全部ここに捨てていかれた子ばかり。勿論、不妊手術はしている。ここは淋しいけど、猫と暮らすには一番いい。市から一時待機(荷造りからすべてしてくれると言う)を勧められているが、猫がストレスを起こすし、4ヶ月もしたら自宅が出来るのでここにいる。それに…公営へ入居した人、みんな引っ越し疲れから寝込んでいる。(66歳女性、一人暮らし、担当：田畑、赤松、小林(弘))

・カギは先日もらった。いつ引っ越してもいいけど、荒ゴミの始末をしてから出たいので、もう少しいる。ボランティアさんにはお世話になりました。おかげさまで無事過ごす事が出来ました。ありがとう。(80歳女性、一人暮らし、担当：田岡、赤松、小林(弘))

・高知の弟の所にいる母を引き取って2人で暮らしたい。市街地の県営を斡旋されている。古いが買い物の便もいいし、2DKなのでそこに入りたい。市の人は「とりあえず1人で入居し、入居条件や家賃の違い…その他の不都合は、後で考えたら」と言うが…。2人で暮らせる所を

探したい。←生活再建本部へ、非罹災者（母）と公営入居出来るか・不都合はあるか確認する。
「家賃の面・入居手続きとも心配はないです。ただ斡旋という形を取っているのです、ご本人の入居手続き後お母さんの手続きをされた方が、書類上早く、スムーズに動く事が出来ます」との返事でした。後日、この話を伝えた。（58歳女性、一人暮らし、担当：田岡、赤松、小林（弘））

9月4日

[復興住宅]

・両膝の軟骨がすり減り、変形性関節炎と診断された。足や腰に湿布薬を貼っているが、張りや痛みがある。若い頃、修行で肥桶を担ぎ山道を上がったたりする等、かなり無理をしたからだと思う。学級崩壊などの教育界の荒廃・政界の腐敗には憤りを感じる。来年頃から、神戸市内各所で辻説法に立とうかと思っている。〈ご本人の波瀾万丈の人生を描かれた原稿やその他の資料を「読んでみて下さい」と渡されたのでお預かりした〉。（77歳、2人暮らし、担当：矢菽）

・最近、股関節の筋肉痛と膝に水が溜まり、歩く事ができず…3日程入院していた。今は何とか歩けるようになった。この前揺れた時、怖くて外に飛び出していた。恐怖心がこびりついているようだ。〈建物は丈夫に出来てますよ。念の為に枕元に懐中電灯を置かれては…〉少しは安心した。（79歳女性、一人暮らし、担当：福本、長船）

・体調も良くなってきました。妻が亡くなり、1年3ヶ月になります。何事も妻任せだったが、料理も少しずつ慣れてきた。近所に助けてもらっているが…迷惑掛けないよう頑張っています。孤独で長生きするのは辛い。友達が来て賑やかにしてくれるが、帰った後はその反動で…余計に淋しい。酒は飲むけど、テレビとか好きなものがいっぱいあるので、溺れる事はないです。それに自分の限度を決めて飲んでいる。私の話は愚痴で…自分の幸せな頃の事ばかりやけど。〈金婚式の賞状を見せて頂く〉。震災以降、みんなの気持ちが荒んでいるような感じがする。（76歳男性、一人暮らし、担当：福本、長船）

[一般公営の空き家募集入居者]

〈母〉地震までは元気だったけど、この頃はすっかり足・腰が弱って、通院以外は外へ出ない。週2回、膝の水を抜いてもらう。〈娘〉去年から今年にかけ入院していた為、転居が遅れた。仮設の時は隣の人とよく話をしたが、ここでは付き合いがない。毎月1回の大掃除やゴミステーションの清掃は、回覧板が来て知る。役員とか世話役はいないとの事だ。仮設で一緒に過ごした人達とも、つながりはなくなった。〈エレベーターのない建物の4階に住まわれているが、特にご当人達に不満はないようだ。しかし老人世帯に住まわせるのは、無理があると感じた〉。（90歳、3人暮らし、担当：田尻、小林（弘））

・復興住宅（公営）を何度申し込んでも当たらず、仮設に3年半おった。被災時生き埋めになり、膝を痛めた。手術をしたが、「石の粉のような物が入っている」との事で、今でも松葉杖をついている。また頭蓋骨の病気で、すぐ物を忘れる。食事をした事や、買い物で同じ物を2個買っていたり…。同じ仮設で親切にしてくれた老夫婦に再会し、「遊びに来て」と言われたが、部屋に戻ったら名前も部屋番号も忘れていた。目も痛むが、通院してもよくなる。時々めまいがし、いつ倒れるかわからないので…不安。近所の民生委員さんが「具合悪うなった

らいつでも電話して」と言ってくれるが、いつも夜中なので…言いにくい。ケアライン119を申し込んだが、つくのは来年。トイレ・風呂には、手すりをつけてもらう事になった。子供が公営内で自転車やスケートボードで遊んだり…棒で手すりを叩くなど騒がしく、1階では窓も開けられない。また仮設ではよう話をしたり…おかずを分け合ったが、ここでは挨拶してもキョトンとしている。(67歳女性、一人暮らし、担当：田尻、小林(弘))

・いつも、入口の戸を少し開けている事が多い。〈「こんにちは」と声をかけると、丸々と太ったかわいい犬が入口まで出てきた。入口を開けていても用心が良いはずだ…。当時まだ1歳だったこの犬が、しきりに寝ている私を起こすんです。起きた途端…激しい揺れで逃げ出した。最近地震が多いので、その度に犬も私もビックリする。今も入眠剤を飲まない寝れない。ここへは5回目できるよう入れた。(73歳女性、一人暮らし、担当：原、鹿島)

・顔色が良く元気そうに見えるが、前立腺と狭心症・高血圧の持病に悩まされている。血圧はイライラすると、すぐ200近くまで上がる。前立腺はずっと治療を続けているが、具合の悪い時は眠れない。妻は病気で25年前に亡くなった。娘が月一度くらい来てくれるが、2人とも病気を抱え手術しているので…心配だ。建物の構造もあって、住民と一日中顔を合わせない事が多い。自治会がなく、人が寄り合う機会もない。家賃格差(被災者支援制度で入居後5年は、収入によって家賃軽減が受けられる)の為か、他の住民から白い目で見られているように感じる。仮設の時も「ただでいいな」とか「甘えている」などと言われたりしたが、解ってもらえないのが辛い。〈入居前に改装工事があったようで、建物の古さの割には部屋は明るくきれいだ。ケアライン119をお勧めした〉。(83歳男性、一人暮らし、担当：原、鹿島)

9月11日

[復興住宅]

・左膝に水が溜まるので、薬で散らしている。内臓と骨は丈夫。漁師町で生まれ、幼い頃から小魚を食べていた為か、腰が曲がるとか痛いという事もない。買い物を駅の近くですが、帰りは荷物を下げてバスに乗れないので、タクシー(¥1,040)を利用する。エレベーターがあっても、ここまで上がってくるのが大変。〈ダイエー・コープの宅配資料を渡し、説明をする〉。息子達は同居を勧めるが、一人の方が気楽だし慣れている。ただここでは話す人がいないので、寂しく思う事もある。同じ仮設から移った人も何人かいるが、行き来はない。(80歳女性、一人暮らし、担当：松嶋、小林(好)、矢萩)

・今日は来るというので、2時半頃から待っていた。ご近所の70歳と89歳方宅へお話相手として行っているが、一方的にお話を聞くだけなのでしんどい…。自治会がないので、交流する機会がなく…笑う事もない。また気軽に、家を訪ねる事もできない。若い人達はこういう場所に慣れてるから、何とも思わないのかもしれないが…。昨年12月から「被災地しごと開発事業」に行っており、少しは気晴らしになっている。しかし心臓が良くないので、仕事はしんどい。震災後の環境の変化がストレスになっている。特に仮設では…2軒だけ残され神経が参り、うつ病になりかけた。また主人の仕事(左官業)が少なく、年金ももらえないので、経済的に楽ではない。これから先の事を考えると不安になる。(65歳、2人暮らし、担当：松嶋、小林(好)、矢萩)

・この棟は話がまとまらず、自治会が出来ない為、隣近所のつき合いがない。こんな箱のような住まいは嫌だ。下町のようなふれあいのある街に住みたい。震災以前は、清掃(2時間程)

の仕事に行っていたが、足（関節炎）が悪いので辞めた。仕事をしている方がはりがあってよかつた。何か趣味を持ちたい。（73歳女性、一人暮らし、担当：金本、日野、清重、矢野、井手上）

・10年前に脳梗塞で倒れてから、車椅子を使用するようになった。〈ダイエー・コープの配達案内をお渡しし、喜ばれた〉。仮設のふれあいセンターは、楽しかった。今は隣の人とも余り話が出来ず、寂しい時がある。ボランティアが来てくれると嬉しい。また週2回のお弁当（ゆいまーる神戸）もおいしく、助かる。（69歳男性、一人暮らし、担当：川西、小波本）

・夫はヘルニアの手術で入院中。もうすぐ退院予定。毎日の看病に疲れ…本日は娘に交代してもらい、横になっていた。暑さがこたえている。私がしっかりしないといけないが…。〈やや顔色が悪く…ゆっくりとした足取りだった為、おいとまする〉。（78歳、2人暮らし、担当：小波本、川西）

・最近心臓がドキドキして調子が悪く、近所の方に来てもらっている。今日も「救急車を呼ぼうか？」と言われたが、病院に行っても点滴を打って返されるだけなので、断った。通院している病院でCTスキャンを撮る際、気分が悪くなり「止めて」と言ったら、係りの人に偉そうな対応をされた。区の保健課に相談すると、「病院を変えた方がいい。近日中に往診できる医者を探します」と言ってくれた。ケアラインは”命に関わるという診断書”がないので断られた為、民生委員を通じ非常ベルを依頼中。〈前回訪問の際、まとめ買いをしても帰りが大変と言われていたので、コープ・ダイエーの宅配資料を渡し…説明する〉。（76歳女性、一人暮らし、担当：松嶋、小林（好）、矢萩）

・潰瘍のため胃と十二指腸を全摘出し、その後遺症で病気がち。週3回点滴を受けに行く。今年の夏は暑かった。まあぼちぼち元気にやっています。（66歳男性、一人暮らし、担当：日野、井手上、清重（智））

[仮設住宅]

・名谷へ10月引っ越す予定。子供の修学旅行があるので、転居はその後にする事にした。転居後も又来て下さい。〈明るい元気な奥さんでした〉。（31歳、7人暮らし、担当：鹿島、佐沢）

・転居先決まらず。斡旋で良い所を紹介してくれるが…。自分の病気や母の事を考えると、元住んでいた近くへ戻りたい。（31歳、7人暮らし、担当：鹿島、佐沢）

・お話を伺おうとしても、自分の言いたい事しか言われない。隣の家に入出入りしていると言われるが、入口はクモの巣が張っていて、その形跡はない。しきりに元住んでいた近くへ帰りたいと話される。（88歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、佐沢）

・身体が悪く通院中。13日に名谷へ転居予定。新しい所では声を掛けにくいので…寂しいと思う。今は公営名と7階としか分からないが、又来て欲しい。ここもあと2軒になった。〈当日、周囲で仮設撤去の工事が盛んに行われていた〉。（67歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、鹿島）

9月18日

[復興住宅]

・この棟に住む人は、大正時代から昭和十年代生まれの方が多く、仲良くやっています。買い

物は健康の為、運動がてら名谷まで歩いている。〈お久しぶりにお会いしたが、お元気そうなので安心した〉。(73歳女性、一人暮らし、担当：白岩、矢野)

・公営に移ってから、こうやって声をかけてもらえるのはうれしい。9月15日に集会場で、高齢者が300人ぐらい集まり、食事会などが行われた。いろいろ触れ合いができ、よかった。両隣とも親しくしており、玄関の扉はいつも開け放しにしている。その方が声もかけやすいし、風通しもいい。トルコの大地震をテレビで見ていると、あの時の記憶が蘇ってくる。同じ経験をしてきたので、被災者の方々は本当に気の毒に思う。移転して4ヶ月程になるが、ストレスのせいか…体調が余り思わしくない。持病(膝に水が溜まる)もあるので、今度診てもらおうと思う。夫は肝臓病で、今度手術を受ける予定。夫の仕事も、この不況で減っている。(68歳、2人暮らし、担当：柏木、矢萩)

・10日程前に部屋の中で転ばれ、入院中との事。〈隣の方にお聞きする〉。(71歳女性、一人暮らし、担当：柏木、矢萩)

・今年の夏は、扇風機でしのぐ事が出来た。ホームヘルパーさんが週に1回来て、手伝ってくれるので安心して居る。ここに入居してすぐ、市の水道局をかたる者から浄水器を買わされた。月々3,800円払っている。〈生活情報センターか区役所の相談窓口へ電話するよう、番号を伝える〉。(57歳男性、一人暮らし、担当：小田、福本)

・女の人に合わせたのか、流しが低く…男は辛い。若い時から喘息があり戦地には行かなかったが、空襲で逃げ回り、戦争の厳しさは身をもって経験した。自分で洗濯もし、食事を作る。ここでは隣の人と、話が余り出来ない。玄関をたまに掃除していても、そばを通る人は、ただ黙って通り過ぎて行くだけ…。ボランティアの人には、もっと来て欲しい。朝5時から、下の道路の…車の音が大きく、気になる。周囲が静かすぎる為かもしれない。(77歳男性、一人暮らし、担当：高山、小波本)

・〈息子44歳〉仕事がなくハローワークへ通っている。最近ケミカルシューズの仕事も機械化が進み、職がない。できれば同じ仕事をしたいのだが。セールスが来ると犬が吠えてしまうので、『セールスお断り』と扉に貼ってある。周りの迷惑になるが、とても捨てられない。(67歳、3人暮らし、担当：白岩、矢野)

・玄関横の部屋と居間にエアコンを取り付けたりと、引っ越しで大分お金を使った。収入は年金だけなので、今は節約している。ここで特に親しい人はいないが、エレベーターや外で会ったら話はする。胃下垂で通院しており、食事は1日4回に分けて食べる。散歩をしたいのだが…この辺ではどこを歩いたらいいのかわからない。(70代女性、一人暮らし、担当：柏木、矢萩)

・今週月曜日から急に腎臓が悪化した(もともと悪いが)。9月20日病院へ行く。透析の必要があるが、場合によっては入院かもしれない。うどんを食べても、すぐ戻す。とにかく尿が出ない。体がむくれ…外に出る元気もない。仮設にいる時よりも不安な毎日になるとは、思わなかった。この頃は寂しさというより、空しい。〈時々電話するなど、ケアが必要と思う〉。(50歳男性、一人暮らし、担当：高山、小波本)

・入居当時は幻想病というか、気分が落ち着かず大変だった。バスに乗って友人の所へ行き、話をすると調子が良くなる。ボランティアさんが来てくれて良かった。(？歳女性、一人暮らし、担当：高山、小波本)

・去年5月に入居。近所付き合いはよく、大して寂しくない。問題は早朝の駐車場でエンジ

ン騒音である。長所は周りの景色がよい事。(？歳、？人暮らし、担当：東條、佐沢)

9月25日

[復興住宅]

・仮設ではいろんな事があった。ケンカはしょっちゅう。それでも皆で、署名を集めて駅からのバスの便数を増やしたし、カラオケの機械も買った。先週日曜、この公営全体の自治会がようやくできた。但し独自に活動している棟(自治会)は除いてだが…。自治会といってもいろんな人がいて、難しい。それにみんな仮設から来た人やけど、互いに無関心な感じだ。入居の際、換気扇のセールスが来たので買ったけど、この前来た時は断った。水道の水を調べるとかいうのも来たけど断った。(63歳女性、一人暮らし、担当：柏木、小林(弘))

・〈妻〉震災後…気管支を悪くするなど体調を崩し、やせてしまった。〈夫〉地震の事は口で言ってもわからないと思い、壊れたテーブルやテレビを記念に置いている。仮設の時はいろんな人がボランティアに来てくれた。岡山の高校生や新潟の看護学生など…。今でも、毎年1月17日になると、来てくれる人がいる。買い物は、コープの購入品の宅配システムを利用している。30年前に中風で左半身不随になったが、口は達者。公営に来てからも色んな人に声を掛けている。『何でも自分で経験して、勉強する事が大切や』。ボランティア以外でもまた来てな。(70歳、2人暮らし、担当：青木(慎)、矢萩)

・2階が落ちてきて下敷きになり、10時間後に救出された。周囲の人は皆即死だった。避難所で、腰の骨が折れているのに気付かずにいた為、その後何度も入院する羽目になった…。入居手続きをする場所は車椅子では危ないので、杖をついて行ったら…「あんたは大丈夫」だからと、2階にされた。1階であれば楽に出入りが出来ていたのに。月2回、西神中央の医療センターへ行き、そのついでに買い物をする。タクシーを利用する為、お金の支払いが大変。「皆と話をしに、外へ出てきたら」と言われるが、大勢の人がいる所は疲れる。(70代歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、福本)

・元住んでいた所に戻りたかった。でも、ここはシルバーだがすぐ当選し、入居出来たのは良かった。台湾で生まれたが、戦後日本へ引き揚げた。戦争で家をなくし、また地震で家をなくした。地震当日、母(95歳)は田舎にいて無事だった。でも昨今母は呆けるようになり、徘徊するので目が離せない。(71歳、2人暮らし、担当：鹿島、福本)

・近くに子供が住んでおり、頻繁に来てくれる。震災の時東京から来てくれたボランティアや、週ボラなどに、感謝しています。震災まで働いていたので、周りの事や年金・福祉などは、余り考えなかった。しかし震災がきっかけとなり、人の事も考え…感謝するようになった。今は敬老乗車券を使って、病院や友人の所へ通っている。明日は友人(寝たきり)宅へ、お団子と手作りの枕カバーを届ける予定です。夜8時に寝て、朝5時前に起き、朝日や月を拜んで自然と共に生活しています。(82歳女性、一人暮らし、担当：長船、小川)

・〈仮設名をお聞きし、以前会長だった方の最近の様子を話すと…〉仮設では仲が良く、以前から電話しようと思いつつ…出来ずにいる。昨今仕事が減って、困っている。またトルコや台湾などで大きな地震が起き、夜中に突然目が覚めるようになった。最近和歌山で地震があった時も、自分の体が揺れているように感じた。〈一見たくましそうな体から、デリケートな話をお聞きする〉。(74歳、？人暮らし、担当：福本、鹿島)

・大工をしていたが、脳梗塞で右半身不随(平成2年)となり、障害は1種1級。地震の時は

ドアが開かず、翌日助け出された。家族はいない。市街地の地域センターへリハビリに通うなど、平均週2回出掛ける。車椅子で、どこへでも行くし、普通の人より速い。手は使えんけど…左脚で蹴って進み、上り坂は後ろ向きに登る。掃除は自分で出来るので、ヘルパーさんは頼んでいない。脳梗塞は電動車椅子がもらえない。(59歳男性、一人暮らし、担当：柏木、小林(弘))

・震災時市街地で旅館をしていた。4畳半位の部屋に額やら置物が一杯あったが、何も落ちてこず、けが一つしなかった。お客さんもけが人が出ず、良かった。孫と親戚(大阪)宅へ疎開し、4月に神戸へ帰ってきた。その間に旅館は廃業。洋品店をしている息子一家と同居していたが、仏壇に線香をあげると匂いが移るため、ここ1年は友達のマンションに居候していた。でも息子は不況で店をたたみ、今は勤めに出るようになった。仮設に住んでいなかったのに、よく当たったもんや…と喜んでいる。夜になると明石大橋の夜景がきれいですよ。買い物のもいいし、風通しもいい。夫の姉が近くの棟にいますが、他の人とは挨拶する位です。(60代女性、一人暮らし、担当：柏木、小林(弘))

10月2日

[復興住宅]

・震災前から体調が悪い。こちらへ来て病院を変えたが、先生が何も言ってくれなかった…。今は近所にあるクリニック希望へ通院し、安心している。ドアを開けておくと、インターホンも鳴らさずに、セールスマンが勝手に入ってくるので困る。(73歳男性、一人暮らし、担当：土屋、福本)

・94年9月に右足を手術で切断、12月に退院しすぐに被災する。通院にタクシーを使うが…公営の敷地内へ入れないので、乗車する時が大変。雨の日はずぶぬれになる。また車椅子で乗車できるバスは乗り降りに時間がかかり、トイレに行くのに不便だ。施設によっては、トイレが使いつらい所もある。先日、関東に住む弟が亡くなり、葬儀へ行こうとした。しかし、電車の乗り換えや乗車中のトイレなどを考えると、不便で周囲に迷惑を掛ける事を思い、断念。小用の時、右手が不自由なので、チャックの上げ下ろしが不便。自分の体が不自由になって、両手が必要と初めて気がついた。地下鉄のエレベーターの位置やJRの乗り換え等を知りたい。〈市交通局と地下鉄管区の電話番号をお伝えした〉。(72歳、2人暮らし、担当：横田、矢萩)

・9階からの眺めも良く、散歩に近くの公園へ行く。今は高層ビルなので、都会に住んでいる感じがある。(66歳、2人暮らし、担当：矢野、小波本)

・こんな家に住めて感謝している。南向きの家だし、夏も太陽の光が射し込まない。エレベーターに乗っていると、若い人が代わりに荷物を持ってくれたり親切にしてくれる。娘がよく訪ねてくれるし、ひ孫が可愛くて…。友人もいるし、今の生活はすごく楽しい。〈ご自分で作られたビーズの鶴や人形を頂く。とてもかわいらしい〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：矢野、白倉、井手上)

・今年7月30日にようやくこちらへ引っ越す事ができた。三木に住む娘が毎週日曜日に訪ねてきてくれ、ここには友人もおり、寂しくない。今のところ体は健康なので、一人でもう少し頑張ろうと思う。自分のペースで生活できる…これが長生きの秘訣だろう。戦争の時も大変だったけど、震災の記憶はやはり重い…。〈時間がなく話も途中になってしまい、また是非伺い

たいです)。(85歳女性、一人暮らし、担当：白倉)

・今まで電動車椅子(右手・右足が不自由)を使っていたが、最近近所の人から杖をもらい、歩く練習を始めた。杖をついて歩くのは難しく、左手で杖を持つが、踏み出した左脚と絡まってしまう。でもせっかかもらった物だし、周囲に教えてくれる人もいるので、練習します。ワープロを購入したので、各駅の手椅子マップを作ろうと思っている。画像を入れたいので、デジタルカメラ(CFカードタイプ)を欲しいが、5~6万円するので手が出ない。(66歳男性、一人暮らし、担当：横田、矢萩)

[仮設住宅]

・広い公園の中、たった一軒で暮らされ、「寂しい、怖い」と言われていた…。訪問すると転居されていたので…ホッと安心する。(88歳女性、一人暮らし、担当：小林(弘))

10月9日

[復興住宅]

・震災当時、私が脳梗塞で倒れ入院したので、家族は全壊になった自宅兼工場に居らず助かった。私も奇跡的に助かったが、方向音痴になり…困っている。お風呂を点火した事を忘れ、4~5時間わかしっぱなしにした事もある。家族は仕事に出掛けているので、日中は誰もおらず、暇で嫌!。回りはおばあさんばかりだし…。自治会費が高いので、生活保護とか受けている人には負担が大きいのでは?。(70歳、3人暮らし、担当：大河原、白倉)

・自宅が全壊になり、一時は何もする気にならなかった。住宅ローンも払い終え、自分のものになった矢先だったので、よけい悔しかった。でも、ローンの途中で全壊になった人や戦争の時を思うと、震災などに負けていられない。妻は大の花好きで、友人や隣人によく配っている。私は心臓の手術を7年前にし、ペースメーカーを付けているので、外に余り出ない。でも顔色が良いので、障害1級には見えないようだ。父が警察官で厳しく教育を受けた。今はありがたく思っている。(72歳、2人暮らし、担当：堂本、小波本、井手上)

・公的支援の運動に参加していたので、知り合いがたくさんいる。公的支援のような被災者にとって必要な政策提言があったら、みんなに呼びかけ運動をしていきたいと思う。チャリティーバザーやイベントを自治会と協力して、行って欲しい。(67歳男性、一人暮らし、担当：福本、柏木)

・足・腰が悪く、心臓病と喘息も患っており、近所のクリニック希望へ通院している。公営に来てから、2回緊急ブザーを押した事がある。午前5時頃押した時、1時間経っても…誰も来ず、這って隣の部屋まで行き、電話で救急車を呼んだ。昼はL S Aにつながるらしいが、夜間や早朝に駆けつけられないのでは、役に立たない。〈電話機へ延長コードを取り付ける事になり、5mを買ってきたが短かったので、来週10mに交換する予定〉。近くに妹がおり、10日毎に来てくれる。週1回のデイサービスは懐メロを歌ったり…食事をしたりと楽しい。またデイサービスで友達になった方と小物作り(飾り紐を5円玉・50円玉に巻き付け、鶴・亀を作る)もしている。あちこち悪いが気持は若く、元気です。(79歳女性、一人暮らし、担当：上野、矢萩)

[仮設住宅]

- ・「今月中に転居予定です」と笑顔で言われていた。(31歳、7人暮らし、担当：金本、川口、矢野)
- ・テレビ・新聞等で…全仮設の移転先が決まったように報道されているが、移転先は未だ決まっていない。(60代女性、一人暮らし・58歳女性、一人暮らし)
- ・12月中に自宅再建だが、市の方から…12月初めに一時待機するよう言われ、犬猫12匹を抱え…困っている。(66歳女性、一人暮らし、担当：金本、川口、矢野)

10月16日

[復興住宅]

- ・足・腰が悪く、心臓病と喘息も患っている方。先週お約束した…電話機をベッドの枕元に持ってくる為、10mの延長コードを用意し、取り付ける作業を行う。ステップで配線したが、少々不細工な仕上がりになってしまった。〈早朝…緊急ブザー(あんしんS)を押しても、誰も来てくれなかった件は、住宅供給公社営繕課へ確認すると、夜間は…各人が電話機に登録した方(親戚や子供)へ、呼び出しがかかるようになっており、説明書は入居時にお渡ししているとの事。NTTは有料ですが、設定に来てくれますと…。担当：若菜〉(79歳女性、一人暮らし、担当：岡田、矢萩)
- ・年いっているが…健康は良好で、2人とも元気です。近くにお店を作って欲しい。道向この公園で、夏休み期間中ラジオ体操があつて良かった。今はないので、また続けて欲しい。(？歳、2人暮らし、担当：露原、福本)
- ・血圧が少し高いぐらいで、特に問題はなく元気です。西神には震災前に一度来たことがあり、こんな奥の方にも…結構賑やかないい所があるんだなと思った。西区の仮設は、周囲に警察・郵便局・スーパーがあり、不便はなかった。また畑で色々な作物を作り、野菜は買う必要がないくらいで…楽しかった。公営でも楽しく過ごしています。他の棟では、建物の向きによって日が射し込まなかったり、建て付けが悪くドアの隙間が大きい、風呂の排水がうまく流れない等と聞きます。(70歳女性、一人暮らし、担当：岡田、矢萩)
- ・上の階に住んでいる方と仲が良く、その方と話をいっぱいして、ストレスを発散している。足が悪い為、駅近くにあるコープまで歩いて行くのが辛い。バスが欲しい…。仮設では隣がスーパーで、バス停もすぐ近くにあり、便利だった。換気扇の取り替えシートを売りにきた時は、引っかかってしまった。浄水器も来たけど、「月々1,000円で20年払い」と聞き、人見て物言いな〈笑〉と追い返した。(73歳女性、一人暮らし、担当：柏木、中澤)
- ・これから集会所であるカラオケに行く。歌うのが楽しみだ。北島三郎の「川」が十八番〈…と歌われた〉。以前はゲートボールもしていた。寒くなると足が痛む。(85歳、2人暮らし、担当：白岩、林田)
- ・外出する時も、家にいる時もドアを開けっ放しにしている。寒い時だけは閉めるが…。別に盗られる物もない。〈9月に廊下で倒れていた所を発見され、2週間程入院していたと近所の方にお聞きし、訪問する〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：露原、福本)

10月23日

[復興住宅]

・左半身不随だが、外出するのが好きで、この前もしまなみ海道へ行って来た。人間いつ死ぬかわからないので、明日の事を考えてもしようがない。私は今日の事しか考えない。妻と冗談混じりのケンカをしながら、毎日楽しい生活を送っている。〈震災当時の体験をおもしろおかしく話して下さった。何でもプラスに考えられる姿勢は素晴らしく、見習いたいと思う〉。(70歳、2人暮らし、担当：矢萩、林田、山本(由))

・仮設では、炊き出しをボランティアに何回もしてもらい、学生ボランティアも全国各地から来てくれ、とても感謝している。震災時、脊髄を圧迫され、郊外の病院に運ばれたが、当直医は内科医しかいなかった。交通事情が悪く、他の医師や看護婦はすぐ来れず、私や後から来ただけが人の手当を十分に出来ず…大変だった。トルコや台湾も同じだったろうと…気の毒に思う。後遺症で足が悪く、その後リウマチも患い、天気の良い日は節々が痛む。通院の時、タクシーを建物入口へ横付けできず(団地の外周に車止めがある)、車道まで歩かなければならない…足が痛む。また息子が時々来てくれるが、団地の周囲に外来者用の駐車場が無く、顔を見て…帰ってしまう。以前ここで、駐車禁止違反の罰金を取られた事があるので。(72歳、2人暮らし、担当：林田、矢萩)

・仮設住宅では知り合いがいっぱい出来たのに、公営ではなかなか出来ない。買い物不便。コープまで行くのが、とてもしんどい。(65歳以上女性、一人暮らし、担当：土屋、白岩)

・震災時、母と兄の子が亡くなった。とても辛い。仮設から転居する際(去年11月)、近所に…移転先が決まらない88歳と86歳のお一人暮らしの方がいて、とても気になりその後何度か様子を見に行っていた。88歳の方は、今年9月まで転居先が決まらず、心配した。(68歳、2人暮らし、担当：土屋、白岩)

・滋賀県の茗荷村のボランティアには、大変お世話になった。こちらへ来られるような事があれば、又お会いしたい。蛍光灯の豆球が切れてしまった。〈豆球の取り替えと蛍光灯カバーの洗浄を行ったところ、「今日は運が良かった」と言われ…喜ばれた〉。(60代女性、一人暮らし、担当：福本、赤西)

・心臓病・糖尿病でかなりの食事制限をしている。果物・野菜は水分が多く、カリウムが含まれているので食べられない。人工透析を希望しているが、クレアチニンが8.0mg(男性基準値：0.8mg~1.2mgのところ、現在7.3mg)にならないと受けられない。現在3カ所の病院に通っている。仮設の方が、住民同士に親近感があってよかった。今はまるで独房にいるようだ。(前回訪問の時、腎臓が悪化し…外に出る元気もないと言われていた。入院はされなかったようだ…。(50歳男性、一人暮らし、担当：柏木、中澤、小川)

[一般公営の空き家募集入居者]

・『ケアライン119』を設置しているが、時々ビーと警報音が鳴る。〈訪問する際、電話をかけたが「現在電話がつながらない状況になっています」とのアナウンスが流れており、お話を伺う迄わからなかった。消防署に電話すると、電池を交換するよう言われた〉。『ケアライン119』を設置時、何の説明も…取扱説明書ももらっていない。これでは、いざという時に困る。隣近所の付き合いもなく、一人であるから…時々淋しくなる。(67歳男性、一人暮らし、担当：小林(弘)、赤西、福本)

10月30日

[復興住宅]

・仮設にいた時は、ボランティアの皆さんに大変お世話になり…とても感謝しています。また久しぶりにお会いできて、感激です。しかもお花まで頂き…。最近、自分で元気を出すようにと心掛けています。気がかりはかかりつけの病院が移転となり、通院が大変になるの事です。

(67歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、青木)

・仮設で、よう4年も耐えたわ。人間…追い込まれたら、どこでも生きれるもんやね。有料老人ホームの見学にも行ったが、入居者に笑顔がなく…費用も高くつくので、ここへ入れて本当によかったと思う。入居から2ヶ月、周囲の街になれる為外出したり、いきがい塾(習字を習う)やボランティア講座へ、積極的に参加している。ビデオの録画予約をしたい。(…と言われたので、その場で予約セットを行う。次回訪問の際は、わかりやすく説明を書いて渡す予定)。

(69歳女性、一人暮らし、担当：中野、赤西)

・相変わらず足の具合が悪い。あまり動き回れない。(顔色が悪く(白い)、腫れていた。体調が心配です)。(70代女性、一人暮らし、担当：赤西、中野)

・眼圧が上がり、緑内障になる恐れがあるので、目薬をさしている。14年前に人工股関節を入れる手術をしたが、長い距離は歩けず、運動不足でどうしても太ってしまう。その上、人工股関節は15年ぐらしか持たない。もし手術をすれば、半年程入院しなければならず…大変だ。十数種類の薬を飲まなければならず、胃が荒れて…痛む。夜中に非常ベルを押しても、下の養護施設につながるの、安心だ。(69歳男性、一人暮らし、担当：鹿島、金本、青木)

・震災から5年目を迎えようとしているのに…。世の中は不況やリストラで、年収や年金は上がらない。それなのに家賃の値上がりなんて止めて欲しい。だまされたような感じがする。また神戸空港の建設をするぐらいなら、被災地や中小企業を、きちんと支援して欲しい。近くにボートの発券場ができ、警備員がいつもたくさんいるので、犯罪が減り助かっています。(71歳男性、一人暮らし、担当：福本、長船)

[一般公営の空き家募集入居者]

・一時待機の民間マンションを経て…7月下旬転居してきたが、床や柱は汚れ…部屋の中は異臭がしており、途方に暮れた。でも友達に手伝ってもらい、懸命に掃除をし何とかきれいになった。2ヶ月で2回の引っ越しはさすがに疲れ、しばらくは…娘の家で休養した。住民とはほとんど付き合いがない。JR線路に面している部屋では、電車の音(特に夜中のコンテナ車両は長く続く)がうるさいので、寝ない。もう一間は、窓を開けておくと、カーテンがすぐ真っ黒になる。でもいい所に住めたと思っている。リンパ腺が腫れる大病を患い、生死の境をさまざめた。今でも足がしびれたり、指先などにヘルペスが出ることもある。辛いことが多かったが、辛抱すればきっといいことがあると信じ、生きてきた。今が一番いい時だと思う。(仮設におられた時よりお元気で、安心した)。(62歳女性、一人暮らし、担当：石川、矢萩)

・いろいろな訪問者が多くて困っている。宗教勧誘・物売り等…。インターホンがないので、ドアを開けるしかない。のぞき窓も大きく(12cm×4cm位)、外から内がわかる。幹線道路沿線なので、暴走族が多く、騒音がひどい。日中でも、暴走車が走る。排気ガスがひどいので、夏…窓を開けておくと室内が黒くなる。あまり住み心地はよくない。また来て下さいね。〈のぞき窓の件は、マジックミラー方式か、のぞきレンズを付けられないか工夫する予定。電

話機の前に、『自宅や住所』を表示すると、緊急時あわてずにすむので、お勧めする。包丁を2本研いでさしあげた。〉(72歳女性、一人暮らし、担当：吉野、藤尾、白岩)

・元気だけれど、右目が見えなくなった。左目も悪いので、通院している。この辺は以前住んでいた事があり、知人も多いので助かる。また仮設からの知り合いもいるので、心強い。〈他の皆さんにもお会いしたいので、予告チラシを2枚お渡しし、他の方へも勧めて下さるよう依頼する。こたつの脚がぐらぐらしていたので、締めてさしあげたかった。冬季訪問時は、スパナ(口径13mm)か小型モンキー・六角レンチを持っていると便利だ。包丁を研いでさしあげる。〉(75歳女性、一人暮らし、担当：吉野、藤尾、白岩)

11月6日

[復興住宅]

・最近怪しげな訪問者が多く、警戒している。薬品・高額なマット・浄水器(20万位)・ふとん等…を販売に来る。保険でも、配当金を売り物にした会社がよく訪ねて来る。名札等、身分の分かるものがなければ、極力追いつ返すようにしている。この付近に自動販売機(たばこ・ジュース)がないから、作ってくれ!。(74歳男性、一人暮らし、担当：赤西、福本)

・万歩計を付けており、歩き足りないと思う時は努めて歩くようにしている。今日は息子が来てくれ、さっきまで近くの公園を散歩してきた。息子達は家が近いので、よく来てくれる。セールスは時々薬売りなど来るが、インターホン越しに断っている。〈念の為、介護保険詐欺に注意のチラシをお渡しし、説明する。来年90歳になられるとの事だが、本当にお元気そうでした〉。(89歳女性、一人暮らし、担当：井手上、矢萩)

・高血圧や痛風になりかけた事もあるが、薬を飲んでいるので、大丈夫です。娘は、朝早く出勤し帰りは晚遅いので、ほとんど話す事がない。掃除・洗濯・買い物などは、全て私がこなしています。「老眼大学」(60歳以上を対象に、歴史・文化等の教養講座が月2回)では、色々な話が聴け、友人にも会えるので…毎回楽しみにしています。6月にボランティアからいただいた鉢植えは、夏の間中きれいな花をたくさん咲かせてくれ、とても嬉しかった。空襲で家も財産も失い…着のみ着のまま四国の実家に帰り、神戸に戻れるまで夫と7年間の別居生活があり、辛い思いをした。金など持たなくても、ほどほどでいい。(83歳、2人暮らし、担当：井手上、矢萩)

・書道を教えに週1度、市街地まで行っている。自分は50を過ぎてから軽い気持で習い始めたが、ここまで来た。50~60歳ぐらいの生徒を相手に話をするが、自分より若い人と話をしないと…。2年前に妻が亡くなったが、せめて…この住宅で見送りたいかった。警報機などの使い方が分からない。←後日、説明に伺う予定。(83歳男性、一人暮らし、担当：柏木、辻野)

・この夏はビールもよく飲んだし、オーストラリア産のステーキ肉を2日か3日ぐらいの割合で食べていた。家の事を片づけたら、雨が降ろうが出掛ける。買い物でもカートを使わず、買い物かごを下げ店内を歩きます。健康だから出来るのですが…。気になる事は、地下鉄で若い人が年配の人に席を譲らない。また、女性をおばあちゃんとかおばさんとか呼ぶのは失礼です。気持はいつも若くいたいのですから…。(83歳女性、一人暮らし、担当：赤西、福本)

・この住宅は気に入っています。コープへ歩いて出掛け、帰りはタクシーを利用している。茶話会・食事会などのイベントにも、必ず参加しています。今日初めて、デイサービスにも行っ

て来ました。介護保険の手続きはL S Aの人をお願いした。〈お年を感じさせないほど、お元気でした〉。(77歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、辻野)

・仮設の頃の方が、話し相手が多かった。外を散歩するのが好きで、医者からも「リハビリの為歩きなさい」と言われている。買い物を兼ね、西神中央まで50分かけて歩く事もある。昨年3月頃から耳鳴りがしだして、耳鼻科に通院中。市街地に帰るつもりだったが、ここが当たった。今はこの環境に満足している。〈一人暮らしの方も気軽に参加できる催しが、もっと必要なのでは…と思った〉。(71歳男性、一人暮らし、担当：白岩、川口、林田)

[仮設住宅]

・生活再建本部を仲介し、住宅を探している。病院の都合上、もと住んでいた地区を希望しているが、昨日…市の人に来て「希望がかなえられそう」との事。近日中に、よい知らせがあるのでは？。(58歳女性、一人暮らし、担当：柏木、辻野)

11月13日

[復興住宅]

・全盲に近いが、作曲活動を続けている。一番重要なのは金やけど、その次に大事なのが『心を癒す』こと。〈作曲した『つる』などを歌って頂き、曲作りの背景や関連するお話も伺った。音楽や芸術を通し、表現者の輪が広がれば良いなと思った〉。(62歳、2人暮らし、担当：長船、中澤)

・近所に話し相手がいない。でも一人暮らしには慣れており、それほど寂しくない。人工透析の為、週3回通院している。透析は5時間横になったままで、トイレにも行かれない。翌日は、体がしんどい。でも受けなかったら、一週間以内で死んでしまう。(？歳女性、一人暮らし、担当：中澤、長船)

・良い所に住めましたが、やはり買い物に時間がかかります。寝たきりの母(88歳)がいるので…。市街地に住んでいた時のように、用事が一度に終わらせる事が出来ず、残念です。いつも心にして頂き、有り難く思っております。(52歳、2人暮らし、本人自筆)

10月中旬、母が危篤になったが、何とか持ち直した。介護で母を抱きかかえての移動が多い為、両腕が痛く…物をぶら下げて持てない。名谷のダイエーは、店内のカートを駐車場(車)まで持っていけず、とても不便。入居当初は色々なセールスが来て大変だった。玄関からどんどん居間まで上がり込む人もおり、在宅時もカギを閉めておくように言われたのが、よく分かった。〈『火事・救急は119』のステッカーと介護サギのチラシをお渡しすると、「母の救急の際、110番へかけた事があって…貼っておきます。ありがとうございます」とお礼を言われた〉。(担当：矢萩)

・足の付け根のリンパ腺が腫れ…しばらく入院していたが、今度は胃が悪くなった。父親が胃潰瘍で亡くなっているので、悪くならないよう、周囲に迷惑をかけないように治していきたい。娘が時々車で来てくれ、買い物に連れていってくれる。(78歳、2人暮らし、担当：矢萩)

・2日に1回は、三宮・元町方面へ足を運んでいる。たった今も総合運動公園に行ってきたところだ。よく外出をするのは、うつ病を防ぐ為。三宮・元町は、地震前を知っている者にとってめまぐるしく変わってきている。(？歳女性、一人暮らし、担当：亀井、鹿島、矢野)

・住宅内行事は色々行われているが、仮設住宅仲間がかたまってしまう、話すチャンスが出来

にくい。食事会で食べ物を口からこぼしたり…普通に動けないので行きにくいという方の為、お弁当を部屋まで届けてくれたら有り難い。以前紹介してもらった散髪サービス（1,900円）を利用しています。ようやく近所の方一人と仲良くなり始めた。〈以前に比べ顔色がよくなられ、声も大きく感じられたが、体重は余り増えていないようだ。予告チラシと『火事・救急は119』のステッカーを、お友達にもとお渡しする〉。（72歳女性、一人暮らし、担当：福井、白岩）

・仮設で色々無理したせいか、こちらに来てから…心臓を悪くした。でもじっとしていると、かえって良くないので、名谷駅付近の割と平らな所を、少しずつ歩いてみようと思う。区役所からボランティアが週2回見に来てくれる。食事会のお弁当は量も味付けも丁度よく、450円の価値はあると思う。ここは近所付き合いもいい。隣の奥さんは入居した時から、よく面倒をみしてくれる。私も隣の男性が具合悪いようなので、ベランダからちょくちょく見るようにしている。〈来週お花を届けましょうかとお聞きすると、「花は好きだが、ここでは日差しの関係で育たない」と残念そうに言われた〉。（64歳女性、一人暮らし、担当：佐川、矢萩）

・胃を半分、内臓もあちこち切っている。結核で右肺も3分の1切除。週3回点滴を打ち、何とか元気になるがそれでもしんどい。病院へ行くのは、半日仕事だ。保健婦さんが月1回訪問してくれる。近所付き合いは結構ある。でも楽しみは特にない。元気になったらやりたい事は色々あるけど…。（66歳男性、一人暮らし、担当：佐川、矢萩）

・〈先週、警報機の使い方が分からないという事なので、説明に伺う〉。各部屋にある警報ボタン等を確認すると、一旦押した警報を玄関にある解除ボタンで取り消しできるようになっていた。時々テストするようにと書かれていたので、その旨と操作方法を伝える。但し警報ボタンを押した際、この棟全体に鳴り響くのは分かるが、緊急の連絡先がどこになっているのかは不明。←住宅供給公社へ確認すると『あんしんS』が設置されており、取扱説明書も入居時に渡してありますとの事。後日訪問し、緊急時に身内へ通報できるよう、電話機が設置されているか確認する予定。（83歳男性、一人暮らし、担当：鹿島、矢野）

[一般公営の空き家募集入居者]

・胃の手術をし、2日前に退院したところ。起きあがるのもしんどい。〈…との事で、すぐ帰りました〉。（73歳、2人暮らし、担当：福本、辻野）

・『ケアライン119』を設置してもらったが、使い方が分からない。同じくペンダント型の物も渡され、「外出する時は、必ず持って出掛けて！」と言われたけど、ボタンを押したらどうなるのか？←NTTへ確認すると、ペンダント型を使用できる範囲は、親機から100m以内との事。後日ご本人へ、説明に行ってくれるよう約束する。実行されているか、再度確認を取る予定。あの時地震で死んだ方が楽やった。完全に生き埋めになってたからな。4時間ぐらいで助け出されたが、隣の人は即死だった。もうすぐ5年、あつという間でした。（67歳男性、一人暮らし、担当：猪上、赤西）

・母（90歳）が、退職金としてもらった100万円を、姉が銀行に入れていた。ところが姉が亡くなり、どこの銀行に入れてたのか…通帳などもなく、分からない。〈お母さんはその事をかなり気にしておられた〉。私も詳しい事は知らず、とりあえず心当たりの銀行に行ってみたが、だめだった。でも、また探してみます。母は耳が遠く、肩凝り・膝痛などあるが、内臓は元気。食欲もある。〈『火事・救急は119』のステッカーをお渡しする〉。（59歳、3人

暮らし、担当：福本、辻野)

11月20日

[復興住宅]

・腰痛で電気をかけているが、あとは悪いところはなく元気です。近所とは挨拶する程度で、特に親しい付き合いはない。孫達がよく来てくれるし、外出もよくするのでストレスはたまらない。(76歳女性、一人暮らし、担当：柏木、矢萩)

・ここに住んでいて要望といえば、『買い物が不便なので、それを解消できないか』という事。移動販売(八百屋)が来るが、いつ来るのか曜日や時間が分からない。コープの個別配達体が動かなくなったら利用するつもり。(75歳女性、一人暮らし、担当：赤西、寺口)

・脚を痛め、名谷駅の病院へ通っているが、2時間待ちはしんどい。(70代女性、一人暮らし、担当：赤西、寺口)

・公営での行事には、できるだけ参加するようにしているが、親しく話せる人がなかなかできない。朝もラジオ体操にも行き、できるだけ人と話すよう心掛けています。夫の仕事(左官)はほとんどない状態で、生活は苦しい。朝早く長田へ行き、奉仕のような形で仕事をしてくる。そのうち仕事になると思っ…。(65歳、2人暮らし、担当：柏木、矢萩)

・ここはペット禁止だが、飼っている人がいて、よくベランダからネコが侵入し窓にぶつかっている。ペットがいる為か、ノミが多く、隣近所で申し合わせ、バルサンを焚いたところもある。階上からゴミを投げ捨てる不心得者もいる。(73歳、2人暮らし、担当：矢野、福本)

・バイクの音がうるさかったが、最近警察の取り締まりがあったのか、静かになった。食事会やふれあい喫茶があり、楽しい。移動販売も月曜から金曜まで来てくれる。(75歳女性、一人暮らし、担当：矢野、福本)

11月27日

[復興住宅]

・ここにきて3ヶ月、生活にも慣れた。家は日当たりも良く、ゆったりとしている。交通の便も良く、待ち続けた甲斐があったな…と思う。でも非常ベルが1カ所しか設置されておらず、押しても玄関前のランプがつくだけ。人通りも少ないので、本当に誰か気付いてくれるのだろうか?。仮設の方が賑やかで良かった…。明日から集会場で喫茶店が始まるが、行かないと思う。隣の人とも、あまり話さない。以前、親切な人がゴミ当番を代わってくれたが、「あんた何甘えてんの!」と怒る人がいて困った。あまり考えないようにしているが、やはり気になる。最近血圧が上がってきた。(67歳女性、一人暮らし、担当：柏木、白倉)

・母は震災以来、目・耳が悪くなり…痴呆の症状も出てきた。デイサービスへ週2回通っているが、来年4月から導入される介護保険では、出費が増える事に…。今はどうこう困る事はないけど、何にしても意欲がわからない…。仕事を探さなければと思っても、母の介護があるので…。涙が出そうな時もあります。母をホームにでも…と思うけど、1~2年待たなければなりません。また、面倒みきれなかった…と、後悔をしたくない気持ちもあります。毎日、4時間くらいの睡眠時間です。この震えはアルコールのせいでしょう。年金も少なく、母を送ったら、もうどうにでもなれと思っ…ています。仮設にいる時は『公営への入居』という希望があったが、今は何もする事がない。母も歌が好きでしたが、ここに来たら歌わなくなりました。仮設では、

ボランティアの訪問も頻繁にあったが、今はない。(51歳、2人暮らし、担当：鹿島、柴原)
・ここはいいですよ。仮設より広いし…。でも震災時より、今の方が苦しんでいます。夫が亡くなり、息子は県外の高校におり、一人ぼっちです。身体も弱り、仕事(土・日にある)の疲れが、なかなかとれない。今は自分一人で頑張らねばならず、夫が生きていてくれたらと思います。新婚時に買ったタンスは傷だらけだけど、思い出の品で捨てられません。ここに来てからも、布団で何度も泣きました。でも姉に怒られるんです。「いつまでもクヨクヨ考えて…」と。引っ越しなど、東京のボランティアさんに大変お世話になりました。(56歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、柴原)

・〈テレビのチャンネル設定を依頼され、映るようにしたところ、大変喜ばれた〉。水墨画を描いたり、植物を沢山育てている。またカラオケ教室やいきいき仕事塾にも行っている。仮設では、隣の方が夜中にわめいたり、壁を叩いたりして苦痛だった。体調が悪くなり、救急車で2回運ばれた事も…。その方が昨年9月に引っ越したのでホッとしたら、行政から追い立てられ、11月に一時待機で転居する事に。その家も、震災でよくつぶれなかったと思うほど…ひどい所だった。公営に来てからは安心したのか、夏から4kg体重が増えた。『ケアライン119』を設置しており、『安心カード』も所持しています。(60代女性、一人暮らし、担当：赤西、矢萩)

・58歳の時、脳梗塞で3年半入院。現在も後遺症の為、左半身がマヒしている(車椅子を使用)。また胆石・糖尿・狭心症があり、障害2級である。前回退院した後、しばらく施設にいたが、全盲の夫婦が歩道橋を渡っている姿を見て、自分も頑張ろうと思い自立した。週2回ヘルパーさんが来てくれ、ボランティアの男性もよく来てくれる。火曜からはデイサービスも利用する予定。この辺は、外食する所が少なく不便。でも何とか暮らせるので、それほど不満はない。ただ神戸空港を作る金があるなら、もっと福祉にお金を使ったらと思う。〈外部の人と話す機会がないからと、訪問を喜んで頂きました〉。(69歳男性、一人暮らし、担当：矢野、小田)

[仮設住宅]

・健康上のトラブルが多く、今でも口腔整形外科など4ヶ所の科へ通院している。他に住んでいる人もおらず、しかも両隣まで解体が進んでいる。通院の事を考え、公営入居を考えていたら、こんな結果になってしまった。こうして自分だけ取り残されてみると、とても寂しいし、また物珍しそうに見られ…とても嫌だ。市から仮設転出を強く勧められている。もうすぐ、引っ越しになると思います。〈ご本人は完全には了解されていない様子でした。翌日、電話があり「月曜日にカギを受け取りに行く事になった。留守の間に解体業者が外に出ている荷物を持っていったらどうしよう」とのご相談。時間がないので、とりあえずすぐ伺う。ロープで荷物を固定し、目に付く所に『荷物を持っていかないで下さい』と書いた段ボール紙を貼る作業をした。「ありがとうございます。火曜日には引っ越しになると思います…」と言われていた〉。(60歳女性、一人暮らし、担当：白岩)

12月4日

[復興住宅]

・母(95歳)は、もう5年も入退院を繰り返しているが、週1回は見舞いに行くようにして

いる。仮設と違い、部屋はすごしやすく…不自由はない。歌が好きで、仮設ではカラオケ大会で優勝した。〈今日は“花”や“カチューシャ”などを歌われ、訪問をととても喜んで頂いた〉。

(58歳男性、一人暮らし、担当：白倉、小波本)

・建材や接着剤などの臭気には敏感。公営でもベランダの換気扇を回しているが、空気の対流が悪く玄関の扉を少し開けている。ぜんそくを患っているが、1日20～25本のタバコは止められない。ここは買い物が不便。近所で建設中の建物があるが、何だろう？。スーパーでも、できるといいのだが…。妹夫婦が近くにおり、行き来している。ボランティアも、週1回訪問してくれる。でも、家ではテレビを見るくらいしか楽しみがないので、できるだけ人と話したい。(77歳男性、一人暮らし、担当：日西、井手上、矢萩)

・ツタの枝で輪や扇を編み、花などを差してクリスマスや正月用のリースを作っている。作品のヒントは東急ハンズの広告などから得ており、材料は山や野原にある植物を取って使う。仮設の時は近くに市所有の山があったので調達が楽だったが、ここでは勝手に取れる場所がないので難しい。妻は宝くじの外れ券を使い、フクロウの置物を制作中。人にあげ、喜んでもらえるのが嬉しい。それに、手仕事をしていると気が紛れるし…。妻は震災後足が不自由になり、しばらく車椅子の生活だったが、今は手押し車で歩けるようになった。私達が出る時、残り3～4軒だったので、入居を心待ちにし…何回もここを見に来た。仮設を出るまでの半年は長かったが、公営での半年はあっという間だった。(84歳、2人暮らし、担当：井手上、矢萩)

・年齢制限で落とされ、なかなか職が見つからない。三宮の職安に行く交通費が、往復1,000円かかり大変だ。心身共に滅入ってしまう。地震直前に職場トラブルがあり辞めたが、結局退職金ももらわずじまいだ。(44歳、3人暮らし、担当：柏木、矢野)

・この場所は騒音がすごく、空気も悪い(カーテンが真っ黒になる)。右肺の一部を切除しているので、定期的に通院し、点滴を受けている。状態は良くなったり、悪くなったりだ。世話をしてくれる人がいる…。余り迷惑をかけないようにしてるが、いざという時には、頼らせてもらおうと思う。〈震災の事など、色々と話して下さった。『安心カード』と『ケアライン119』のステッカー、『まけないぞう』を差し上げた〉。(73歳男性、一人暮らし、担当：福本、辻野)

12月11日

[復興住宅]

・住み心地がよく、とても満足しています。段差がないし、何よりも家賃が安く、日当たりもいい。何かあった時の事を考えて、近所の方に合い鍵を預けている。今まで病気をした事がなく、精神的には40代！。『友達ができない』と、嘆いていてもダメよ。自分から考えていかないと。〈「同じ仮設の方が多く、心強い。」と言われていたが、「長く引き留めてゴメンな。今日誰ともしゃべってないから…。またいつでも来て下さい」と話された。生け花が趣味だとの事で、部屋のあちこちにお花が飾ってありました〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：柏木、白倉)

・息子は、『しあわせの村』にある作業所へ、バス・地下鉄を乗り継ぎ通っている。しかし車椅子なので、朝7時13分のバスに乗れなかったら、作業所へは…もう行けない。スーパーや銀行がないので、不便。(67歳、3人暮らし、担当：白井、福本)

・三橋美智也・美空ひばり・東海林太郎が好きで、よく聴いている。〈何曲か歌われ、「たく

さん持ってるから」と5～6本のテープを頂く。写真を撮るのが趣味との事で、加西のフラワーセンターや金閣寺の写真を、飾っておられた。〈71歳男性、一人暮らし、担当：白井、福本〉

・震災前からの…親しい友人が、私の近くに住みたい、近所の公営へ転居した。ところが引越しなどの心労が重なったのか、入居後10日位で病に伏し、3週間前に亡くなってしまった。元気な人だったので、信じられない。ショックで何もする気になれなかった。でもクヨクヨしても仕方ないと思い、新年用に龍の絵（色紙に布を貼る）を作り始めた。少しずつ立ち直ってきていると思う。仮設で手芸を覚え、色々な物を作っています。近所に甥がおり、行き来はよくしている。〈製作中の龍の絵を見せて頂いたが、その時の表情は生き生きとされ、作るのが楽しくて仕方ないという印象を受けた〉。（70代女性、一人暮らし、担当：曾我、矢萩）

・2年半前にタクシーを降りる時、腰を扉で打ち…痛めた。階段を下りる時が、不安。兄弟はおらず、親しい身内もない。でも長田に友達がいるので、正月には遊びに行くつもり。ここではお隣と話すくらい。文句は色々あるが、言ってもキリがない…。戦争に行ったので、ちよつとくらいの事ではこたえない。酒は好きだが、飲み過ぎると胃腸に良くないので、断酒するなど…自分で調整している。〈『火事・救急は119』と『安心カード』を、お渡しした〉。

（71歳男性、一人暮らし、担当：曾我、矢萩）

・遺伝性の糖尿病で、心臓もよくない。公営に来てから、左膝が悪くなり、おまけに玄関先で転び…左手も腫れている。救急用の手帳は持っていますよ。訪問看護婦が週2回来てくれ、買い物もしてくれる。運動をしなくてはと、いつも玄関前の通路を行ったり来たりしています。また月1回は、板宿まで買い物に行ったり、友達に誘われ遊びに出掛ける事も…。行事には参加してません。食事会の時も、お弁当を届けてもらいます…。また来て下さいね。（70代女性、一人暮らし、担当：曾我、矢萩）

・今年の6月、体に水が溜まり入院。また9月にはガンが発見され、再入院し、先月退院したばかりです…。放射線治療で火傷をし、抗ガン剤で毛が抜けた（震災前にも、ガンで入院した事がある）。月に一度は病院へ通うが、体重も回復、顔色も良くなってきた。買い物や洗濯等は自分でやっています。また上の階に住んでる友人が…毎日様子を見に来てくれ、隣の方も親切です。ただ、それ以外の近所付き合いはありません。孫（20歳）の花嫁姿を楽しみに生きているようなものです。〈と言われたが、病気を感じさせないぐらいお元気。靴や服もたくさん持っておられ、おしゃれで意欲的な方でした〉。（66歳女性、一人暮らし、担当：佐古、辻野）

・元気でいられるよう、なるべく歩いています。首が悪く…整形外科にかかっている以外は、特に問題はないです。仮設の延長みたいなのが嫌で、余り…近所付き合いは、したくない。でも、行事にはなるべく参加するようにしていますが…。10月に換気扇の訪問販売が来て、「隣もやってますから」と上がり込み、フィルター（10枚入り・4,000円）を買わされた。

「隣も…」と言われたら、断れない。「12月に、点検に来ます」と言っていたが、その時は断るつもり。今日、駅前で週ボラのレクチャーを聞き、訪問販売注意のチラシを見て…『なるほど』と思った。仮設で、主人を亡くしました。週ボラにも訪問してもらい、色々とお世話になりました。（68歳女性、一人暮らし、担当：曾我、矢萩）

・肝臓病から足が悪くなり、杖を使用しています。公営に移転してから、急に悪化した。被災後、大阪と京都にいる姉妹の家で世話になり、そこからここへ入居しました。近くにいる甥と

行き来はあるが、公営での付き合いは…余りない。言葉遣いが丁寧すぎて、つきあいにくいと
言われるが、そんな事言われても…。(70歳女性、一人暮らし、担当：曾我、矢萩)

12月18日

[復興住宅]

・共益費と家賃が、別払いになっており、不便だ。一緒に引き落とししてもらいたいのだが…。
駅からのバスは、本数が多いけど、利用客も多く…いつも混んでいて、困っている。〈後日、
利用されているバス停を通る、他のバス路線を詳しく調べ、お伝えする予定。『安心カード』
と『火事・救急は119』のステッカーをお渡しする〉。(78歳、2人暮らし、担当：長船、
柏木、福本)

・上の階より『コンコン』と音がし、気になって寝られず、心臓もますます悪くなり、入院を
した。最近音は減ったので、少し…ホッとしている。上の部屋の人には、会ったことがない。
〈私達が調べに行ったが…表札もなく、人が住んでいる気配もなかった〉。県外に住んでいる
子供が「一緒に住もう」と言ってくれるが、小さい孫の面倒をみる自信がない。もう少し、自
分の体力に自信がついてから…と思っている。(60代女性、一人暮らし、担当：小田、赤西)
・腰の骨がずれており、長時間立ってられず、長くは歩けない。働きたいが、こんな状態
では仕事も限られてくる。家で、できる仕事を探しているが、今時なかなかない。この棟は『準
シルバー世帯』となっているようだが、LSAや福祉の方達があまり来ない。高齢者などの要
訪問世帯が、かなり住んでおられるのに…。震災時の『心のストレス』は、今になっても…出
てくるんですね。〈と、涙ぐまれておられた〉。(50代、?人暮らし、担当：赤西、小田)

12月25日

[復興住宅]

・古い文化住宅は一部損壊で、雨漏りやドブの臭いが上がってくるなどしたが、家賃が安い
ので、我慢してきた。昨年友人から聞き、一般公募で市住に申し込んだが、なかなか当たらな
かった。2ヶ月前、ようやくこちらへ、転居する事ができた。知らない土地という事もあり不安
だったが、今はとても満足している。しかし物価が高い…。今日は整理ダンスを動かしてくれ
て有り難う。これで部屋を、片づける事が出来る。ここでは友人がいないので、こんなにしゃ
べったのは初めて。(70代女性、一人暮らし、担当：海老瀬、小林(弘))

・一人暮らしで身寄りがない為、急に倒れた時が心配。また、生活上何か問題があった時や、
体調を崩した時等の相談先・問い合わせ先(電話番号)がよくわからない。〈『支援者ノート
(神戸市発行)』の必要と思われる所にマーカーを引き、『安心カード』と一緒に渡した〉。
(70代女性、一人暮らし、担当：矢野、赤西)

・福祉振興協会のヘルパーとして週3回、中央区の市民福祉交流センターへ行ってます。交通
費が結構かかるので、回数券を購入し、やりくりしています。元気でやっていますが、そのう
ち皆さんのお世話になるかもしれませんね…。(60代女性、一人暮らし、担当：長船、矢萩)

・足・腰も丈夫で、毎朝ラジオ体操に参加し、朝8:00~11:00頃まで散歩をします。
息子3人が近所に住んでおり、3日おきに来てくれるので、安心や。1年半前から入院してい
る妻の所へは、みんなが交替で見舞いに行っている。入居して5ヶ月だが、すっかり慣れまし
た。ラジオ体操で顔なじみもでき、寂しくない。また静かなのもいい。〈耳が少し遠いようで

したが、お元気でした)。(85歳男性、一人暮らし、担当：長船、矢萩)

・仮設では人とのつながりがあったのに、今はあまりない。でも隣の方とは、仲良くしています。今日はお隣も交え、皆さんと賑やかに話しかけることが出来、「聖しこの夜」や童謡も一緒に歌え、喜んでいきます。楽しいひとときをありがとう。〈大正琴も弾いて頂いた。1万円ぐらいのキーボードを購入したいとの事。1月8日、お留守の為、キーボードのカタログをポストに入れてきた)。(78歳女性、一人暮らし、担当：丸笹、小波本)

・2年前に乳ガンを患い、抗ガン剤を投与中の為、副作用で鼻が利かなかつたり、味が分からなくなったりする。風邪もひきやすく、今は右手がむくんでいる。口内炎のせいかな…入れ歯が入れにくく、しゃべりづらい。チラシを折って貼り合わせ、白鳥やふくろうなどの置物を作っており、人に教えたりもする。知り合いが多いので寂しくはないが、ただ病気の時が心配。玄関に16時間動きを感知しないと、異常を知らせるセンサーはあるが、16時間も動かなかつたら…死んどるわ。〈『安心カード』はすでにお持ちだったので、『火事・救急ステッカー』をお渡しする)。(60代女性、一人暮らし、担当：松宮、辻野、矢萩)

・ここでお友達になった方が、たくさんおり、互いに部屋へ行ったりもする。でも買い物が不便。それに暴走族がうるさい。生活相談委員に健康や生活上の事を相談に行ったら、「65歳以上の人でないとダメです」と断られた。誰に相談すればいいのだろうか？。(64歳女性、一人暮らし、担当：松宮、辻野)

・杖をついて歩いているので、人とぶつかると転びそうになる。立ち上がるのが辛いので、玄関のチャイムに出ない事も…。非常ベルを押しに行くのも、辛い時がある。電話は、20回以上鳴らして欲しいと、みんなに言っている。電球が切れたら付け替えて欲しい。〈代表の電話番号を、お伝えしました。コープの配達システムのチラシ・『安心カード』などもお渡しする)。(53歳女性、一人暮らし、担当：松宮、辻野)

・特に困る事やお手伝いして欲しい事はないが、誰かの手を借りたい時は、突然やって来る。私のように、高齢でも比較的元気な者は、ボランティアや行政も廻ってこない。そのうえ近所は、留守(仕事)や空き家が多い。悪質な訪問セールスが多いので、この付近では、わざとインターホンの電源を切ったり、居ないふりをする者もいるんですよ。(75歳女性、一人暮らし、担当：矢野、赤西)

・仕事が、なかなか見つからない。神戸市の募集している仕事へ申し込みをしたが、年末に返事が来る予定だ。仕事が決まったら、以前住んでいた地域へ戻りたい。親しい友人達がいる場所、そこが死ぬ場所と考えているので…。ここでの自治会作りは、なかなか難しい。でも外部に救済を求めるのではなく、住民同士が協力し、助け合う事が必要と思う。〈L S A室でお話を伺う。L S Aは毎日2時～5時までおられるとの事)。(60代、2人暮らし、担当：赤西、鹿島)

[市街地仮設住宅]

・この仮設は、他とは違うらしく、1月31日まで居れるとの事。自宅の引き渡しは1月24日なので、大丈夫でしょう。仮設間移転(12月初め)の際、こちらは狭いので、荷物はトランクルームに入れました。ここでも、母親に見放され弱っていた、3匹の仔猫を拾い、猫15匹と犬1匹となりました。あと1ヶ月、もう少しの辛抱です。小さいけど、自宅も再建できる。だから皆さん…安心して下さい。今まで勇気づけてくれてありがとう。〈同仮設には、ご本人

を含めて2軒入居しておられた。また徒歩10分の、再建中の自宅も、見せていただきました。 (66歳女性、一人暮らし、担当：辻野)

※1999年は仮設住宅への訪問活動最後の年となりました。また並行して復興住宅への訪問を始めました。とくに表記がないものは仮設住宅でのお話し伺いです。